

取扱説明書

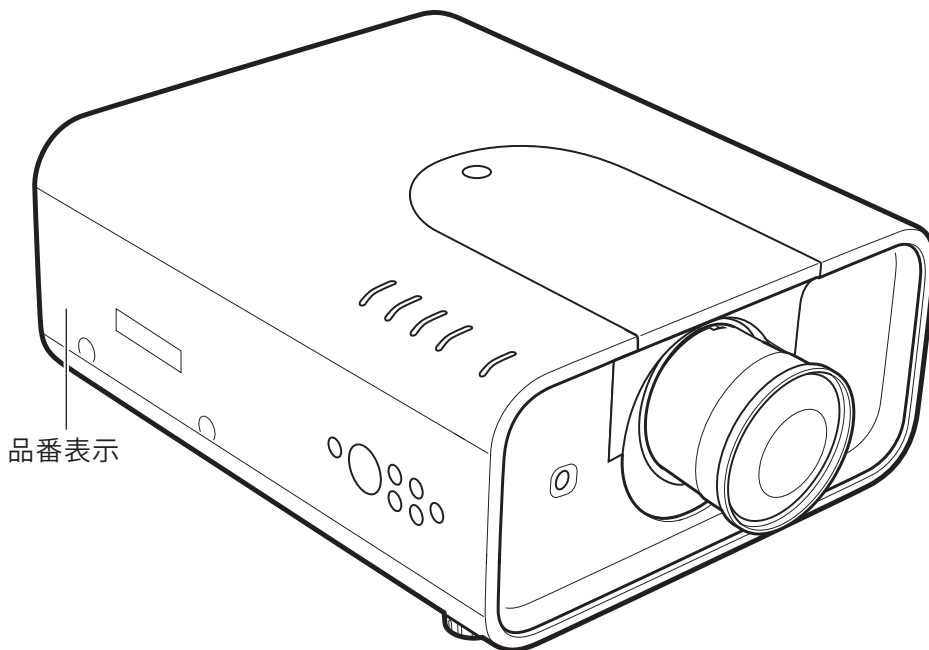
SANYO

液晶プロジェクター

品番 LP-XP200L

お買い上げいただき、ありがとうございます。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、
正しくお使い下さい。とくに4～13ページの「安全
上のご注意」は必ずお読みください。
お読みになったあとは、保証書といっしょに、必ず
いつでも取り出せるところに保管してください。わ
からないことがあったときにお役に立ちます。
お買い上げ商品の品番は側面の表示でご確認ください。

保証書は必ずお受け取りください



本機にはレンズは付いておりません。
別売のレンズをご使用ください。

取扱説明書、本体、定格板には色記号の表示を省略しています。
包装箱に表示している品番の（ ）内の記号が色記号です。

本機は日本国内用に設計されております。電源電圧の異なる外国ではご使用になれません。
This LCD Projector is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

PJLink™

LP-XP200L の特長

高精細

新光学エンジンを搭載し、色彩表現力が向上。

- 従来の3LCD方式に、黄成分を独立して制御する「カラーコントロールデバイス」を組み込んだ「新光学エンジン」の搭載により、色彩表現力が向上。

1024 x 768 ドットの高解像度液晶パネル。

- XGA 画像をリアル表示。SXGA、WXGA、UXGA、WUXGA を圧縮表示。

DVI-D (デジタル ビジュアル インターフェイス) 搭載。

- DVI-D (デジタル ビジュアル インターフェイス) 入力端子により、コンピュータの画像をより鮮明に再現。
- HDCP 技術を用いてコピープロテクトされたデジタル映像の再生、投映が可能。

海外の映像システムにも対応する6カラーシステム。

- NTSC、NTSC4.43、PAL、SECAM、PAL-M、PAL-N の6カラーシステムに対応。

5-BNC 映像入力端子を装備。

- アナログ RGB 信号およびコンポーネント信号に対応し、DVD や HDTV などを高画質で再生。

高信頼性

暗証番号を登録してセキュリティを強化。

- 第三者による不正・誤使用を防ぐ「暗証番号ロック」機能。
- 第三者によるロゴの変更を防ぐ「ロゴ暗証番号ロック」機能。

電力の節約を助ける各種機能。

- ランプの明るさを調節できる「ランプコントロール」。
- 電力の節約を助ける「パワーマネジメントモード」。

自動エアフィルター交換機能

- センサーがエアフィルターの目詰まりを検知したとき、プロジェクターがエアフィルターを自動で交換。エアフィルターカートリッジは、10回分のフィルターを内蔵。

機器の高寿命化を助ける機能。

- ランプの交換時期を画面とインジケータでお知らせ。
- 交換用のエアフィルターがなくなったときには画面とインジケータの表示でエアフィルターカートリッジの交換をお知らせ。

高設置性

さまざまな設置環境に対応。

- 設置しやすいセンターレイアウトデザイン。
- 垂直方向 360 度フリー設置可能。(11 ページ参照)
- 据置のほか、天吊り、リア投映が可能。
- テストパターン内蔵。
- メカシャッター搭載。

高性能

快適なプレゼンテーションを支える豊富な機能。

- コンピュータの信号の判別と最適設定を自動で行なう「マルチスキャンシステム」と「自動 PC 調整」機能。
- 投映画面の台形歪みをスクエアな画面に補正する、「デジタルキーストーン (台形補正)」機能。
- 見たい部分を瞬時に拡大または縮小して投映できる「デジタルズーム」機能。(コンピュータ入力時)
- 画面を一時的に静止させる「FREEZE」機能。
- プレゼンテーション時に便利な「P-TIMER (プレゼンテーションタイマー)」機能。
- 好きな画像を取り込んでオリジナルの起動画面を作成できる「キャプチャー」機能。

レンズ交換機構

- 別売オプションレンズの交換により、使用場所に合わせた投映が可能。

上下左右電動レンズシフト機能搭載。

- 上下に 0 ~ 50%、左右に ±10% 可変。

ネットワークオプションに対応。

- 別売の PJ-Net Organizer (PJ- ネット オーガナイザー) を装着することで、ネットワーク経由での操作・管理および画像の転送が可能。




高性能ワイヤレスリモコン

- コンピュータとプロジェクターの両方を操作可能。
- プレゼンテーション時に便利なポイント機能。
- 別売のリモコンケーブルでワイヤードリモコンとして使用可能。
- 一部の機能に制限できる「シンプルモード」に対応。

音声出力端子 (可変) を装備。

- 投映中の画像の音声を出力。

～本説明書中の記号について～

	操作上の注意事項や制限事項を記載しています。
	関連する情報や知っておくと便利な情報を記載しています。
	関連事項や、より詳しい説明を記載しているページを示しています。
[ボタン] 名	リモコンまたはプロジェクターの操作パネルのボタンや入出力端子の名称を示しています。 例: [SELECT] ボタン、[INPUT 1 DIGITAL] 端子
「メニュー」名	メニューの項目を示しています。 例: 「インプット」、「セッティング」

※ 本説明書に記載されているイラストや図形の形状は実際のものとは異なります。

もくじ

LP-XP200Lの特長	2	コンピュータシステムの選択	44
安全上のご注意	4	ビデオシステムの選択	45
正しくお使いいただくために	9	コンピュータシステムの調整	46
ランプについての安全上のご注意	13	イメージの調整	49
準備	14	画面サイズを調整する	53
付属品を確認してください	14	各種機能の設定	57
各部の名称	15	「セッティング」メニューで	
機器をつなぐ端子	16	各種機能を設定する	57
操作パネルとインジケータ	17	その他の機能	72
リモコンのボタン	18	リモコンでコンピュータを操作する	72
リモコンの準備	19	お手入れと保守	73
設置・接続	21	お手入れについて	73
レンズの取り付けと交換のしかた	21	ランプの交換	73
設置のしかた	24	エアフィルターカートリッジの交換	75
接続の例～コンピュータ	26	内部温度の上昇について	77
接続の例～ビデオ機器	27	インジケータ表示と	
接続の例～音声入出力	28	プロジェクターの状態	78
電源コードを接続する	29	故障かなと思ったら	81
基本の操作	30	付録	84
プロジェクターの基本操作	30	コンピュータシステムモード一覧	84
電源を入れる・切る	31	メニュー内容一覧	86
入力信号を選択する	33	仕様	88
投映画面を調整する	34	別売品	89
その他の機能	36	寸法図	90
音声に関する操作・設定	39	端子の仕様	91
オンスクリーンメニューの操作方法	40	シリアルコマンド一覧	92
入力の選択・設定・調整	42	暗証番号について	94
入力を切り換える	42	PJ Link について	95
		保証とアフターサービス	96

はじめに

準備

設置・接続

基本の操作

入力の選択・調整

各種機能の設定

その他の機能

お手入れと保守

付録

安全上のご注意

安全に正しくお使いいただくために

安全に関する重要な内容ですので、ご使用前によくお読みの上、正しくお使いください。

■絵表示について

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■絵表示の例



注意（警告を含む）をうながす事項を示しています。

△の中に具体的な注意内容が描かれています。



たとえばこの絵表示は「感電注意」を意味します。



してはいけない行為（禁止事項）を示しています。

⊘の中や、近くに、具体的な禁止内容が描かれています。



たとえばこの絵表示は「分解禁止」を意味します。



しなければならない行為を示しています。

●の中に具体的な指示内容が描かれています。

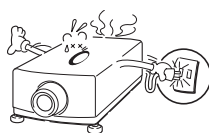


たとえばこの絵表示は「電源プラグをコンセントから抜け」を意味します。

警告



警告



下記のような場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

- ・煙が出ている
- ・変なにおいや音が出る
- ・水など液体が本機の内部に入った
- ・金属類や異物が本機の内部に入った
- ・画面が映らない
- ・音が出ない
- ・大きな音が出てランプが消えた



禁止

故障したまま使用しないでください。

火災・感電の原因となります。販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対にしないでください。



警告



万一、本機を倒したり、キャビネットを破損した場合は、本機の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。

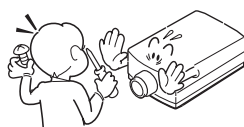
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



電源プラグを
コンセントから抜け



分解禁止



本機のキャビネットは外さないでください。

内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店にご依頼ください。



感電注意



禁止

表示された電源電圧（交流 100 ボルト）以外の電圧で使用しないでください。

火災や感電の原因となります。

※一つのコンセントにいくつもの電気製品をつなぐタコ足配線もしないでください。



禁止

本機の上に花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器または小さな金属物を置かないでください。

※こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。



水ぬれ禁止

警告



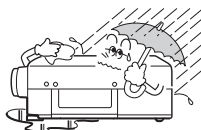
風呂、シャワー室
での使用禁止

風呂、シャワー室では使用しないでください。

火災・感電の原因となります。



水ぬれ禁止

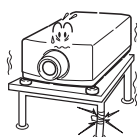


本機に水が入ったり、ぬらしたりしないでください。

火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。



禁止



不安定な場所や、荷重に耐えられないところに置かないでください。

ぐらついた台の上や傾いたところ、高い棚の上など、不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、事故やけがの原因になります。



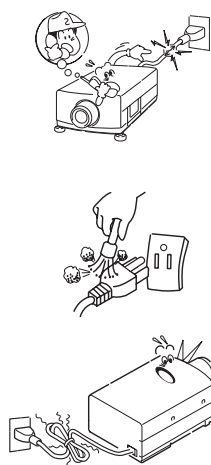
警告

「天吊り」設置をするときは、専用の金具が必要です。

取り付けが不十分な時は落下する危険性があり、事故やけがの原因となります。設置工事専門の技術者にご依頼ください。詳しくは、お買い上げの販売店にご相談ください。



禁止



電源コードの取扱に注意してください。

- ・電源コードの上に重い物をのせたり、コードが本機の下敷きにならないようにしてください。またコードを釘などで固定しないでください。コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。また、コードを敷物で覆うとコードに気付かず、上に重い物をのせてしまうことがあります。
- ・電源コードが傷んだら、(芯線の露出、断線など) 販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
- ・電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。
- ・コードが破損して、火災・感電の原因となります。
- ・コンセント付き延長コードを使う場合は、つなぐ機器の消費電力の合計が延長コードの定格電力を超えない範囲でお使いください。超えて使用すると発熱し、火災の原因となります。
- ・電源プラグとコンセントは定期的に点検し、プラグとコンセントの間にたまったホコリ・ごみ・汚れなどを取り除いてください。それらがたまって湿気を帯びると、火災の原因となります。(結露するところや水槽の近くには特にご注意ください)
- ・電源コードを細かく折り曲げたり、巻いたり、束ねたまま使用しないでください。放熱しにくくなり、発熱やショートを起こし、火災・感電の原因となることがあります。
- ・電源コードや接続ケーブルを、床の上にはわせないでください。足を引っ掛けて転倒し、けがの原因となることがあります。



接触禁止



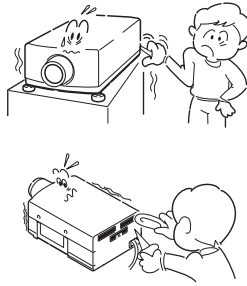
雷が鳴り出したら、本機や電源プラグには触れないでください。

感電の原因となります。

警告



禁止



吸気口・排気口や接点部などに異物を差し込んだり、落とし込んだりしないで下さい。

- ・ご使用中は吸気口・排気口の中のファンが回転しています。これらの穴から物などを差し込まないでください。
- ・通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。
- ・本機や付属の接続コードの接点部に金属類を差し込まないでください。事故や故障の原因となります。特にお子様にはご注意ください。



禁止

本機・リモコンを改造しないでください。

火災・感電の原因となります。



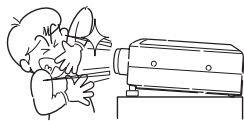
アース線を
接続せよ

アース線を接地してください

本機は接地端子の付いた3ピンの電源コードを使用しています。安全のため電源コードの接地端子を接地してください。(詳しくは、29ページをご覧ください。)



警告



使用中はレンズをのぞかないでください。

強い光が出ていますので、目を傷めるおそれがあります。とくに小さなお子様にはご注意ください。吸気口や排気口ものぞかないでください。

● 電波障害自主規制について ●

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

⚠ 注意



禁止



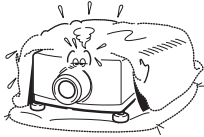
以下のような場所には置かないでください。

火災・感電の原因となることがあります。

- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。
- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。



禁止



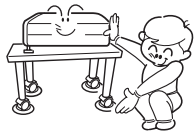
ご使用のときは、ファンの吸気口・排気口をふさがないでください。

内部の温度上昇を防ぐため、冷却用のファンを内蔵しています。吸気口・排気口をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

- 設置のときは、ファンの排気口を壁から1メートル以上あけてください。
- 空調設備の排気ダクト付近、冷暖気が直接当たる場所などに設置しないでください。
- 次のような使い方はしないでください。
 - ・ 横倒しなど、指定以外の方向への設置。
 - ・ 押し入れ、本箱など風通しの悪い狭いところに押し込む。
 - ・ じゅうたんや布団の上に置く。
 - ・ テーブルクロスなどを掛ける。
- また、壁など、周囲のものから1メートル以上離し、風通しをよくしてください。



注意



キャスター付き台に本機を設置する場合には、キャスター止めをしてください。

動いたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。



禁止

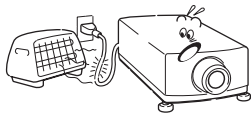


本機の上に重い物をのせたり、乗らないでください。

特に小さなお子様にはご注意ください。倒れたり、こわれたりしてけがの原因となることがあります。



禁止



電源コードを熱器具に近づけないでください。

コードの被ふくが溶けて火災・感電の原因となることがあります。



禁止



電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。

コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。

また、差し込むときは、根本まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全だと感電や発熱による火災の原因となります。

⚠ 注意

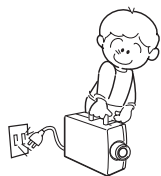


ぬれ手禁止



ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。

感電の原因となることがあります。

電源プラグを
コンセントから抜け

移動させる場合には、電源コードにご注意ください。

電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続コードなどを外したことを確認の上、移動してください。接続機器が落下や転倒して、けがの原因となることがあります。また、コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

電源プラグを
コンセントから抜け

お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行なってください。

感電の原因となることがあります。

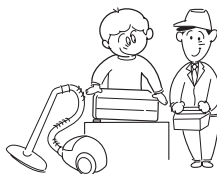
電源プラグを
コンセントから抜け

長期間、機器をご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

火災の原因となることがあります。



注意



長年のご使用で内部にほこりがたまると火災や故障の原因となることがあります。

掃除は梅雨の前が効果的です。費用などは販売店にご相談ください。

正しくお使いいただくために

持ち運び・輸送上のご注意

液晶プロジェクターは精密機器です。衝撃を与えたり、倒したりしないでください。故障の原因となります。

- 持ち運ぶときは必ずレンズを取り外し、レンズを取り外した後のレンズ取付穴部へカバープレートを取り付け、調整脚を戻してから専用のケースに納めて運んでください。
レンズを取り付けたままで輸送すると、レンズの重みでプロジェクター本体が破損する可能性があります。レンズの取り付け・取り外しは、安全のため専門の販売技術員または、サービス技術員にご相談ください。
- 車両・航空機などを利用し持ち運んだり、輸送したりする場合は、輸送用の専用ケースをご使用ください。輸送用の専用ケースについてはお買い上げの販売店にご相談ください。

設置するときは次のことに注意してください

● 排気口の温風にご注意ください

排気口からは温風が吹き出します。温風の当たる所に次のものを置かないでください。

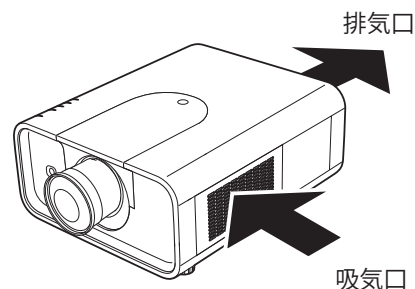
- スプレー缶を置かないでください。熱で缶内の圧力が上がり、爆発の原因となります。
- 金属を置かないでください。高温になり、事故やけがの原因となります。
- 観葉植物やペットを置かないでください。
- 熱で変形したり、悪影響を受けるものを置かないでください。
- 排気口付近には視聴席を設けないでください。



注意



熱で変形や変色の恐れのあるものを上に置かないでください。また、動作中排気口周辺ならびに排気口上部キャビネットが高温になります。特に小さいお子さまにはご注意ください。



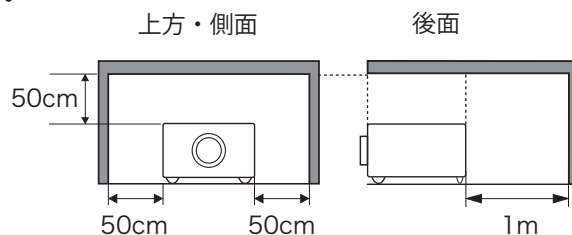
● こんな場所には設置しないでください

湿気やホコリ、油煙やタバコの煙が多い場所には設置しないでください。レンズやミラーなどの光学部品に汚れが付着して、画質を損なう原因になります。また、高温、低温になる場所に設置しないでください。故障の原因になります。

使用温度範囲	5℃～40℃	保管温度範囲	-10℃～60℃
--------	--------	--------	----------

● 壁などからじゅうぶんな距離をあけて設置してください

吸気口・排気口をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因や、プロジェクターの寿命を縮めたり、故障の原因となることがあります。押し入れ、本箱など風通しの悪い狭いところに押し込んだりしないで、風通しのよい場所に設置してください。(上方・側面 50cm、後面 1m 以上)



● 結露にご注意

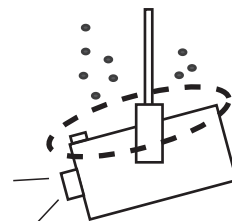
低温の場所から高温の場所へ急に持ち込んだときや、部屋の温度を急に上げたとき、空気中の水分が本機のレンズやミラーに結露して、画像がぼやけることがあります。結露が消えて通常の画像が映るまでお待ちください。

天井から吊り下げてご使用になる場合



注意

天井から吊り下げたり、高いところへ設置してご使用になるときは、吸気口や排気口、エアフィルター周辺の掃除を定期的に行なってください。吸気口や排気口にホコリがたまり、冷却効果が悪くなり、内部の温度上昇を招いて故障や火災の原因となります。吸気口や排気口についてのホコリは掃除機などで取りのぞいてください。



液晶パネルについて

液晶パネルの特性上、長時間同じ画面を表示していると、画面を変えたときに残像（焼き付きのような症状）が発生する場合があります。映す映像を変えたり、電源を切っておくと回復します。

エアフィルターのお手入れ


吸気口のエアフィルターは、プロジェクター内部の光学部品（レンズやミラー）をホコリや汚れから守っています。エアフィルターにホコリがたまるとプロジェクターを冷却する空気の流れが悪くなり、内部の温度が上がり故障の原因となります。本機のエアフィルターは目詰まりを感知すると自動的にフィルター部分を巻き取り（交換）、その状況をインジケータでお知らせします。エアフィルターの掃除は必要ありませんが、エアフィルターの周辺は定期的に掃除することをおすすめします。



エアフィルターの状態をお知らせする表示について

本機には、エアフィルターの状態をお知らせする「フィルター警告」機能があります。詳細については、75～76ページをご覧ください。



「セッティング」メニューの「フィルターカウンター」（P.69ページ）で設定した時間に達すると表示されます。エアフィルターの巻き取り回数の残りが「0」のときはが表示されます。



エアフィルターの巻き取り回数の残りが「0」になったことをお知らせします。



エアフィルターの交換推奨時間になった、またはエアフィルターの巻き取り回数の残りが「0」のときにフィルターに目詰まりが発生したことをお知らせします。この表示が出たらカートリッジを交換してください。



しばらくお待ち下さい リモコンまたはメニューから強制巻き取りを行なったときに表示されます。

また、本体天面の [WARNING FILTER] インジケータでも同様にお知らせします。[WARNING FILTER] インジケータ（橙色）は、上記の画面表示と同時期に点灯または、点滅してお知らせします。詳細については、75ページをご覧ください。

WARNING FILTER 

※ が表示されたときは、インジケータの点灯・点滅はありません。

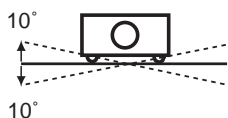
正しい方向に設置してください

プロジェクターを安全にご使用いただくため、プロジェクターは必ず指定の方向でご使用ください。指定以外の方向でご使用になると、プロジェクターの寿命を縮めるだけでなく、故障や火災、事故の原因となります。本機は、上・下・斜めの方向で投映可能です。ただし、水平方向に180度を超えて設置* するときは、本体底面が上向きになるように設置してください。

* レンズを水平方向から下に向けて設置した場合。

向きによっては投映画面の設定を「天吊り」にしてください。「天吊り」の設定方法は56ページを参照してください。

以下の方向では使用しないでください

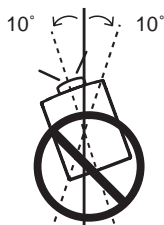


プロジェクターを左右方向へ10度以上傾けて投映しないでください。

傾きは10°以内に



横置き禁止



プロジェクターの水平軸を10度以上傾けて上方向に投映しないでください。



プロジェクターの水平軸を10度以上傾けて下方向に投映しないでください。

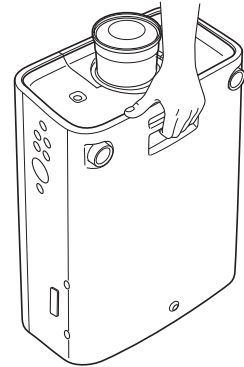
プロジェクター取扱上のご注意

プロジェクターを以下の状態にしてから持ち運んでください。



注意

- プロジェクターの接続ケーブルを外します。ケーブルを取り付けたまま運ぶと、事故の原因になります。
- 調整脚をおさめます。

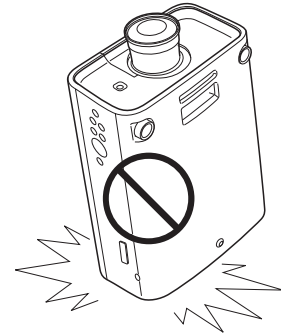


本体底面のグリップを持って運びます。



注意

- プロジェクターをたたいたり、衝撃を与えたりしないでください。破損の原因になります。
- プロジェクターを立てて置くときは、はじめに置く場所が水平か、また異物が無いか確認してください。異物があったり、置く場所に突起があると、破損の原因となります。



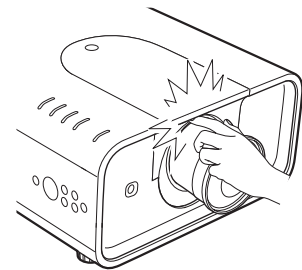
接触禁止



指挟み注意

本機は、レンズシフト機能により、モーターでレンズが上下左右に動きます。

- レンズが動いているときは、レンズに触れないでください。指のはさみ込みによるけがの原因となります。
- お子様がレンズに触れないように注意してください。

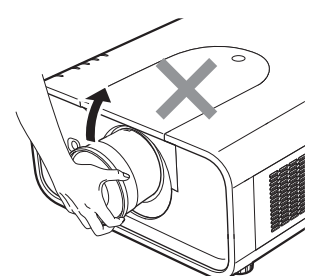
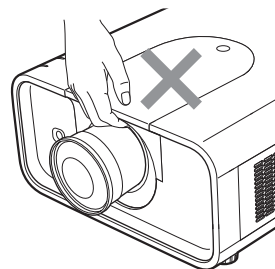


プロジェクターを持ち抱える際のご注意



注意

レンズ取り付け後、プロジェクター本体を運んだり持ち上げたりするとき、レンズ部は絶対に持たないでください。プロジェクターが破損する原因になります。



⚠️ ランプについての安全上のご注意

プロジェクターの光源には、内部圧力の高い水銀ランプを使用しています。この水銀ランプは、以下のような性質を持っています。

- 衝撃やキズ、使用時間の経過による劣化などで、大きな音をともなって破裂したり、不点灯状態、画像が次第に暗くなる、色合いが不自然になるなどして寿命が尽きたりします。
- ランプの個体差や使用条件によって破裂や不点灯、寿命に至るまでの時間はそれぞれのランプで大きく異なります。使用開始後まもなく破裂したり、不点灯になる場合もあります。
- 交換時期を超えてお使いになると、破裂の可能性が一段と高くなります。ランプ交換の指示が出たら（[LAMP REPLACE] インジケータが点灯したら）すみやかに新しいランプと交換してください。
- 万一、ランプが破裂した場合に生じたガスを吸い込んだり、目や口に入らないように、ご使用中は排気口に顔を近づけないでください。

⚠️ ランプが破裂した場合

プロジェクター内部にガラスの破片が飛び散ったり、ランプ内部のガスや粉じんが排気口から出たりすることがあります。ランプ内部のガスには水銀が含まれています。破裂した場合は窓や扉を開けるなど部屋の換気を行なってください。万一吸い込んだり、目や口に入った場合はすみやかに医師にご相談ください。

ランプが破裂した場合、プロジェクター内部にガラス片が散乱している可能性があります。お客様相談窓口へプロジェクター内部の清掃とランプの交換、プロジェクター内部の点検をご依頼ください。

⚠️ 使用済みランプの廃棄について

プロジェクターランプの廃棄は、蛍光灯と同じ取り扱いで、各自自治体の条例に従って行ってください。

準備

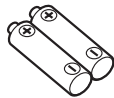
付属品を確認してください

プロジェクター本体のほかに、以下の付属品がそろっているかお確かめください。

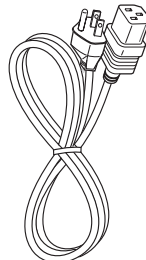
1 リモコン (CXZH)



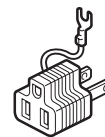
2 リモコン用アルカリ乾電池 (単四形 2本)



3 電源コード



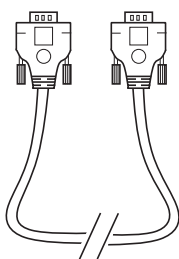
4 電源プラグアダプタ



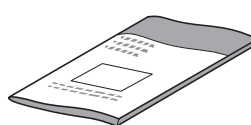
5 USB ケーブル



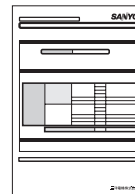
6 コンピュータケーブル (D-Sub 用)



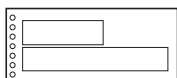
7 取扱説明書 (本書)



8 お客様ご相談窓口一覧



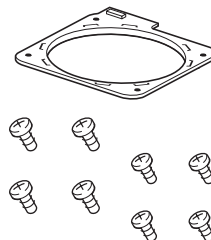
9 保証書



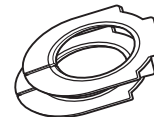
10 保証登録票



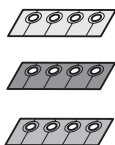
11 レンズ取付金具 *



12 遮光プレート



13 スペーサー



14 PIN code lock シール **

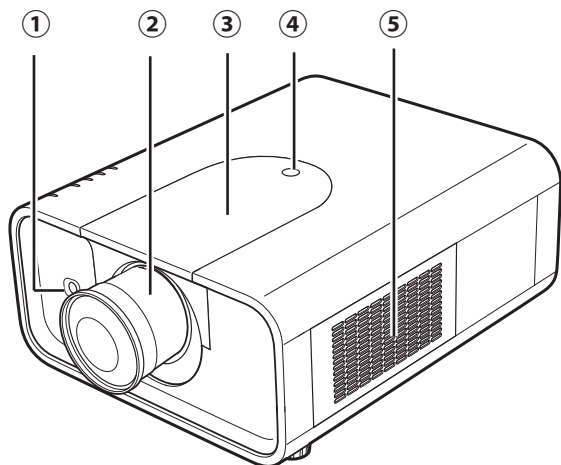


* 付属している 8 本のネジのうち、レンズの取り付けには 4 本のネジを使用します。残りの 4 本は他のレンズに使用する場合がありますので、なくさないように保管しておいてください。
☞ 22 ページ

** 暗証番号を登録してプロジェクターをロックしたとき、プロジェクター本体の目立ちやすい箇所に貼り付け、プロジェクターがロックされていることを表示するのにご使用ください。
☞ 94 ページ

各部の名称

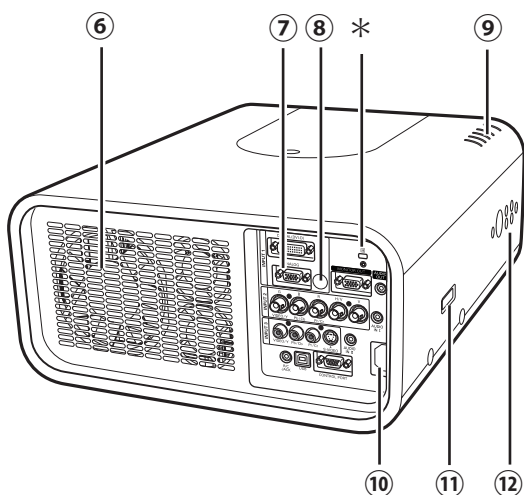
前面



ご使用中、天面は熱くなります。
上にものを置いたりしないでください。
変形や火災の原因となります。

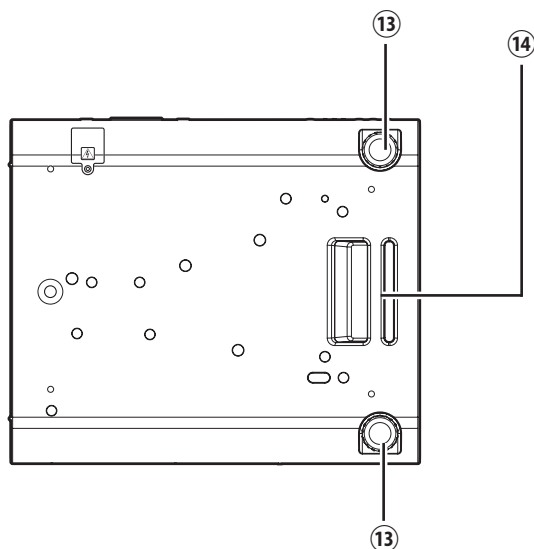
- ① リモコン受信部 (前)
- ② 投映レンズ (別売)
- ③ フロントパネル
- ④ フロントパネル取り外しボタン
- ⑤ 吸気口 (エアフィルターカバー) ※1
- ⑥ 排気口 ※2
- ⑦ 後面端子
- ⑧ リモコン受信部 (後)
- ⑨ インジケータ
- ⑩ 電源コード接続ソケット
- ⑪ PJ-Net Organizer コネクター
- ⑫ 操作パネル
- ⑬ 調整脚
- ⑭ グリップ

後面



* 盗難防止用ロック穴
盗難防止用のチェーンなどを取り付けるときに使
用します。

底面



※1



内部に冷却ファンがあります。ここをふ
さがさないでください。

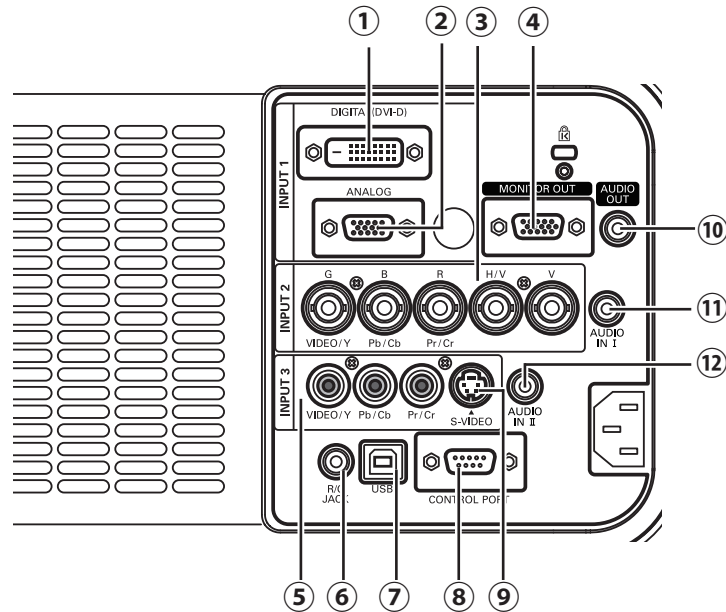
※2



スプレーといった引火性のもの、燃えや
すいもの、熱で変形しやすいものを近く
に置かないでください。火災や火事の原
因となります。

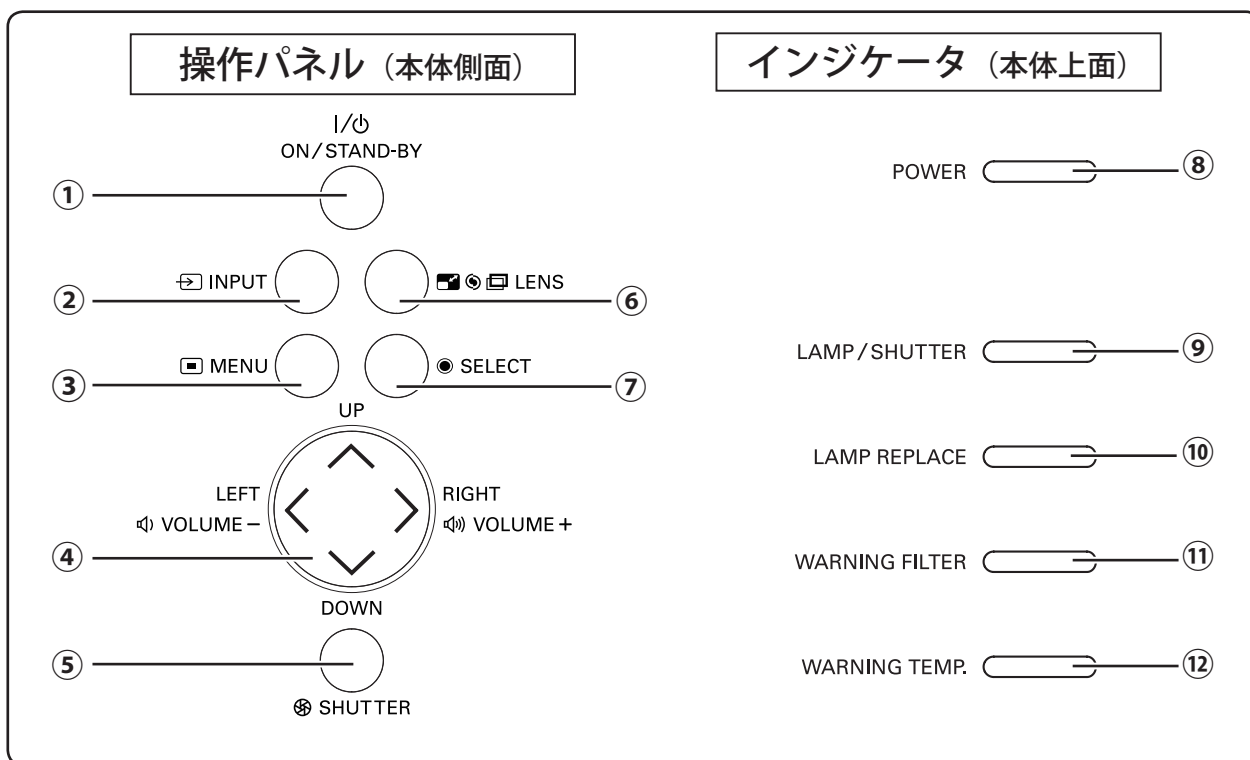
機器をつなぐ端子

後面端子



- ① **INPUT 1 DIGITAL (コンピュータ DVI-D 入力端子)**
インプット デジタル
☞ 26 ページ
 DVI 規格対応の端子を持つコンピュータからのデジタル信号を接続する DVI-D 端子です。接続には市販のコンピュータケーブル (DVI-D 用) を使います。
 ※ 後面端子の幅にあったケーブルをご使用ください。
- ② **INPUT 1 ANALOG (コンピュータ D-sub 入力端子)**
インプット アナログ
☞ 26 ページ
 コンピュータからの出力 (D-sub15 ピン/アナログ) を接続します。接続には付属のコンピュータケーブル (D-sub 用) を使います。
- ③ **INPUT 2 (コンピュータ/ビデオ/コンポーネント入力端子)**
インプット
☞ 26、27 ページ
 コンピュータからのアナログ信号 (G,B,R,H/V,V) またはビデオ機器からの映像信号 (VIDEO) またはコンポーネント信号 (Y,Pb/Cb,Pr/Cr) を入力します。接続には市販の BNC ケーブルを使います。
- ④ **MONITOR OUT (モニター出力端子)**
モニターアウト
☞ 26～28 ページ
 INPUT1～3 に接続された、投映中のアナログ信号を外部映像機器へ出力する端子です。
- ⑤ **INPUT 3 (ビデオ/コンポーネント入力端子)**
インプット
☞ 27 ページ
 ビデオ機器からの映像信号 (VIDEO) またはコンポーネント信号 (Y,Pb/Cb,Pr/Cr) を入力します。接続には市販のビデオケーブルを使います。
- ⑥ **R/C JACK (リモートコントロール端子)**
リモコンジャック
☞ 20 ページ
 この端子とリモコンのワイヤードリモコン端子を別売のワイヤードリモコンケーブルでつなぐと、ワイヤードリモコンとなり、リモコンの向きに関係なくプロジェクターの操作ができます。
- ⑦ **USB (USB 端子：シリーズ B)**
ユーエスビー
☞ 26、72 ページ
 コンピュータのマウス操作を、プロジェクターのリモコンで行なうときに、この端子とコンピュータの USB 端子を付属の USB ケーブルで接続します。
- ⑧ **CONTROL PORT (コントロールポート端子)**
コントロールポート
☞ 26 ページ
 コンピュータからシリアルデータで、プロジェクターを操作するときに使用します。また、サービスマンがサービス時に使用します。
- ⑨ **INPUT 3 S-VIDEO (S 映像入力端子)**
インプット エスビデオ
☞ 27 ページ
 ビデオ機器からの S 映像出力をこの端子に接続します。
- ⑩ **AUDIO OUT (音声出力端子) (可変)**
オーディオアウト
☞ 28 ページ
 ⑪または⑫に接続された音声入力を出力します。
- ⑪ **AUDIO IN I (音声入力端子)**
オーディオイン
☞ 28 ページ
 ビデオ機器やコンピュータからの音声出力を接続します。
- ⑫ **AUDIO IN II (音声入力端子)**
オーディオイン
☞ 28 ページ
 ビデオ機器やコンピュータからの音声出力を接続します。

操作パネルとインジケータ



① ON / STAND-BY ボタン

オン スタンバイ
☞ 31 ~ 32 ページ

電源を入・切します。

② INPUT ボタン ☞ 33、42 ~ 43 ページ

インプット

インプット（入力）を切り換えます。

③ MENU ボタン ☞ 40 ページ

メニュー

メニューバーを表示します。

④ ポイントボタン ☞ 39、40 ページ

オンスクリーンメニューのポインタの移動や各種メニューの調整、ズーム機能の調整に使用します。また、左右ボタンで音量を調整することができます。

⑤ SHUTTER ボタン ☞ 38 ページ

シャッター

シャッターを開閉します。

⑥ LENS ボタン ☞ 34 ページ

レンズ

このボタンを押すごとに、ズーム調整、フォーカス調整、レンズシフト調整の各調整モードに入ります。

⑦ SELECT ボタン ☞ 40、53 ~ 54 ページ

セレクト

ポインタの指す項目を選択します。また、デジタルズームモードで画像を拡大または縮小するのに使用します。

⑧ POWER インジケータ

パワー

☞ 77、78 ~ 80 ページ

プロジェクターの状態を示します。

⑨ LAMP / SHUTTER インジケータ

ランプ シャッター

☞ 78 ~ 80 ページ

ランプが正常に点灯しているときに赤く点灯します。また、シャッターが閉じているときには青く点灯します。
赤点灯：動作中、またはスタンバイ状態です。
青点灯：シャッターが閉じています。

⑩ LAMP REPLACE インジケータ

ランプ リプレース

☞ 73、78 ~ 80 ページ

橙色に点灯して、ランプの交換時期に達していることを知らせます。

⑪ WARNIG FILTER インジケータ

ワーニング フィルター

☞ 75、78 ~ 80 ページ

橙色に点灯して、エアフィルターの交換時期を知らせます。

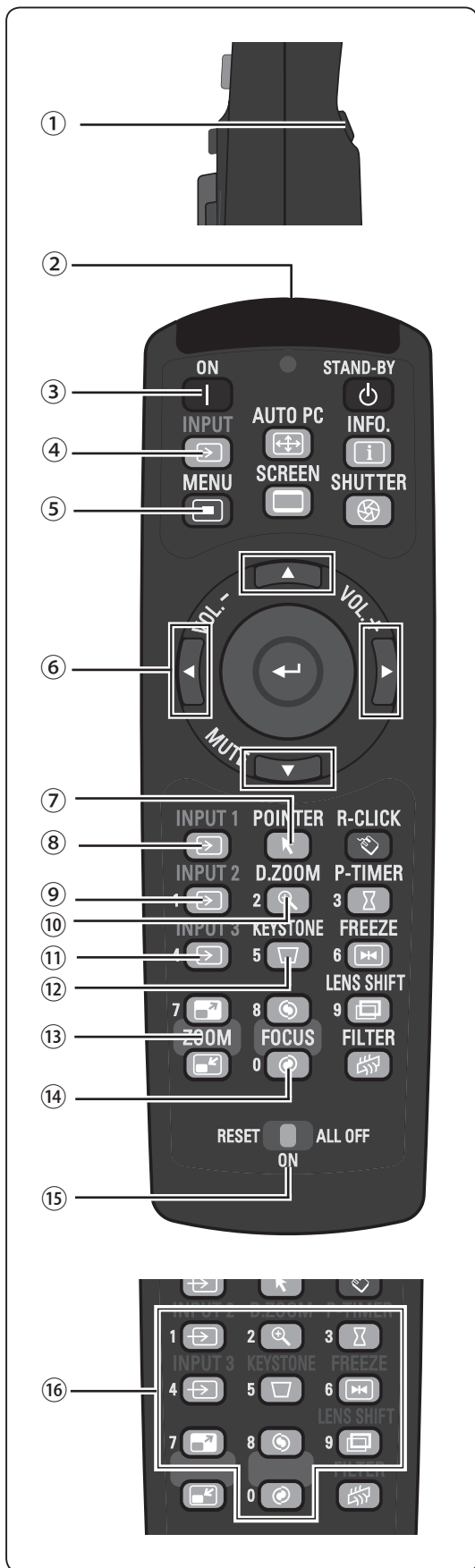
⑫ WARNIG TEMP. インジケータ

ワーニング テンプ

☞ 77、78 ~ 80 ページ

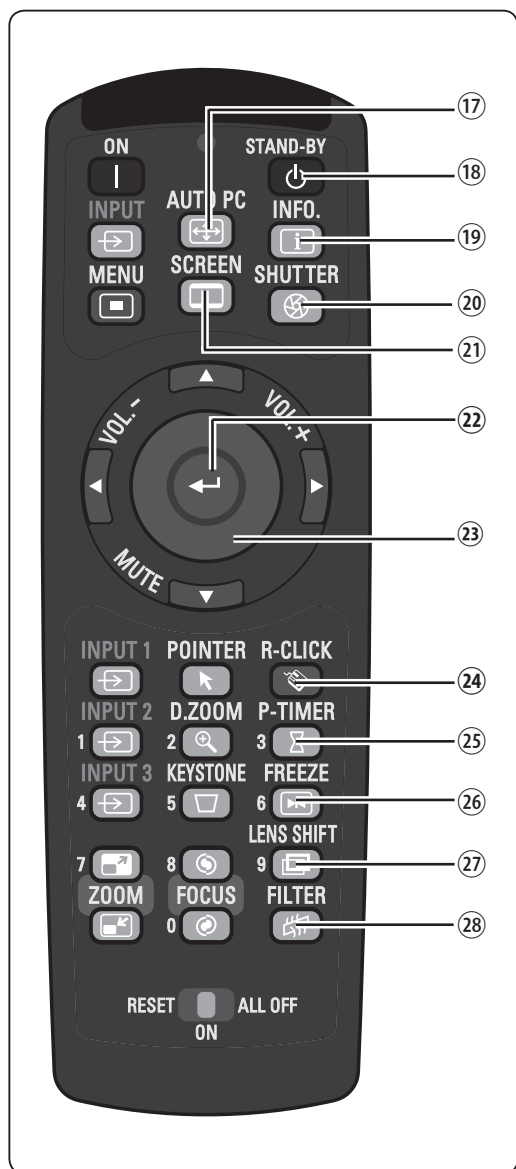
赤く点滅して、内部の温度が異常に高くなっていることを知らせます。

リモコンのボタン



残りのボタンは次ページへ

- ① **左クリックボタン** ☞ 72 ページ
コンピュータマウスの左クリックの働きをします。
- ② **ワイヤードリモコン端子** ☞ 20 ページ
ワイヤードリモコンとして使用するときは、別売のワイヤードリモコンケーブルでこの端子とプロジェクターのリモコン端子(R/C JACK)を接続します。
※ リモコンに電池が必要です。
※ リモコンをワイヤレスでご使用になるときは、リモコンケーブルをプロジェクターおよびリモコンから外してください。リモコンケーブルがプロジェクターまたはリモコンの一方または両方に接続されていると、リモコンはワイヤレスとして動作しません。
- ③ **ON ボタン** ☞ 31 ページ
電源を入れます。
- ④ **INPUT ボタン** ☞ 33、42 ページ
INPUT (入力) を切り換えます。
※ ⑧⑨⑪と異なり、入力信号は選択できません。
- ⑤ **MENU ボタン** ☞ 40 ページ
メニューバーを出します。
- ⑥ **ポイント ボタン** ☞ 39、40 ページ
オンスクリーンメニューのポインタの移動や、各種メニューの調整に使用します。また、左右ボタンで音量の調整、下ボタンで消音することができます。
- ⑦ **POINTER ボタン** ☞ 36 ページ
ポインタ機能を入・切します。
- ⑧ **INPUT 1 ボタン** ☞ 33、42 ページ
入力を INPUT 1 に切り換え、入力信号を選択できます。
- ⑨ **INPUT 2 ボタン** ☞ 33、42 ページ
入力を INPUT 2 に切り換え、入力信号を選択できます。
- ⑩ **D.ZOOM ボタン** ☞ 38 ページ
デジタルズームモードに入ります。
- ⑪ **INPUT 3 ボタン** ☞ 33、42 ページ
入力を INPUT 3 に切り換え、入力信号を選択できます。
- ⑫ **KEYSTONE ボタン** ☞ 35 ページ
画面の台形ひずみ (あおり) を補正します。
- ⑬ **ZOOM ボタン** ☞ 34 ページ
レンズのズームを調整します。
- ⑭ **FOCUS ボタン** ☞ 34 ページ
フォーカスを調整します。
- ⑮ **RESET/ON/ALL OFFスイッチ** ☞ 20 ページ
リモコンを使用するときは「ON」にセットします。長時間使用しないときは、「ALL OFF」にセットします。リモコンコードを初期設定に戻すときは「RESET」にセットします。
- ⑯ **数字ボタン** ☞ 20、60～61、66～67 ページ
暗証番号またはリモコンコード設定のため、数字を入力するときに使用します。



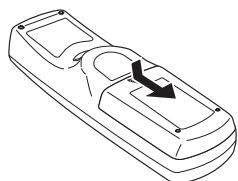
- オートピース
- ①7 **AUTO PC ボタン** 〔F〕 37 ページ
トラッキング・総ドット数・ポジションH・ポジションVを自動調整します。
- スタンバイ
- ①8 **STAND-BY ボタン** 〔F〕 32 ページ
電源を切り、待機状態にします。
- インフォメーション
- ①9 **INFO. ボタン** 〔F〕 37 ページ
投映中の信号状況やセッティングの状況を表示します。
- シャッター
- ②0 **SHUTTER ボタン** 〔F〕 38 ページ
シャッターを開閉します。
- スクリーン
- ②1 **SCREEN ボタン** 〔F〕 35 ページ
画面サイズを選択します。ボタンを5秒間以上長押しすると、「スクリーン」メニュー内の設定が工場出荷時に戻ります。
- セレクト
- ②2 **SELECT ボタン** 〔F〕 38、40、53、54 ページ
ポインタが指す項目を選択します。また、デジタルズームモードでは、画像の拡大・縮小に使用します。
- ②3 **プレゼンテーションポインタボタン/マウスポインタボタン** 〔F〕 36、72 ページ
ポインタ機能あるいはコンピュータのマウスとして使用します。
- アールクリック
- ②4 **R-CLICK (右クリック) ボタン** 〔F〕 72 ページ
コンピュータマウスの右クリックの働きをします。
- ピータイマー
- ②5 **P-TIMER ボタン** 〔F〕 36 ページ
プレゼンテーション (ボタンを押してから) の経過時間を表示します。
- フリーズ
- ②6 **FREEZE ボタン** 〔F〕 36 ページ
画面を静止させます。
- レンズシフト
- ②7 **LENS SHIFT ボタン** 〔F〕 34 ページ
レンズを上下左右にスライドさせて、画面の位置を上下左右に移動させます。
- フィルター
- ②8 **FILTER ボタン** 〔F〕 38 ページ
エアフィルターの巻き取りに使用します。ボタンを5秒間以上長押しするとエアフィルターを1回巻き取ります。

※ リモコンを、一部のボタンだけを有効にする「シンプルモード」に設定することができます。〔F〕 63 ページ

リモコンの準備

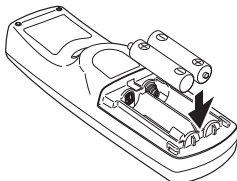
電池の入れかた

1 電池カバーを開けます。



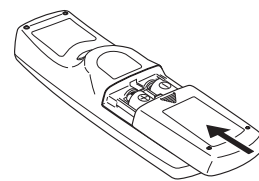
押しながら下にスライドさせます。

2 電池を入れます。



+(プラス)、-(マイナス)に注意して付属の乾電池(単4形アルカリ乾電池2本)を入れます。

3 電池カバーを閉めます。



上にスライドさせます。



電池を使用するときのご注意

電池の破裂や液もれを防ぐために、次のことにじゅうぶんで注意ください。

- ・種類の違う電池や、新しい電池と古い電池を混ぜて使わない。
- ・乾電池は充電しない。分解しない。
- ・+極と-極の向きを正しく入れる。+極と-極をショートさせない。
- ・可燃ごみに混ぜたり、燃やしたりしない。
- ・電池を廃棄するときは、各自治体の指示および電池製造者の指示に従って廃棄する。

また、正しくお使いいただくために次のことをお守りください。

- ・長い間使わないときは乾電池をとりだす。
- ・液もれが起こったときは、電池入れについた液をよくふきとってから新しい乾電池を入れる。



注意

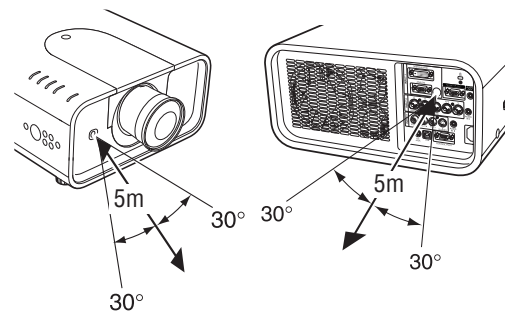


禁止

リモコンで操作できる範囲

リモコンで離れて操作できる範囲は、本体前面と後面のリモコン受信部から約5m以内、上下左右30度以内です。

※ 天吊りなどで蛍光灯の近くに設置したときは、「セッティング」の「リモコン受光部」で蛍光灯から離れている方にあるリモコン受光部を選択することをおすすめします。☞ 64 ページ



上下左右各 30° 以内の操作範囲

※ 間に障害物があると操作の妨げになります。



リモコンを使用するときのご注意

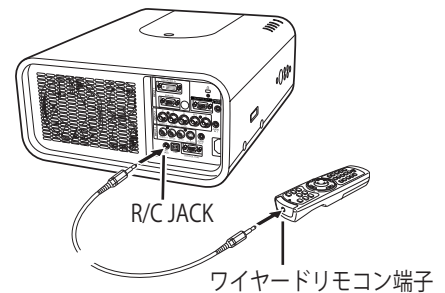
- ・液状のものをかけない。
- ・落としたり衝撃を与えない。
- ・熱や湿気をさける。
- ・本体のリモコン受信部に、直射日光や照明器具の強い光が当たらないようにする。

ワイヤードリモコンで操作

別売のワイヤードリモコンケーブル (☞ 89 ページ) で、後面の [R/C JACK] 端子と、リモコンの [ワイヤードリモコン] 端子を接続します。

※ リモコンに電池が必要です。

※ リモコンをワイヤレスでご使用になるときは、リモコンケーブルをプロジェクターおよびリモコンから外してください。リモコンケーブルがプロジェクターに接続されていると、リモコンはワイヤレスとして動作しません。



ワイヤードリモコン端子

リモコンコードの設定

本機は 8 種類のリモコンコード (「コード 1」～「コード 8」) の設定が可能です。複数のプロジェクターを使用するときリモコンコードを使い分けて使用できます。リモコンコードを変更する場合には、プロジェクター本体とリモコンの両方を合わせて切り換える必要があります。プロジェクターのリモコンコードの切り換えはセッティングメニューで行ないます。☞ 63 ページ

<手順>

[MENU] ボタンと合わせたいリモコンコードに相当する数字ボタンを同時に 5 秒間以上長押しします。手を離すとコードが切り換わります。

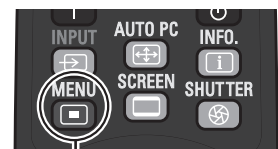
リモコンコード	数字ボタン
コード 1	1
コード 2	2
コード 3	3
コード 4	4
コード 5	5
コード 6	6
コード 7	7
コード 8	8

※ 設定したリモコンコードを初期化したい場合には、リモコン下方にあるスイッチを [RESET] にセットし、その後 [ON] に戻します。

※ 工場出荷時は「コード 1」に設定されています。

※ 電池を交換するとリモコンコードが工場出荷時に戻ります。電池交換後はリモコンコードを再設定してください。

リモコン



[MENU] ボタン

数字ボタン 1～8



[RESET/ON/ALL OFF] スイッチ

設置・接続

レンズの取り付けと交換のしかた

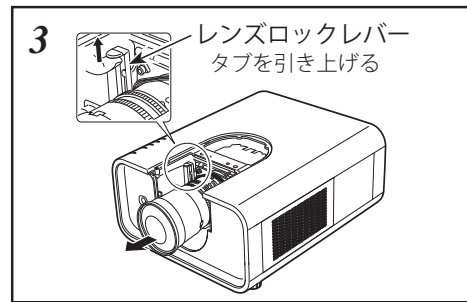
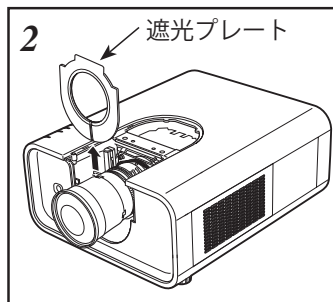
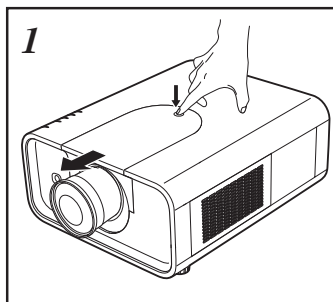
本機はレンズの交換が可能です。プロジェクターを使用する環境の変化に応じてレンズを選択・交換することができます。レンズの仕様についての詳細は、取扱販売店にご相談ください。

レンズの取り外しかた

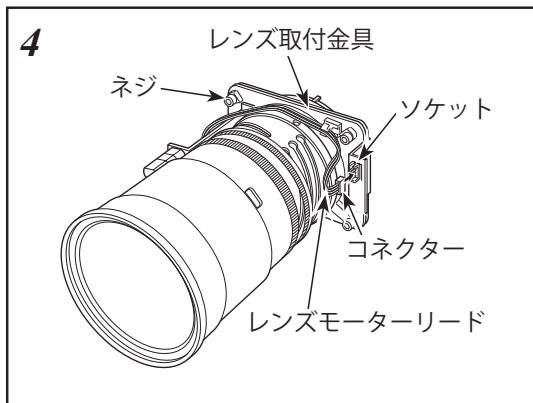
<レンズ交換の前に>

- ・レンズシフトでレンズの位置を中央に戻しておきます。
- ・電源を切り、電源コードを AC コンセントから抜いておきます。

- 1 キャビネット天面のフロントパネル取り外しボタンを押しながら、フロントパネルを手前に引き、取り外します。
- 2 遮光プレートを上方に引き上げ、取り外します。
- 3 レンズを支えながら、プロジェクターのレンズロックレバーを上方に引き上げて解除し、プロジェクター本体からレンズを取り外します。
※ ガラス面を手でふれないようにしてください。
- 4 レンズモーターリードのコネクターをレンズ取付金具のソケットから取り外します。レンズを固定しているネジ(4本)をゆるめて、レンズをレンズ取付金具から取り外します。



※ レンズが落下しないように注意して取り外してください。

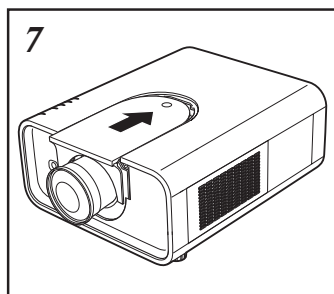
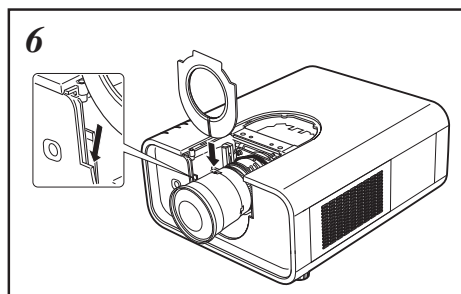
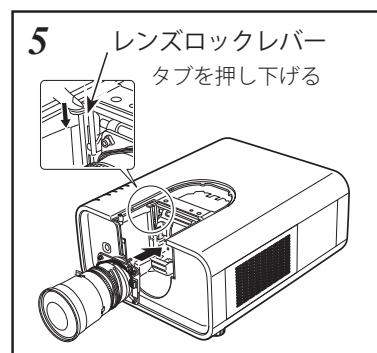
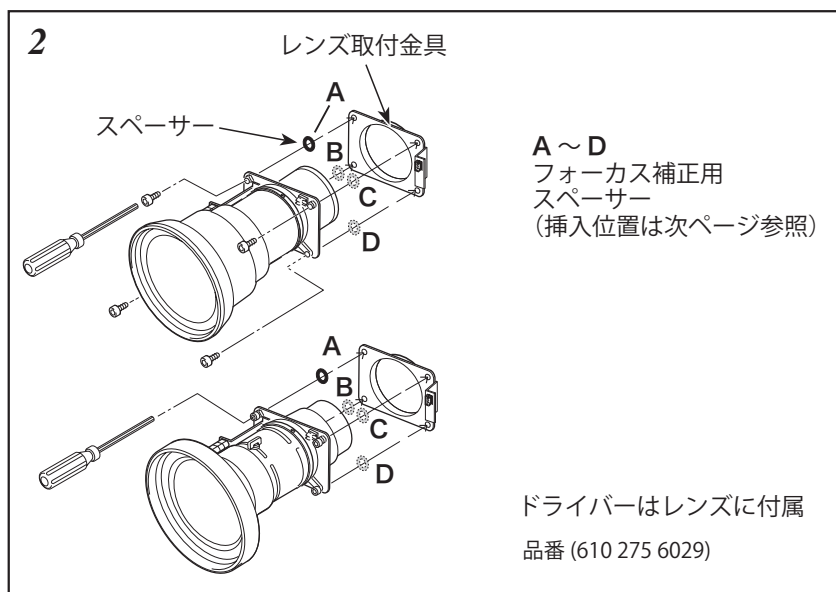


レンズを交換するときのご注意

- ・レンズおよびレンズモーターに配線された線などの部品に無理な力を加えないでください。
- ・ほこりの多い場所でのレンズ交換は避けてください。本体内にゴミやほこりが入ると、画質を損なう原因になります。

レンズの取り付けかた

- 1 交換レンズに付いているレンズ保護キャップ（前後2箇所）を外します
※ ガラス面を手でふれないようにしてください。
- 2 交換レンズを前ページ「4」で取り外した取付金具に4本のネジで取り付けます。
- 3 レンズモーターリードのコネクターをレンズ取付金具のソケットに接続します。
（電動モーター付レンズの場合のみ）
- 4 プロジェクターのレンズロックレバーが解除されているのを確認した後、レンズ取付金具に取り付けたレンズをプロジェクター本体にはめ込みます。
- 5 プロジェクターのレンズロックレバーをつまみ、レンズロックレバーを下側一杯に（レバーがカチッとロックするまで）下げます。（電動モーター付レンズは、ソケットが右側にくるように取り付けます。）
取り付け後、レンズが正しく取り付けられているか確認してください。
- 6 遮光プレートをレンズに通し、プロジェクター本体の溝に通します。
※ 遮光プレートには取り付け方向が表示されています。「THIS SIDE BACK」を後方に、「TOP」を上側にして取り付けます。
レンズによって使用する遮光プレートが異なります。適合レンズ表で確認してください。☞ 23 ページ
- 7 フロントパネルをキャビネット天面の溝に合わせながらスライドさせて本体にはめ込みます。



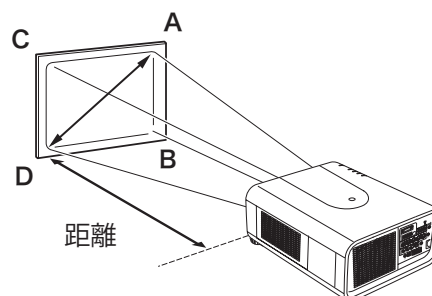
LNS-W32 を取り付けるとき

このレンズを取り付けるときは、遮光プレートは使用しません。
前述の「5」の次に「7」の手順に進んでください。

周辺フォーカスの補正

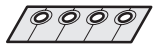


プロジェクターにレンズを取り付けてスクリーンに投映した時、周辺フォーカスが局部的にずれている場合があります。このような場合、レンズ取付金具とレンズの間に付属のスペーサーを挿入し、フォーカスを補正してください。スペーサーを挿入することにより、ベストフォーカスの距離がスクリーン側に補正されます。挿入するスペーサーの厚さにより補正距離が決定します。補正距離の目安はスペーサーの厚さ 0.1 mm につき 約 30 mm です。スペーサーは 3 種類各 4 枚同梱されています。補正距離に応じてスペーサーを挿入してください。

スクリーン (40 インチ投映)



フォーカス補正点

スクリーン A～D に相当する前ページ A～D の位置にフォーカス補正用スペーサーを挿入します。

	スペーサー "1" 色 (クリア)、 厚み, 0.1 mm	補正距離 30 mm/40 インチ投映時
	スペーサー "2" 色 (黒)、 厚み, 0.2 mm	補正距離 55 mm/40 インチ投映時
	スペーサー "3" 色 (クリーム)、 厚み, 0.3 mm	補正距離 80 mm/40 インチ投映時

適合レンズ一覧

レンズ品番	レンズ品名	ズーム	フォーカス	遮光プレート
LNS-S31	標準レンズ	電動	電動	TYPE PG1
LNS-T31A	長焦点ズームレンズ	電動	電動	TYPE PH1
LNS-T32	超長焦点ズームレンズ	電動	電動	TYPE PH1
LNS-W31A	短焦点ズームレンズ	電動	電動	TYPE PH1
LNS-W32	固定・短焦点レンズ	固定	手動	使用しない

設置のしかた

テストパターンを投映する

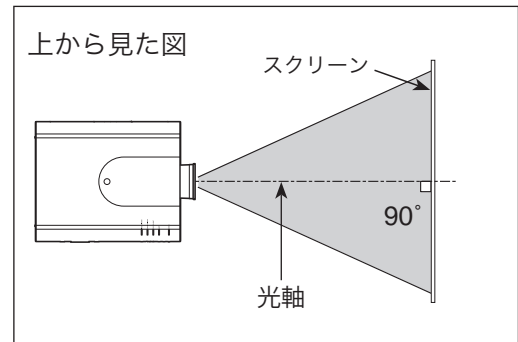
プロジェクターを設置するとき、外部の信号源を使わず内蔵のテストパターンを投映することができます。
「セッティング」メニューで「テストパターン」の中から選択して投映します。☞71ページ

スクリーンに対して直角に投映する

投映したとき光軸がスクリーンに対して直角になるように設置してください。

<ご注意>

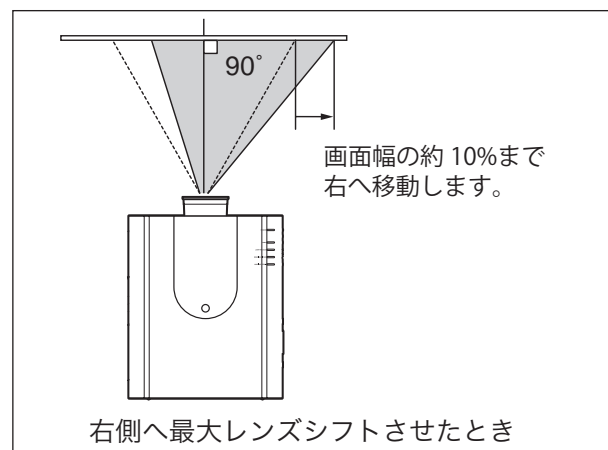
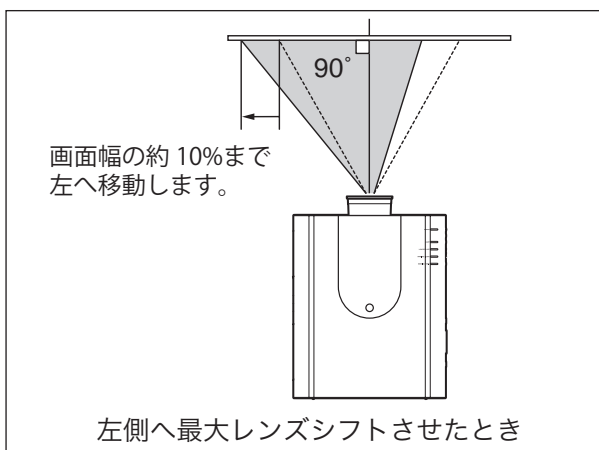
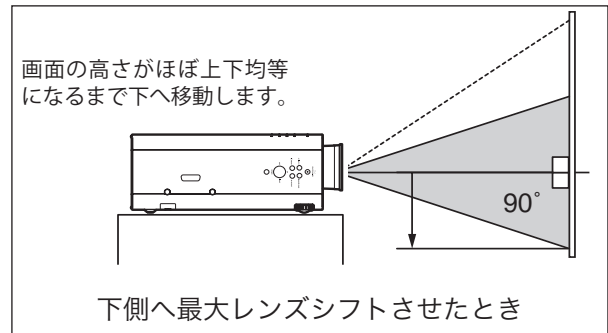
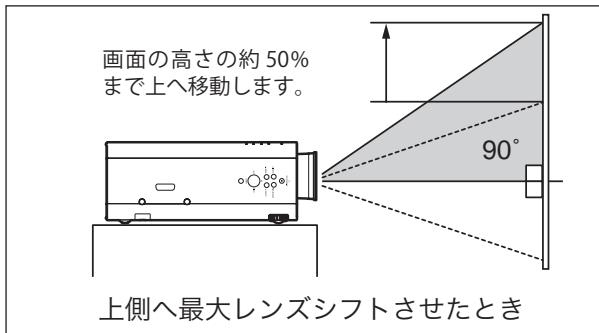
※ スクリーンに対して過度に斜めに投映すると、部分的にフォーカスが合わなくなることがあります。



レンズシフト機能で画面の位置を合わせる (例)

本機にはレンズシフト機能が付いており、ボタン操作でレンズを上下左右にスライドさせ、画面位置を上下左右に移動させることができます。操作のしかたについては、34ページをご覧ください。

※ 下図は本機の標準レンズを装着したときの例です。




お使いになる部屋の明るさについて

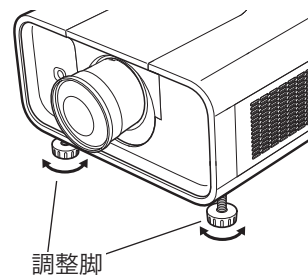
スクリーンは、太陽光線や照明が直接当たらないように設置してください。スクリーンに光が当たると、白っぽく見にくい画面になります。明るい部屋では、部屋の明るさをやや落としてください。

投影画面の高さと傾きを調整する

本体前方を持ち上げてから、本体前方の2つの調整脚をまわして投影画面の高さと傾きを微調整します。
最大約6.5度まで上がります。

※ 画面の上下左右の位置は、主にレンズシフト機能で調整します。

 34 ページ

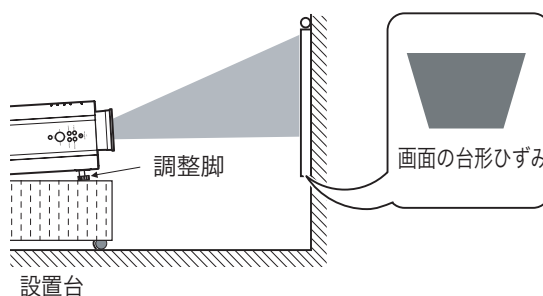


画面の台形ひずみ（あおり）

調整脚を上げすぎると、投影角度がスクリーンに対して斜めになり、画面が台形にひずみます。ひずみが大きい場合は、本体の設置台の高さなどを調整してください。

※ 画面の台形ひずみは、キーストーン調整でも補正できます。

 35、56 ページ



※ 画面のひずみが大きいときは、設置台を高くして調整してください。



ご注意・著作権について

この液晶プロジェクターを営利目的または公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテル等において画面サイズ切り換え機能等を利用して画面の圧縮、引き伸ばし等を行ないますと、著作権法で保護されている作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意願います。

接続の例～コンピュータ

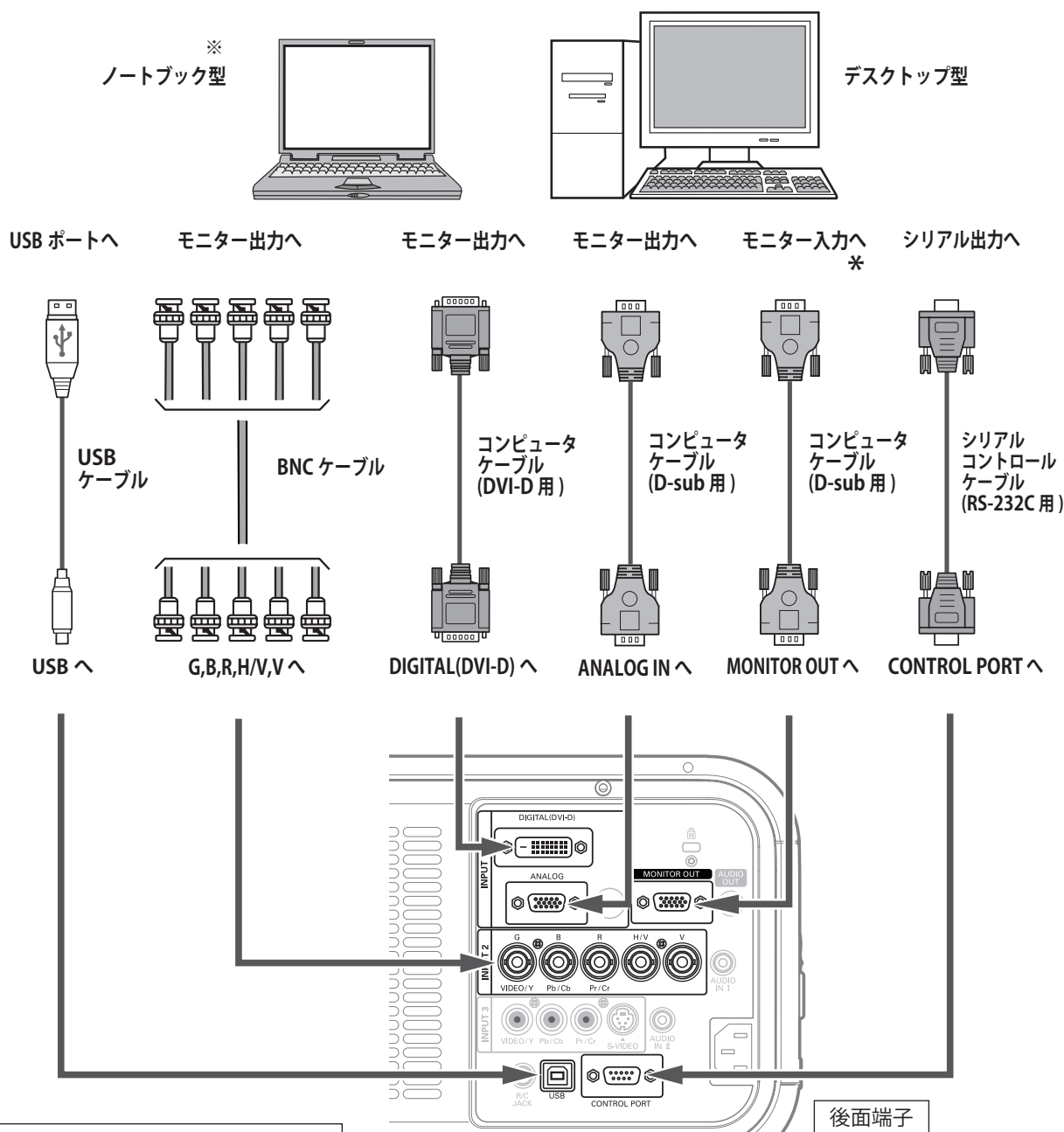
接続に使用するケーブル

- コンピュータケーブル (D-sub 用、DVI-D 用)
- BNC ケーブル
- USB ケーブル
- シリアルコントロールケーブル (RS232C 用・クロス)

(注) コンピュータケーブル (D-sub 用) と USB ケーブル以外のケーブルは付属していません。そのほかは市販のケーブルをお使いください。またその際には、各端子の形状および後面端子の幅に合ったケーブルをご使用ください。

コンピュータの映像を外部出力にする設定は、ケーブルをつないだ後に行なってください。設定方法はコンピュータの取扱説明書をご覧ください。

※ ノートブック型は、「キーボードの [Fn] キーを押しながらファンクションキーを押す」といった操作が必要な場合があります。



接続するときの注意:
 接続するときは、プロジェクターと外部機器の両方の電源を切ってから行ってください。

* MONITOR OUT 端子の仕様については、28 ページを参照してください。

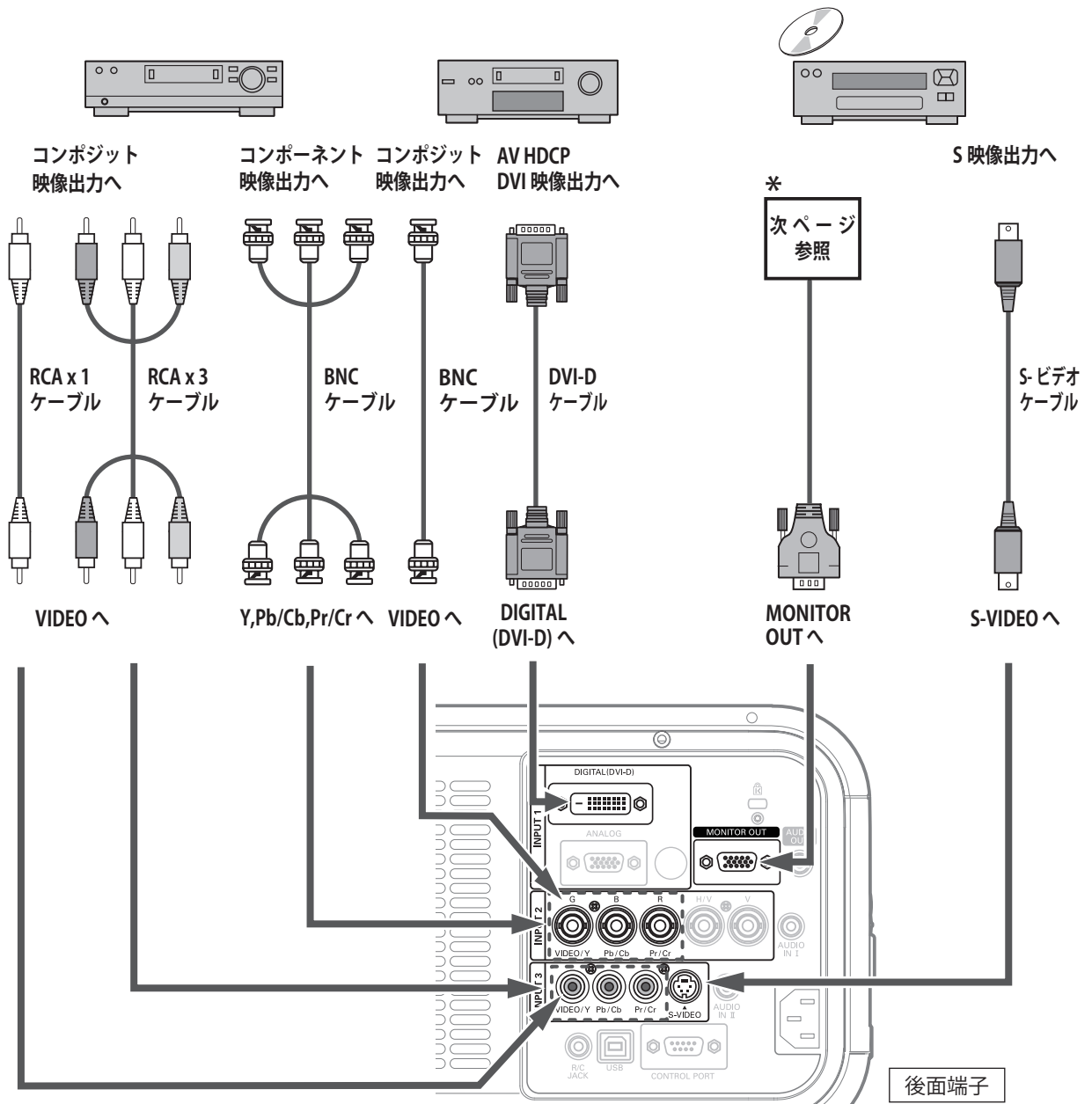
接続の例～ビデオ機器

接続に使用するケーブル

- ・ビデオケーブル (RCA x 3、RCAx1)
- ・Sビデオケーブル (ミニ DIN4 ピン)
- ・BNC ケーブル
- ・DVI-D ケーブル

(注) 本機にはビデオ機器と接続するケーブルは付属していません。市販のケーブルをお使いください。またその際には、後面端子の幅に合ったケーブルをご使用ください。

ビデオ、S-ビデオ、ビデオディスクプレーヤなど



接続するときのご注意:

接続するときは、プロジェクターと外部機器の両方の電源を切ってから行なってください。

* MONITOR OUT 端子の仕様については、28 ページを参照してください。

接続の例～音声入出力

接続に使用するケーブル

- ・オーディオケーブル（ステレオミニプラグ - RCAX2、ステレオミニプラグ）
- （注）音声ケーブルは付属していません。市販のケーブルをお使いください。
- AUDIO OUT から音声を外部機器に出力する場合には、出力先の外部機器にアンプ機能が内蔵されている必要があります。

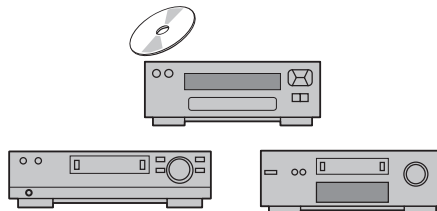
ノートブック型



デスクトップ型



ビデオ、S-ビデオ、ビデオディスクプレーヤなど



音声出力へ



オーディオケーブル
(ステレオミニプラグ)

AUDIO IN I または AUDIO IN II へ ※

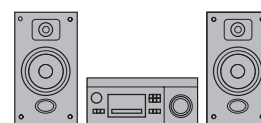
音声出力へ



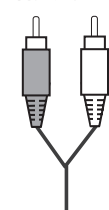
オーディオケーブル
(ステレオミニプラグ
-RCAX2)

AUDIO IN I または AUDIO IN II へ ※

オーディオアンプ / ステレオスピーカ



音声入力へ

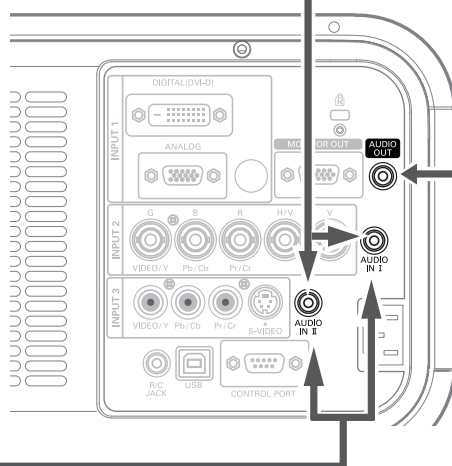


オーディオケーブル
(ステレオミニプラグ
-RCAX2)

AUDIO OUT へ

※ 「AUDIO IN I」「AUDIO IN II」
のインプットパターンの設定は、
サウンドメニューで行ないます。
P.39 ページ

後面端子



* MONITOR OUT の仕様

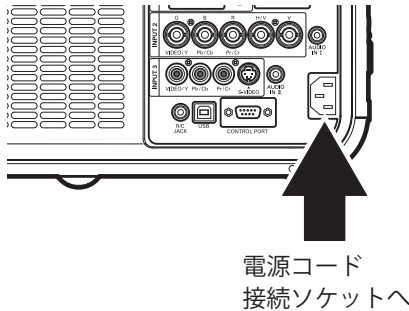
入力端子		出力の可否	接続ケーブル
インプット 1	D-sub15	RGB (PC アナログ)	○
		RGB (Scart)	×
	DVI-D	RGB (PC デジタル)	×
		RGB (AV HDCP)	×
インプット 2	5BNC	RGB	○
		Video	○ ◆
		Y, Cb/Cr	○ ◆
インプット 3	RCA	Y, Cb/Cr	○ ◆
	S-video	S-video	×
	Video	Video	○ ◆
ネットワーク			×

◆ 端子の一方の形状が D-sub である
ケーブルが必要です。

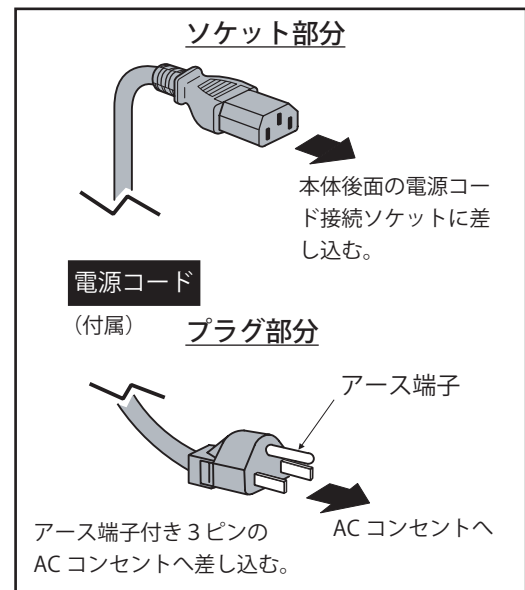
電源コードを接続する

電源コードをつなぐ前に 16、26～28 ページを参照して、コンピュータやビデオ機器を接続してください。

- 1 電源コードのソケット部分を本体後面の電源コード接続ソケットに差し込みます。



- 2 電源コードのプラグ部分をアース端子付き 3 ピンの AC コンセントに差し込みます。



注意



電源コード取扱上の注意

電源コードは、かならず本機に付属のものをご使用ください。他の機器に使われているものは絶対に使用しないでください。事故や火災の原因となります。また、本機に付属の電源コードを他の機器に使用しないでください。



ご使用にならないときは電源コードを抜いてください。

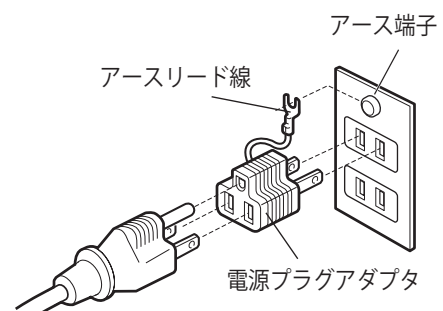
本機は、リモコンの [STAND-BY] ボタンや操作パネルの [ON/STAND-BY] ボタンで電源を切っても、約 19.3W の電力が供給されています。安全と節約のため、長期間ご使用にならないときは電源プラグを AC コンセントから抜いてください。



安全のため電源プラグアダプタのアースリード線を接地してください。

電源コードのプラグはアース端子付き 3 ピンプラグです。アースは確実に接地してご使用ください。コンセントが 2 ピン専用（アース端子が無い）の場合はアース工を行ない、付属の電源プラグアダプタを使用して接続してください。アースはコンピュータ使用時の電波障害の防止にもなっています。接地しないとラジオやテレビに受信障害をおよぼす原因になることがあります。

- ・ 感電の原因になりますので、アース工事は必ず専門業者に依頼してください。
- ・ アースリード線をコンセントに差し込まないでください。感電の原因になります。
- ・ 電源プラグアダプタを使うときは安全のため、電源プラグアダプタをコンセントに差し込む前にアースリード線をアース端子に接続してください。また、外すときは電源プラグアダプタをコンセントから抜いてからアースリード線をアース端子から外してください。



基本の操作

プロジェクターの基本操作

プロジェクターは、本体の操作ボタンまたはリモコンで操作できます。また、リモコンは、ワイヤレス式のほか、リモコンコードを接続してワイヤード式でも操作することができます。

基本操作と操作ボタン

ここで示されている以外の詳しい操作項目は、それぞれのメニュー操作の中の説明をご参照ください。

操作項目	操作ボタン名	本体操作パネル 	リモコン 	参照ページ
電源入・切	ON/STAND-BY	○	-	31、32
電源入	ON	-	○	31
電源切	STAND-BY	-	○	32
入力切換	INPUT	○ INPUT1 → 2 → 3	○ INPUT1 → 2 → 3	33
入力切換	INPUT1/2/3	-	INPUT1/2/3	33
レンズ	LENS	○ ズーム→フォーカス →レンズシフト	-	34
ズーム	ZOOM▲▼	-	○	34
フォーカス	FOCUS▲▼	-	○	34
レンズシフト	LENS SHIFT	-	○	34
スクリーン	SCREEN	-	○	35
キーストーン	KEYSTONE	-	○	35
デジタルズーム	D.ZOOM	-	○	38
自動 PC 調整	AUTO PC	-	○	37
フリーズ	FREEZE	-	○	36
プレゼンテーション タイマー	P-TIMER	-	○	36
フィルター	FILTER	-	○	38
右クリック	R-CLICK	-	○	72
シャッター	SHUTTER	○	○	38
ポインタ	POINTER	-	○	36
インフォメーション	INFO.	-	○	37
メニュー	MENU	○	○	40
セレクト	SELECT	○	○	40
ポイント 上下左右	ポイント ▲▼◀▶	○	○	40
音量 - / +	VOLUME - / +	○ (ポイント◀/▶)	○ (ポイント◀/▶)	39
消音	MUTE	-	○ (ポイント▼)	39

電源を入れる・切る

電源を入れる

電源コードをつなぐ前に 16、26～28 ページを参照して、コンピュータやビデオ機器を接続してください。

1 電源コードを AC コンセントに接続します。☞ 29 ページ
[LAMP] インジケータ (赤) と、[POWER] インジケータ (緑) が点灯します。

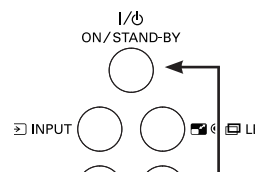
2 リモコンの [ON] ボタンまたは操作パネルの [ON/STAND-BY] ボタンを押して電源を入れます。(注1)
正常に起動すると [LAMP] インジケータ (赤) が少し暗めの点灯に変わります。
約 30 秒間のオープニング画面とそのカウントダウン (注2) が終わると画像が映ります。スタート時、「ランプコントロール」と「入力モード」が約 4 秒間表示されます。
このとき、「セッティング」メニューの「セキュリティ」内の、「暗証番号ロック」(☞ 66 ページ) を「オン」にしているときは、暗証番号を入力します。暗証番号の入力方法は、次ページを参照してください。

(注1)
セッティングメニューで「オンスタート」(☞ 65 ページ) を「オン」に設定しているときは、電源コードを接続すると同時にプロジェクターの電源が入ります。

(注2)
セッティングメニューで、
・「オンスクリーン表示」(☞ 58 ページ) を「オン」、「ロゴ選択」(☞ 59 ページ) を「オフ」に設定しているときは、カウントダウンは表示されますがオープニング画面は表示されません。
・「オンスクリーン表示」(☞ 58 ページ) を「カウントダウンオフ」または「オフ」に設定しているときは、「ロゴ選択」(☞ 59 ページ) の設定に関係なく、ランプ点灯後すぐに投映されます。

カウントダウンの 30 秒間はリモコンによるズーム、フォーカス、レンズシフト以外の操作は行なえません。

操作パネル



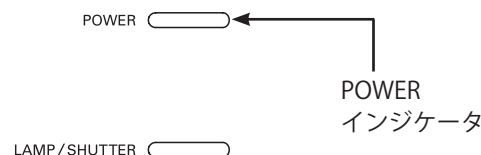
[ON / STAND-BY] ボタン

リモコン

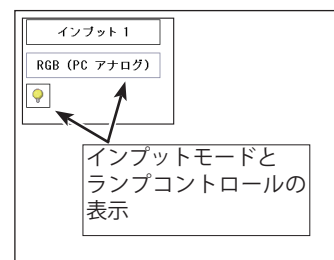


[ON] ボタン

インジケータ



スタート時の画面表示

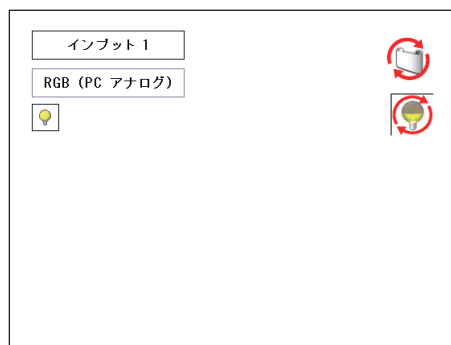


💡 エアフィルターおよびランプに関するお知らせ表示

フィルター警告とランプ交換の表示

電源を入れた後、プロジェクターの状態により「フィルター警告」および「ランプ交換」のお知らせ表示が出ることがあります。☞ 73、75 ページ
※ 約 4 秒間表示されます。

🔄 この表示はエアフィルターカートリッジの交換をお知らせしています。エアフィルターカートリッジを交換せずにプロジェクターを使用し続けると、光学部品の保護のために、電源を入れてから約 3 分後に自動的に電源が切れます。



💡 電源を切った後、すぐには電源が入りません

電源を切った後しばらくの間は、次の点灯に備えて高温になったランプを冷却しています。この間は [ON] または [ON/STAND-BY] ボタンを押しても電源は入りません。[POWER] インジケータが点灯すれば電源を入れることができます。

暗証番号の入力方法

※ 前ページ「電源を入れる」の「1」「2」に続いて、

- 3 「暗証番号ロック」が「オン」のとき、31 ページ「手順2」でカウントダウンが終わったあと、暗証番号を入力する画面が現れます。

リモコンで入力する

- 4 リモコンの数字ボタンで0～9の数字を選択し、4けた全ての数字を入力します。4けた全てを入力すると、ポインタが自動的に「セット」に移動します。

- 5 4けた全ての数字を入力したら、ポインタを「ポイント」ボタン右で「セット」に移動します。

- 6 [SELECT] ボタンを押して決定します。

※ 数字の入力をやり直したいときは、「ポイント」ボタンの左右でやり直したい数字を選択し、数字ボタンまたは「ポイント」ボタン上下で数字を選び直します。
 ※ 4けた全ての数字を消したいときは、「クリア」にポインタを合わせて [SELECT] ボタンを押します。

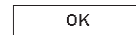
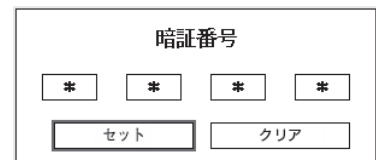
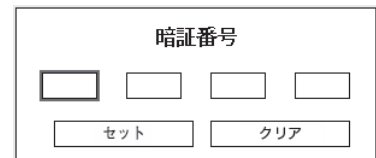
- 7 正しく入力されていると「OK」が画面に表示され、プロジェクターを操作できます。

※ 正しい暗証番号が入力されないと、約3分後に自動的に電源が切れます。

暗証番号ロックとは？

管理者以外の暗証番号を知らない第三者によるプロジェクターの操作を防止します。詳しくは「セッティング」メニューの「セキュリティ」内の「暗証番号ロック」を参照してください。(P.66 ページ)

暗証番号

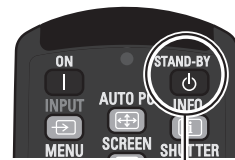


電源を切る

- 1 リモコンの [STAND-BY] ボタンまたは操作パネルの [ON/STAND-BY] ボタンを押すと、画面に「もう1度押すと電源が切れます」と表示されます。

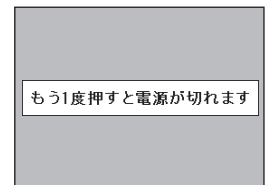
- 2 表示されている間に再度 [STAND-BY] ボタンまたは [ON/STAND-BY] ボタンを押すと画面が消え、電源が切れます。電源が切れると [POWER] インジケータが消え、ランプの冷却を始めます。

リモコン



[STAND-BY] ボタン

電源切り時の画面表示



※ 約4秒間表示されます。



ランプを長持ちさせるために

ランプが発光を始めて安定しない状態のまま電源を切ると、ランプの寿命を縮める原因になります。約5分以上点灯させてから電源を切ってください。電源を切るときは、[STAND-BY] ボタンまたは [ON/STAND-BY] ボタンで操作してください。電源が入っている状態からいきなり電源プラグを抜くと、ランプや回路に悪影響を与えます。



冷却ファンについて

投影している最中、温度によりファンの回転速度が自動的に切り換わりますが、故障ではありません。

パワーマネージメント機能とその働き

本機にはパワーマネージメント機能が搭載されています。30秒以上映像が入力されず、また、プロジェクターも操作されなかった場合、画面に「入力信号なし」とタイマー表示が現れ、カウントダウンを始めます。信号が入力されず、また操作されずカウントダウンが完了するとランプが消灯し、電力の節約とランプ寿命を助ける働きをします。

※ 工場出荷時は「待機・5分」に設定されています。☞ 64 ページ

パワーマネージメントの動作について

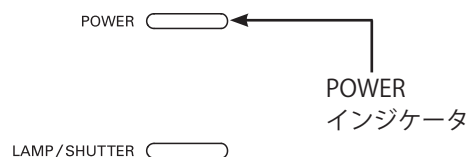
- ・設定が「待機」の場合
 - (1) タイマーのカウントダウンが完了するとランプが消灯し、ランプの冷却を開始します。ランプ冷却中は [POWER] インジケータが消灯し、プロジェクターは操作できません。
 - (2) ランプの冷却が完了すると [POWER] インジケータが点滅を始め、パワーマネージメントモードになっていることを知らせます。この状態のとき、信号が入力されたりプロジェクターが操作されるとランプが点灯し、画像が映射されます。
- ・設定が「シャットダウン」の場合
 - (1) タイマーのカウントダウンが完了するとランプが消灯し、ランプの冷却を開始します。ランプ冷却中は [POWER] インジケータが消え、プロジェクターを操作できません。
 - (2) ランプの冷却が完了すると電源が切れます。

タイマー表示



※ タイマーの表示中に、操作または信号の入力が行なわれると、タイマーの表示は消えます。

パワーマネージメント時のインジケータ



パワーマネージメントが働くと、[POWER] インジケータ（緑色）が消灯します。

プロジェクターを 24 時間以上連続して使用する場合には、24 時間に一度電源を切り、1 時間休ませてください。休ませることにより、ランプをより長くご使用いただけます。

基本の操作

入力信号を選択する

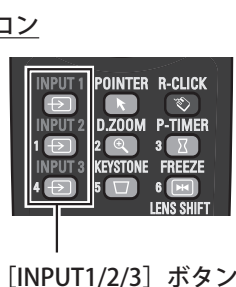
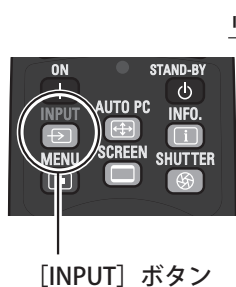
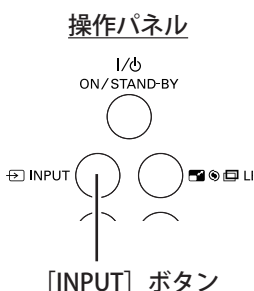
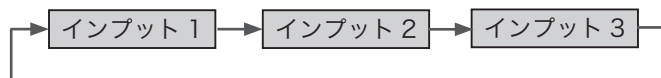
「インプット 1」「インプット 2」「インプット 3」から投映するインプット（入力）を選択します。

- 操作パネルまたはリモコンの [INPUT] ボタンを押して、投映するインプットを選択します。ただし、入力信号を選択することはできません。☞ 42 ページ
- リモコンの [INPUT 1/2/3] ボタンでインプットを選択する場合は、ボタンを押すたびに入力信号が切り換わりまでするので、希望の入力信号になるまで押します。☞ 42 ページ

<ご注意>

本体の操作パネルとリモコンの [INPUT] ボタンでインプット（入力）を選択する場合には、先に「インプット」メニューで各インプットの入力信号を選択しておく必要があります。入力信号の選択が正しく行われていないと [INPUT] ボタンを押しても正しく投映されません。☞ 42～43 ページ

[INPUT] ボタン



投映画面を調整する

プロジェクター本体の操作パネルとリモコンのボタン操作は異なります。

- 操作パネルの [LENS] ボタンを押すたびに、「ズーム」→「フォーカス」→「レンズシフト」の各調整モードに切り換わります。
- リモコンではそれぞれのボタンを押すと、その調整モードに切り換わります。

画面の大きさを決める

[LENS]、[ZOOM] ボタン

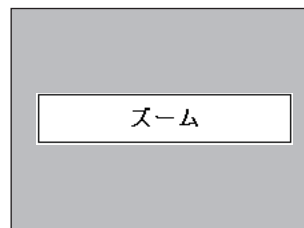
リモコンで操作するとき

[ZOOM] ボタン上・・・画面が大きくなります。
[ZOOM] ボタン下・・・画面が小さくなります。

操作パネルで操作するとき

[LENS] ボタンを押して「ズーム」を選択します。
表示が出ている間に、
[ポイント] ボタン上・・・画面が大きくなります。
[ポイント] ボタン下・・・画面が小さくなります。

「ズーム」表示



- ※ 約4秒間表示されます。
- ※ 「オンスクリーン表示」を「オフ」に設定しているときは表示されません。

フォーカスを合わせる

[LENS]、[FOCUS] ボタン

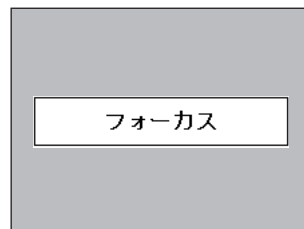
リモコンで操作するとき

[FOCUS] ボタンの上下で、画像がもっとも鮮明に映るように焦点を合わせます。

操作パネルで操作するとき

[LENS] ボタンを押して「フォーカス」を選択します。表示が出ている間に [ポイント] ボタンの上下で、画像がもっとも鮮明に映るように焦点を合わせます。

「フォーカス」表示



- ※ 約4秒間表示されます。
- ※ 「オンスクリーン表示」を「オフ」に設定しているときは表示されません。

レンズシフト機能で画面の位置を上下左右に動かす

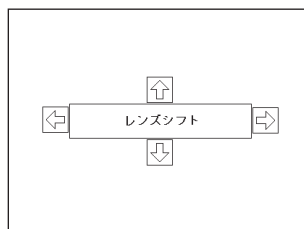
[LENS]、[LENS SHIFT] ボタン

リモコンおよび操作パネルで操作するとき

- 1 リモコンの [LENS SHIFT] ボタン、または操作パネルの [LENS] ボタンを押してレンズシフト調整モードに入ります。画面に「レンズシフト」が表示されます。
- 2 表示されている間に [ポイント] ボタンの上下左右で、画面の位置を上下左右に動かします。

- ※ 移動中に左右方向の矢印が赤色に変わる位置があります。その位置がレンズの左右方向の中央です。
- ※ 最大のシフト位置で矢印の表示が消えます。
- ※ レンズシフト機能で調整した内容は、電源を切っても記憶されています。
- ※ 画面位置を動かすと、多少画面が暗くなる場合があります。

「レンズシフト」表示



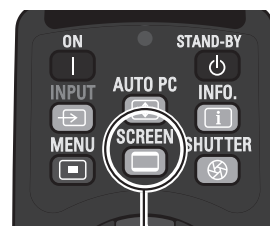
- ※ 約4秒間表示されます。
- ※ 「オンスクリーン表示」を「オフ」に設定しているときは表示されません。

画面サイズを選択

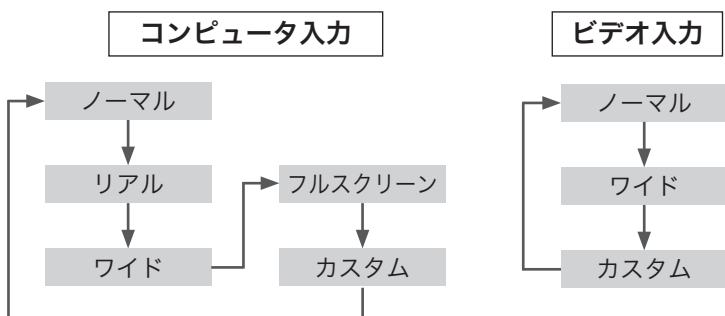
【SCREEN】ボタン

リモコンの【SCREEN】ボタンで、入力信号に合わせて画面のサイズを、「ノーマル」「リアル」「ワイド」「フルスクリーン」「カスタム」の中から選択することができます。(P.53～55 ページ)

- ※「リアル」「フルスクリーン」は、ビデオ入力では選択できません。
- ※ ボタンを5秒間以上長押しすると、「スクリーン」メニュー内で設定したすべての内容が工場出荷時に戻ります。



【SCREEN】ボタン



キーストーン調整 (台形ひずみの補正)

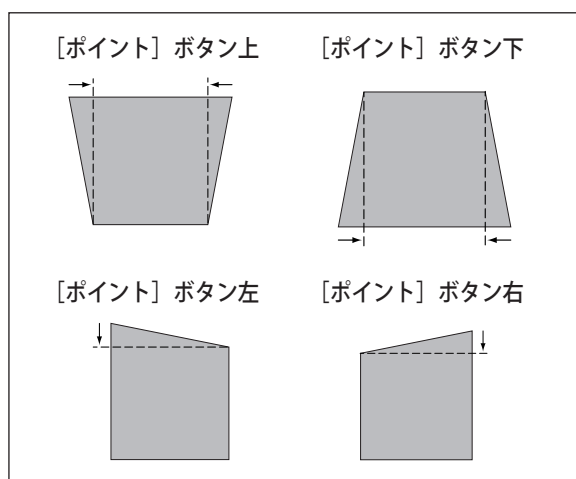
【KEystone】ボタン

リモコンの【KEystone】ボタンを押します。画面に「キーストーン」が表示されます。表示されている間に【ポイント】ボタンの上下左右で画面の台形ひずみを補正します。

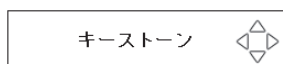
- 【ポイント】ボタン上・・・画面上部の幅が縮みます。
- 【ポイント】ボタン下・・・画面下部の幅が縮みます。
- 【ポイント】ボタン左・・・画面左部の高さが縮みます。
- 【ポイント】ボタン右・・・画面右部の高さが縮みます。



【KEystone】ボタン



「キーストーン」表示



- ※ 約10秒間表示されます。
- ※ 「オンスクリーン表示」を「オフ」に設定しているときは表示されません。
- ※ 補正された方向の矢印は赤色で表示されます。(無補正の場合は白色で表示)
- ※ 最大の補正位置で矢印の表示が消えます。

<ご注意>

- ※ 「キーストーン」表示が現れているあいだにリモコンの【KEystone】ボタンを押すと、補正前の状態に戻ります。
- ※ キーストーン調整後に「天吊り」を「オン」にすると、補正前の状態に戻ります。
- ※ キーストーン調整で補正した画面は、信号をデジタル圧縮して映しますので、線や文字がオリジナルの画像と多少異なる場合があります。
- ※ キーストーンの補正量および補正範囲は入力信号によって異なります。

その他の機能

画面を一時的に静止させる

[FREEZE] ボタン

リモコンの [FREEZE] ボタンを押すと、再生機器に関係なく投映画面だけが静止します。もう一度 [FREEZE] ボタンを押すと解除されます。また、FREEZE 中にほかのボタンを押すと、FREEZE は自動で解除され、押したボタンが機能します。

※ FREEZE 機能の動作中は、パワーマネージメント (☞ 33 ページ) は動作しません。



[FREEZE] ボタン



こんなときに便利です

プレゼンターがコンピュータで次の資料の準備をする間、視聴者には [FREEZE] ボタンで一時静止した画面を見てもらいます。準備中の無用な画像を隠して、スマートなプレゼンテーションが行なえます。

プレゼン時に経過時間を表示する

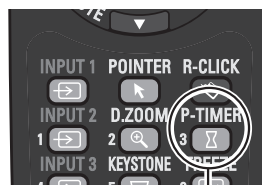
[P-TIMER] ボタン

リモコンの [P-TIMER] ボタンを押すと、ボタンを押したときからの経過時間をカウントして画面に表示します。もう一度 [P-TIMER] ボタンを押すと経過時間のカウントを止め、それまでの経過時間を画面に表示します。さらに [P-TIMER] ボタンを押すと解除されます。



こんなときに便利です

プレゼンテーションの持ち時間が決められているときなど、プレゼンターは経過時間を考えながら、スムーズなプレゼンテーションを行なうことができます。



[P-TIMER] ボタン

経過時間の表示

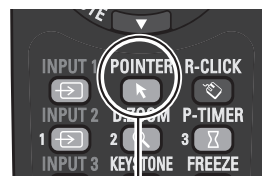


ポインタを表示する

[POINTER] ボタン

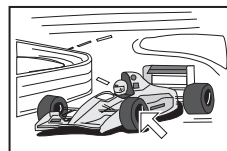
リモコンの [POINTER] ボタンを押すと、画面上にポインタを表示させることができます。表示したポインタは [プレゼンテーションポインタ] ボタンで操作します。☞ 19 ページ
ポインタ表示を解除するには、リモコンの [左・右クリック / SELECT / ポイント] ボタン (☞ 18、19 ページ) 以外のボタンを押します。また、30 秒間操作しないしていると、自動的に解除されます。

※ ポインタの種類は、「セッティング」メニューの「ポインタ」で変更します。
☞ 65 ページ



[POINTER] ボタン

ポインタ



投映中の入力信号の状況やランプの状態を確認する

「インフォメーション」で、投映中の入力信号の状況とランプの状態を画面上で確認することができます。

[INFO.] ボタン

リモコンの [INFO.] ボタンを押します。

メニューから確認する

[MENU] ボタンを押してメニューバーを出し、[ポイント] ボタンの左右で「インフォメーション」を選択します。

インプット	インプット 1	
	RGB (PC デジタル)	
水平周波数	0.0 KHz	
垂直周波数	0.0 Hz	
スクリーン	ノーマル	
言語	日本語	
ランプ状態		
パワーマネジメント	待機 5 分	
シャッターマネジメント	リモートコントロール	オフ
	プロジェクター	オフ
		180 分
セキュリティ	キーロック	
	暗証番号ロック	オフ
リモートコントロール	シンプルモード	オフ
	リモコンコード	コード 1
SERIAL NO.	*****	

インフォメーション
メニューアイコン



[INFO.] ボタン

確認できる項目

- ・インプット (投映中の信号の種類)
- ・水平周波数
- ・垂直周波数
- ・スクリーン
- ・言語
- ・ランプ状態
- ・パワーマネジメント
- ・シャッターマネジメント
- ・セキュリティ
- ・リモートコントロール
- ・SERIAL NO. (製品シリアル番号)

<ご注意>

※ 表示項目中の「水平周波数」「垂直周波数」は、およその目安です。



こんなときに便利です

プロジェクターの準備・設置などでうまく投映できないときに、問題解決の手助けになります。

コンピュータ信号の画面調整を自動で行なう

リモコンの [AUTO PC] ボタンを押すと、コンピュータ信号の「トラッキング」「総ドット数」「ポジション H」「ポジション V」を自動で調整します。☞ 46 ページ

※ 自動 PC 調整で、「トラッキング」「総ドット数」「ポジション H」「ポジション V」の全てを完全に調整できないコンピュータもあります。その場合は、マニュアルで調整してカスタムモードに登録してください。

☞ 46 ~ 48 ページ

※ 自動調整した内容を登録しておくと、コンピュータのシステムメニューでそのモードを選択することができます。登録のしかたについては、コンピュータシステムの調整の中のマニュアル PC 調整の項 (☞ 46 ページ) をご参照ください。

※ コンピュータからの入力信号によっては、自動 PC 調整を行なえない信号があります。☞ 46 ページ

※ 「PC 調整」メニューからも自動 PC 調整を行なえます。☞ 46 ページ



[AUTO PC] ボタン

画面を拡大する

[D.ZOOM] ボタン

画面の拡大、縮小を行ないます。

○デジタルズーム+

リモコンの [D.ZOOM] ボタンを1回押すと、画面に「デジタルズーム+」が表示されます。[SELECT] ボタンを押すごとに画面が拡大します。[ポイント] ボタンで画面をパンニング（移動）させます。

○デジタルズーム-

リモコンの [D.ZOOM] ボタンを2回押すと、画面に「デジタルズーム-」が表示されます。[SELECT] ボタンを押すごとに画面が縮小します。

デジタルズームモードから抜けるときは、「D.ZOOM、SELECT、ポイント」以外のボタンを押します。

※「スクリーン」メニューからもデジタルズームを行なえます。

☞ 53 ~ 54 ページ



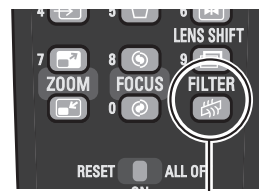
[D.ZOOM] ボタン

エアフィルターを巻き取る

[FILTER] ボタン

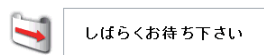
リモコンの [FILTER] ボタンを5秒以上押し続けると、右図のメッセージが画面に表示され、エアフィルターを1回巻き取ります。

- ※ 汚れていなくてもフィルターを巻き取ります。
- ※ エアフィルターの巻き戻しはできません。
- ※ 巻き取りを行なうと、フィルター使用時間（☞ 69 ページ）が自動的に「0」に戻ります。
- ※ エアフィルターの巻き取り回数の残りが「0」のときは画面に が表示され、巻き取りは行なわれません。
- ※ エアフィルターが巻き取られている最中に、エアフィルター巻き取りの操作を行なうと、画面に が表示されます。
- ※ エアフィルターカートリッジの端の部分に巻き取った残りが見えることがあります。正しく巻き取られていますのでご使用には問題ありません。
- ※ 巻き取り中に電源が切れるなどによって動作が途中で止まったときは、再び電源が入ったときに残った部分の巻き取りを行ないます。
- ※ 「セッティング」メニューの「フィルター制御」からもフィルターの巻き取りを行なえます。☞ 62 ページ



[FILTER] ボタン

フィルター巻き取り時の画面表示

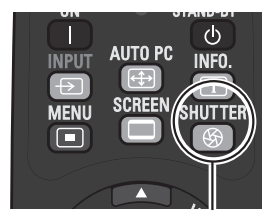


シャッターを閉じる

[SHUTTER] ボタン

本機には、機械的なシャッターが搭載されています。リモコンまたは操作パネルの [SHUTTER] ボタンを押すと、シャッターを閉じて投映光を遮断します。シャッターを閉じている間は [SHUTTER] インジケータが青色に点灯します。再度 [SHUTTER] ボタンを押すとシャッターが開きます。

- ※ シャッターを閉じているときに他のボタンを押すとシャッターが開き、押したボタンの機能が動作します。
- ※ リモコンからのシャッター操作の保護（操作禁止）を設定している場合にリモコンの [SHUTTER] ボタンを押すと、画面に が表示されます。また、本体のボタン操作を保護している場合にも同様に表示されます。
- ※ シャッター操作の保護設定などのシャッターに関する設定は、「セッティング」メニューの「シャッター」で行ないます。☞ 68 ページ



[SHUTTER] ボタン

音声に関する操作・設定

本機は、入力信号に応じた音声を他の外部機器に出力することができます。(インプットがネットワークの場合、音声機能は使用できません)

音量を設定する

ダイレクトボタンで音を調節する

音量 (音声出力)

画面表示が出ていない状態で、リモコンの [VOL-] ボタンまたは操作パネルの [VOLUME-] ([ポイント] ボタン左) を押すと音量が小さくなり、リモコンの [VOL+] ボタンまたは操作パネルの [VOLUME+] ボタン ([ポイント] ボタン右) を押すと音量が大きくなります。音量は 0 から 63 まで調整できます。画面に表示される音量バーを目安に調整してください。

消音 (音声出力)

画面表示が出ていない状態で、リモコンの [MUTE] ボタン ([ポイント] ボタン下) を押すと、一時的に音が消えます。再度リモコンの [MUTE] または [VOL (+/-)] ボタンを押すと解除されます。

サウンドメニューで音を調節する

- 1 リモコンまたは操作パネルの [MENU] ボタンでメニューバーを出し、[ポイント] ボタンの左右でポインタを「サウンド」メニューに合わせます。
- 2 [ポイント] ボタンの上下で、選択したい項目にポインタを合わせて [SELECT] ボタンを押します。



音量 (音声出力)

[ポイント] ボタン左で音量が小さくなり、[ポイント] ボタン右で音量が大きくなります。音量バーを目安に調節してください。



消音 (音声出力)

[ポイント] ボタン右または左で「オン」に切り換えると、一時的に音を消すことができます。「オフ」にすると再び音が出ます。

- ※ 消音を「オン」を設定していても、音量を変更すると自動的に消音は「オフ」になり音が出ます。
- ※ [AUDIO OUT] (音声出力端子) は可変出力です。プロジェクターで音量を変化させると、[AUDIO OUT] からの出力が変化します。

音声と映像のインプットパターンを設定する



インプットパターン

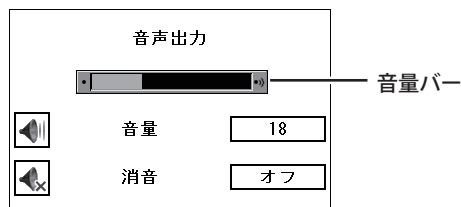
映像のインプットを選択したときに、どの音声入力を [AUDIO OUT] から外部出力するか設定します。映像の INPUT 「インプット 1」「インプット 2」「インプット 3」に対して、音声入力「AUDIO IN I」と「AUDIO IN II」を割り当てた 3 つのパターンから選択します。

- 1 リモコンまたは操作パネルの [MENU] ボタンでメニューバーを出し、[ポイント] ボタンの左右でポインタを「サウンド」メニューに合わせます。
- 2 [ポイント] ボタンの上下で、「インプットパターン」にポインタを合わせて [SELECT] ボタンを押します。
- 3 インプットパターンを設定する画面が表示されますので、[ポイント] ボタン上下でパターンを選択し、[SELECT] ボタンを押して設定します。

リモコンの音量設定ボタン

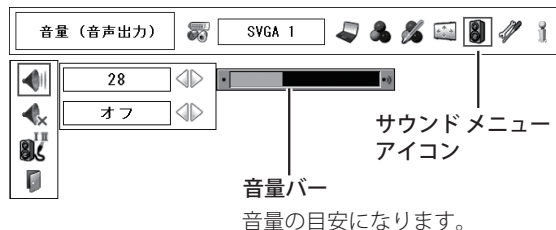


ダイレクトボタンでの音量調整時の画面表示

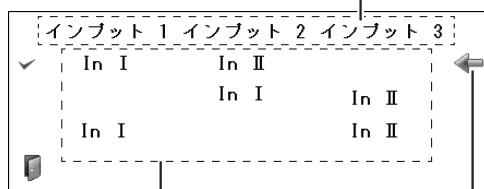


- ※ 約 4 秒間表示されます。
- ※ 「オンスクリーン表示」(P 58 ページ) を「オフ」に設定しているときは表示されません。
- ※ ネットワークで使用しているときは表示されません。

サウンドメニュー



インプットパターン



映像のインプットの選択時に、ポインタを合わせて音声出力として割り当てる「In I」「In II」のパターン [SELECT] ボタンで選択します。

3 種類の音声出力パターン

	インプット 1	インプット 2	インプット 3
①	In I	In II	音声なし
②	音声なし	In I	In II
③	In I	音声なし	In II

オンスクリーンメニューの操作方法

メニュー操作の基本を覚えてください

オンスクリーンメニュー（画面上のメニュー）の操作は、

- ① [ポイント] ボタンでポインタを移動させて
- ② ポインタがある項目を [SELECT] ボタンで選択するが基本です。

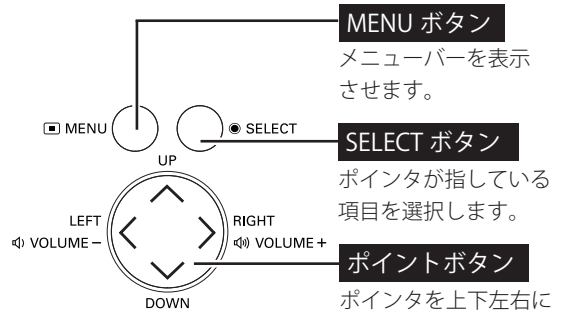
① ポインタの動かし方

ポインタは、[ポイント] ボタンで上下左右に動かします。[ポイント] ボタンはリモコンと操作パネルにあります。

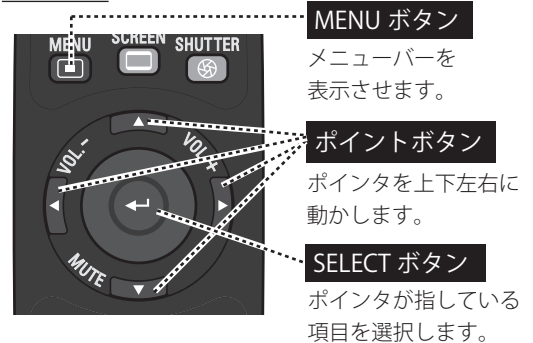
② 項目の選択のしかた

ポインタの指す項目やアイコン（操作をイメージした絵）を選択するには、[SELECT] ボタンを押します。[SELECT] ボタンはリモコンと操作パネルにあります。

操作パネル



リモコン



操作の手順

画面にメニューバーを表示させる

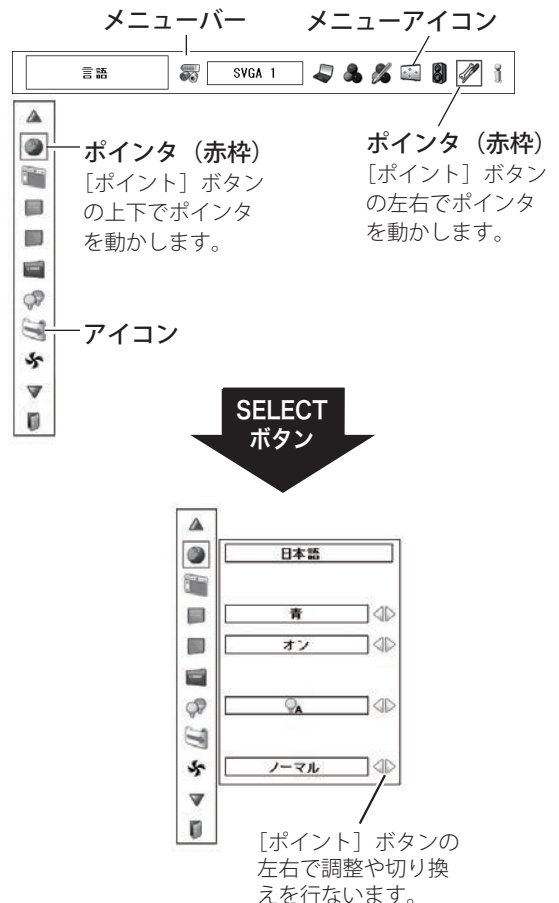
- 1 [MENU] ボタンを押すと、画面にメニューバーが表示されます。メニューバーには選択できるメニューがアイコン（操作をイメージした絵）の形で一覧表示されます。アイコンを囲んでいる赤い枠がポインタです。

メニューを選択する

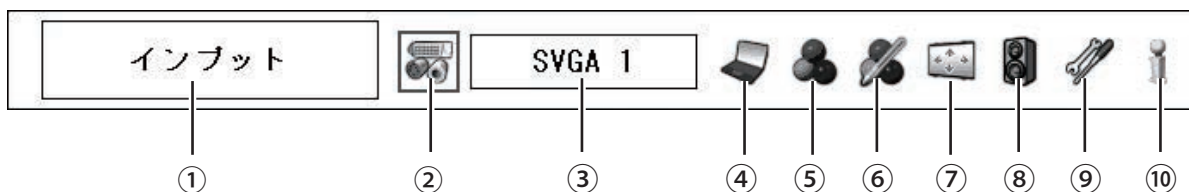
- 2 赤い枠のポインタを [ポイント] ボタンの左右で選択したいメニューのアイコンに移動させます。

メニュー画面で調整や切り換えを行なう

- 3 [ポイント] ボタンの上下で、ポインタを調整する項目のアイコンに合わせます。
- 4 [SELECT] ボタンを押して、調整する項目の設定状態をメニュー画面に表示します。
- 5 [ポイント] ボタンの左右で、調整や切り換えを行ないます。それぞれのメニューの調整については、各メニューの説明項目を参照してください。



メニューバー



①	ガイドボックス オンスクリーンメニューの選択中の項目を表示します。	
②	インプットメニュー (F 42～43 ページ) 「インプット (入力) 1～3」を切り換えます。	
③	システムボックス (F 44、45 ページ) コンピュータ画面のときは、選択されたコンピュータシステムを表示します。 ビデオ画面のときは、選択されたカラーシステムまたは走査方式を表示します。	
④	PC 調整メニュー * (F 46～48 ページ) お使いのコンピュータに合わせてシステムを調整し、カスタムモードに登録します。	自動 PC 調整、トラッキング、総ドット数、ポジション H、ポジション V、コンピュータ情報、クランプ、画面領域 H、画面領域 V、リセット、データ消去、メモリー
⑤	イメージ選択メニュー (F 49 ページ) 画面のイメージモードを選択します。	標準、リアル*、シネマ**、イメージ 1～10
⑥	イメージ調整メニュー (F 49～52 ページ) 画面のイメージをマニュアルで調整します。	コントラスト、明るさ、色の濃さ**、色合い**、カラーマネージメント、自動画質補正、アドバンスドカラー、色温度、ホワイトバランス (赤/緑/青)、オフセット、画質、ガンマ補正、ノイズリダクション**、プログレッシブ**、リセット、メモリー
⑦	スクリーンメニュー (F 53～56 ページ) 画面の大きさや投射モードを設定します。	ノーマル、リアル*、ワイド、フルスクリーン*、カスタム、デジタルズーム+ノ-*、キーストーン、天吊り、リア投射、リセット
⑧	サウンドメニュー *** (F 39 ページ) 音声の設定を行ないます。	音量 (音声出力)、消音 (音声出力)、インプットパターン
⑨	セッティングメニュー (F 57～71 ページ) プロジェクターの各種設定を行ないます。	言語、メニュー、オンスクリーン表示、バックグラウンド、ロゴ、ランプコントロール、フィルター制御、ファン制御、リモートコントロール、リモコン受光部、パワーマネージメント、オンスタート、ポイント、セキュリティ、シャッター、ランプカウンター、フィルターカウンター、テストパターン、初期設定
⑩	インフォメーションメニュー (F 37 ページ) 投射中の信号状況とセッティングの状況を表示します。	インプット、水平周波数、垂直周波数、スクリーン、言語、ランプ状態、パワーマネージメント、シャッターマネージメント、セキュリティ、リモコン、SERIAL NO.

* インプットがコンピュータのときのみ表示、選択可。

** インプットがビデオのときのみ表示、選択可。

*** インプットがネットワークのときは選択不可。

入力の選択・設定・調整

入力を切り換える

プロジェクターに接続されたコンピュータ、ビデオなどの機器からの入力信号を切り換えます。

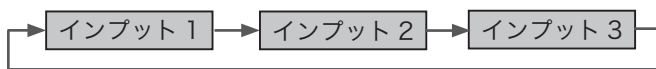
[INPUT] ボタンでインプット (入力) を切り換える

① 操作パネル、リモコンの [INPUT] ボタン

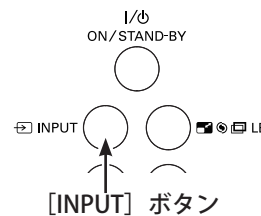
操作パネルまたはリモコンの [INPUT] ボタンを押すとインプットが表示され、押すごとにインプットが切り換わります。(P.33 ページ)

※ [INPUT] ボタンでは、入力信号の切り換えはできません。正しい入力信号でない場合は、リモコンの [INPUT1/2/3] ボタン、または「インプット」メニューで正しい入力信号を選択してください。(下記参照)

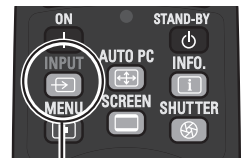
[INPUT] ボタン



操作パネル



リモコン

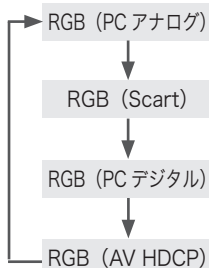


② リモコンの [INPUT1/2/3] ボタン

リモコンの [INPUT 1/2/3] ボタンで、インプットを直接選択することができます。ボタンを押すと画面にインプットが表示され、最後に投射した入力信号が選択されます。さらに、インプットの表示中にボタンを押すと、それぞれのインプットで選択する入力信号が切り換わります。(P.33 ページ)

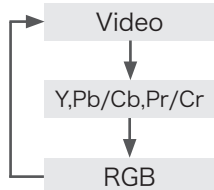
[INPUT 1] ボタン

インプット 1



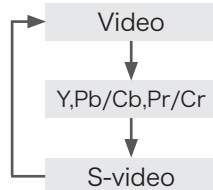
[INPUT 2] ボタン

インプット 2

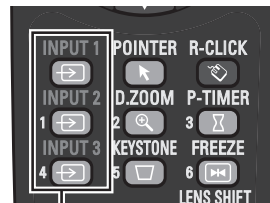


[INPUT 3] ボタン

インプット 3



リモコン



[INPUT1/2/3] ボタン

※ 下記の表示が出ている間にボタンを押すと、左記の順番で入力信号が切り換わります。

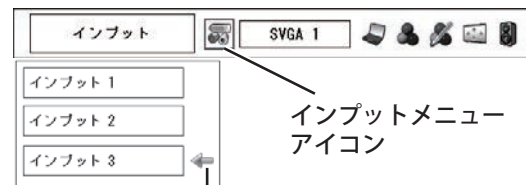
インプットの表示



[INPUT] メニューでインプット (入力) を切り換える

- 1 [MENU] ボタンを押してメニューバーを出し、[ポイント] ボタンの左右でポインタを「インプット」メニューに合わせます。
- 2 [ポイント] ボタン上下で、ポインタを映したいインプットに合わせて [SELECT] ボタンを押します。入力信号選択メニューが表示されます。
- 3 [ポイント] ボタンの上下で、ポインタを映したい入力信号に合わせて [SELECT] ボタンを押します。

インプットメニュー



ポインタを合わせて [SELECT] ボタンで選択します。

インプット 1

RGB (PC アナログ)

INPUT 1 の [ANALOG] 端子に、コンピュータのアナログ信号が接続されているときに選択します。

RGB (Scart)

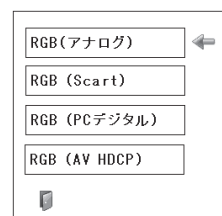
INPUT 1 の [ANALOG] 端子に、映像機器の SCART 映像出力* が SCART-VGA ケーブルで接続されているときに選択します。

RGB (PC デジタル)

INPUT 1 の [DIGITAL(DVI-D)] 端子に、コンピュータのデジタル信号が接続されているときに選択します。

RGB (AV HDCP)

INPUT 1 の [DIGITAL(DVI-D)] 端子に、HDCP 対応のデジタル映像信号が接続されているときに選択します。



インプット 2

Video

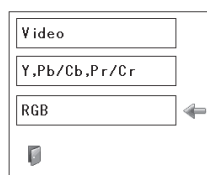
INPUT 2 の [VIDEO/Y] 端子に、ビデオ信号が接続されているときに選択します。

Y,Pb/Cb,Pr/Cr

INPUT 2 の [Y,Pb/Cb,Pr/Cr] の BNC 端子に、コンポーネントビデオ信号が接続されているときに選択します。

RGB

INPUT 2 の [R,G,B,H/V,V] の BNC 端子に、コンピュータのアナログ信号が接続されているときに選択します。



インプット 3

Video

INPUT 3 の [VIDEO/Y] 端子に、ビデオ信号が接続されているときに選択します。

Y,Pb/Cb,Pr/Cr

INPUT 3 の [Y,Pb/Cb,Pr/Cr] の BNC 端子に、コンポーネントビデオ信号が接続されているときに選択します。

S-video

INPUT 3 の [S-VIDEO] 端子に、S 映像信号が接続されているときに選択します。



* SCART 21 ピン端子は、主にヨーロッパ地域で販売されているビデオ機器に備えられているビデオ出力端子で、この端子の RGB 出力をプロジェクターで見るには、ビデオ機器の SCART 21 ピン端子とプロジェクターの [INPUT 1 ANALOG IN] を専用のケーブルで接続します。[INPUT 1 ANALOG IN] で再生される RGB SCART 信号は、480i、575i の RGB 信号のみです。コンポジットビデオ信号は再生されません。



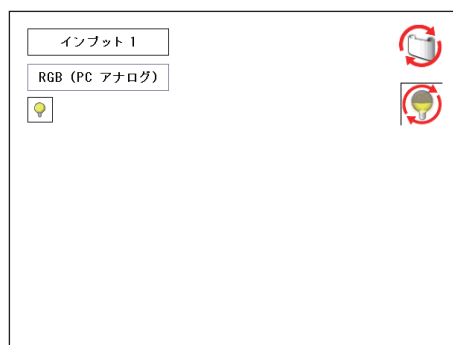
エアフィルターおよびランプに関するお知らせ表示

インプットを切り換えた際、プロジェクターの状態によっては、「フィルター警告」および「ランプ交換」のお知らせが表示されることがあります。

☞ 73、75 ページ

※ お知らせは約 4 秒間表示されます。

フィルター警告と
ランプ交換の表示



コンピュータシステムの選択

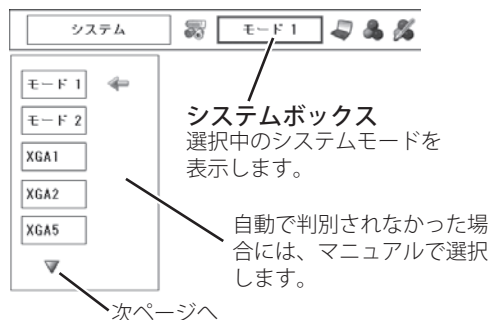
システムモードが自動選択されます

(マルチ スキャン システム)

本機は接続されたコンピュータの信号を判別し、適合するシステムモード (VGA、SVGA、XGA、SXGA...) を自動で選択しますので、ほとんどの場合、特別な操作をせずにコンピュータ画面を投射できます。☎ 84～85 ページ

選択されたシステムモードは、メニューバーのシステムボックスに表示されます。システムボックスには、下記のメッセージが表示されることがあります。

システムメニュー



システムボックスに表示されるメッセージ

Auto

接続されたコンピュータの信号に合ったシステムモードがプロジェクターに用意されていない場合、自動 PC 調整機能が働き、システムボックスに「Auto」の表示が出ます。画像が正しく投射されないときは、お使いのコンピュータに合わせてマニュアルで調整し、「カスタムモード」に登録してください。

☎ 46～48 ページ

コンピュータの入力信号がありません。接続を確認してください。☎ 16、26 ページ

モード 1

マニュアルで登録された「カスタムモード」が選択されたときに表示されます。

システムモードをマニュアルで選択するとき

「カスタムモード※」を選択するときなどは、マニュアルでシステムモードを選択してください。

- 1 [MENU] ボタンを押してメニューバーを出し、[ポイント] ボタンの左右でポインタをシステムボックスに合わせます。
- 2 [ポイント] ボタンの上下でポインタを、いずれかのモードに合わせて [SELECT] ボタンで選んでください。

※ カスタムモード：お使いのコンピュータに合わせて、お客さまがマニュアルで登録したシステムモードです。☎ 46～48 ページ

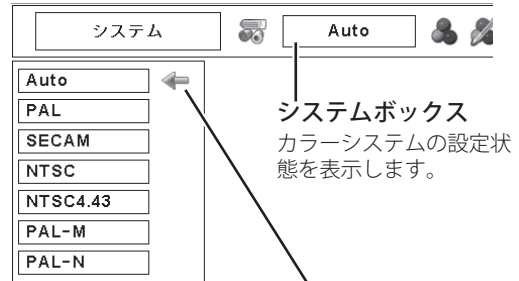
ビデオシステムの選択

ビデオシステムを選択します

- 1 [MENU] ボタンを押してメニューバーを出し、[ポイント] ボタンの左右で、ポインタを「システム」メニューに合わせます。
- 2 ポインタを入力信号に合ったカラーシステム、または走査方式に合わせて [SELECT] ボタンで選んでください。

システムメニュー

(コンポジット映像または S 映像入力時)



システムボックス
カラーシステムの設定状態を表示します。

ポインタを入力信号に合ったカラーシステムに合わせて [SELECT] ボタンを押します。

VIDEO または S-VIDEO 入力選択時

Auto (自動)

入力信号のカラーシステムにプロジェクターが自動で対応します。

※「PAL-M」「PAL-N」は自動選択されません。上記「1」「2」の手順で選択してください。

PAL・SECAM・NTSC4.43・PAL-M・PAL-N

日本のカラーシステムは NTSC です。入力信号の状態が悪く、「Auto」に設定してもシステムが自動で選択されないとき（色ムラがある、色が出ないときなど）は、「NTSC」を選んでください。

コンポーネント入力選択時

Auto (自動)

入力信号の走査方式にプロジェクターが自動で対応します。

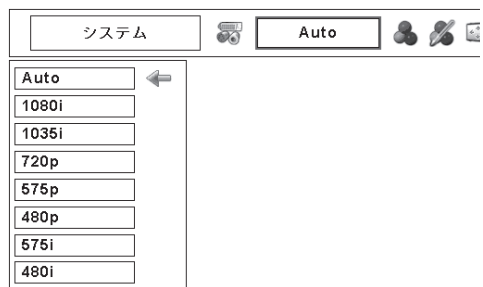
コンポーネント映像の走査方式

正しい映像が再生されないときは、メニューの中から正しい走査方式を選んでください。

※「1080i」「1035i」は自動選択されません。上記「1」「2」の手順で選択してください。

システムメニュー

(コンポーネント映像入力時)



コンピュータシステムの調整

自動 PC 調整

調整頻度の高い「トラッキング」「総ドット数」「ポジション H」「ポジション V」の 4 項目を自動調整することができます。

リモコンのダイレクトボタンで調整する

リモコンの [AUTO PC] ボタンを押します。



[AUTO PC] ボタン

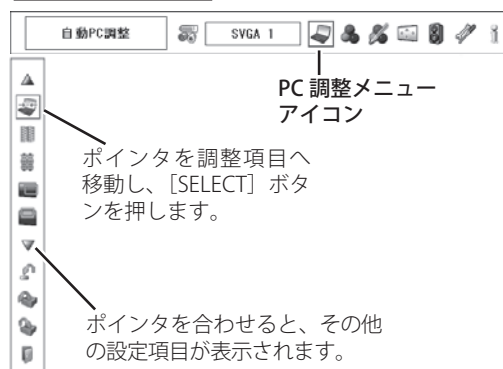
メニューから調整する



自動 PC 調整

- 1 [MENU] ボタンを押してメニューバーを出し、[ポイント] ボタンの左右で、ポインタを「PC 調整」メニューに合わせます。
- 2 [ポイント] ボタンの上下でポインタを「自動 PC 調整」に合わせて [SELECT] ボタンを押すと、PC 調整画面が出ます。[SELECT] ボタンをもう一度押して、自動調整を実行します。

PC 調整メニュー



<ご注意>

- ※ 自動 PC 調整機能で「トラッキング」「総ドット数」「ポジション H」「ポジション V」のすべてを完全に調整できないコンピュータもあります。その場合はマニュアルで調整し、「カスタムモード」に登録してください。(P. 46~48 ページ)
- ※ 自動調整した内容を一度登録しておく、前述のシステムメニューでそのモードを選択できます。登録のしかたについては、次ページの「メモリー」をご覧ください。
- ※ システムメニューで、480p、575p、720p、480i、575i、1035i、1080i が選択されているときは、「自動 PC 調整」は働きません。
- ※ 入力信号がデジタルの時は「PC 調整」メニューは選択できません。
- ※ ご使用のコンピュータや信号の種類によっては、正しく映らないときがあります。

マニュアル PC 調整 (カスタムモードを登録する)

本機は、接続されたコンピュータの信号を判別し、適合するモードを自動選択しますが、コンピュータによっては自動選択できないものもあります。メニューバーの「システムボックス」に「Auto」と表示され、画像が正しく投映されないときは、PC 調整メニューでマニュアル調整し、「カスタムモード」に登録してください。「カスタムモード」は 10 個まで登録することができます。登録した「カスタムモード」は、システムメニューで選択できます。

手順

- 1 [MENU] ボタンを押してメニューバーを出し、[ポイント] ボタンの左右でポインタを「PC 調整」メニューに合わせます。
- 2 [ポイント] ボタンの上下でポインタを調整したい項目に合わせて [SELECT] ボタンで選択すると、その項目の調整画面が表示されます。調整は画面を見ながら [ポイント] ボタンの左右で行ないます。
- 3 調整内容を「メモリー」で登録して保存します。また、調整をキャンセルして元の値に戻す場合には「リセット」を行ないます。以下、「リセット」「データ消去」「メモリー」と調整項目について説明します。また、各項目の説明については、48 ページをご覧ください。

<ご注意>

- ※ 入力信号がデジタルのときは「PC 調整」メニューは選択できません。



リセット

調整した内容をキャンセルして調整前の値に戻します。

- ① ポインタを「リセット」に合わせて [SELECT] ボタンを押すと、「はい、いいえ」の登録確認メニューが表示されます。
- ② 「はい」を選択して [SELECT] ボタンを押すと、調整した内容をキャンセル（リセット）し、調整前の値を表示します。「いいえ」を選択して [SELECT] ボタンを押すとリセットを中止することができます。



データ消去

カスタムモードに登録した調整内容を消去します。

- ① ポインタを「データ消去」に合わせて [SELECT] ボタンを押すと、「PC 調整データ消去」メニューが現われます。
- ② 消去したいモード（「モード1」から「モード10」のいずれか）にポインタを合わせて [SELECT] ボタンを押します。「はい、いいえ」の登録確認メニューが表示されます。
- ③ 「はい」を選択して [SELECT] ボタンを押すと、「カスタムモード」の登録が解除され、「PC 調整データ消去」メニューへ戻ります。（ポインタは を指しています。）さらに、[SELECT] ボタンを押すと「データ消去」アイコンに戻ります。

- ※ 「データあり」には、既にカスタムモードが登録されています。
- ※ 次ページに移動するには、一番上の行にポインタがあるときは [ポイント] ボタン上を、一番下の行にポインタがあるときは [ポイント] ボタン下を押します。
- ※ 消去するモードを選び直すときは、「いいえ」を選択して [SELECT] ボタンを押し、「PC 調整データ消去」メニューに戻ります。



メモリー

調整した内容を登録します。調整内容を保存する場合は、必ず「メモリー」で登録してください。

- ① ポインタを「メモリー」に合わせて [SELECT] ボタンを押すと、「PC 調整データ登録」メニューが現われます。
- ② 登録したいモード（「モード1から10」のいずれか）にポインタを合わせて [SELECT] ボタンを押します。「はい、いいえ」の登録確認メニューが表示されます。
- ③ 「はい」を選択して [SELECT] ボタンを押すと、「カスタムモード」に登録され、「PC 調整データ登録」メニューに戻ります。（ポインタは を指しています。）さらに、[SELECT] ボタンを押すと「メモリー」アイコンに戻ります。

- ※ モードの選択をやり直したいときは、「いいえ」を選択して [SELECT] ボタンを押すと「PC 調整データ登録」メニューに戻ります。

PC 調整データ消去メニュー

どのモードを消去しますか？

▲		①	②	③	④	⑤	
モード1	データあり	0	0	0	0	0	← ⑥
モード2	データなし	0	0	0	0	0	
モード3	データなし	0	0	0	0	0	
モード4	データなし	0	0	0	0	0	
モード5	データなし	0	0	0	0	0	⑦
▼							

OK?

はい ←

いいえ

①	総ドット数
②	ポジションH
③	ポジションV
④	画面領域H
⑤	画面領域V
⑥	ポインタ
⑦	このメニューを閉じます。 [ポイント] ボタン右で選択し [SELECT] ボタンを押します。

PC 調整データ登録メニュー

どこに記憶させますか？

▲							
モード1	データあり	0	0	0	0	0	←
モード2	データなし	0	0	0	0	0	
モード3	データなし	0	0	0	0	0	
モード4	データなし	0	0	0	0	0	
モード5	データなし	0	0	0	0	0	⑦
▼							

OK?

はい ←

いいえ



戻る

メニューを終了します。

項目

項目の値は、[ポイント] ボタンの左右 (◀▶) で調整します。



トラッキング

トラッキング (同期) がずれて画面のちらつきがあるときに調整します。(0 から 31 まで)

※ コンピュータによっては、画面のちらつきが完全に消えない場合があります。



総ドット数

1 水平期間の総ドット数を調整します。



ポジション H

画面の水平方向の位置を調整します。



ポジション V

画面の垂直方向の位置を調整します。



コンピュータ情報

現在接続しているコンピュータの水平周波数と垂直周波数の値を表示します。



クランプ

クランプ位置を調整します。

投射している映像に暗い線が出ているときに調整します。



画面領域 H

水平解像度を調整します。

[ポイント] ボタンの左右でコンピュータの水平解像度に合わせて調整してください。



画面領域 V

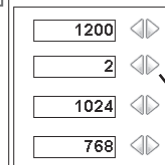
垂直解像度を調整します。

[ポイント] ボタンの左右でコンピュータの垂直解像度に合わせて調整してください。

<ご注意>

システムメニューで 480p、575p、720p、480i、575i、1035i、1080i のシステムモードが選択されているときは、「トラッキング」、「総ドット数」、「クランプ」、「画面領域 H/V」の調整はできません。

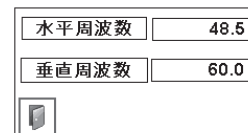
「PC 調整」メニュー



[ポイント] ボタンの左右で値を調整します。

ポイントを合わせて [SELECT] ボタンを押すと、前の表示画面に戻ります。

コンピュータ情報



イメージの調整

イメージ選択メニューでイメージモードを選択する

- 1 [MENU] ボタンを押してメニューバーを出し、[ポイント] ボタンの左右で、ポインタを「イメージ選択」メニューに合わせます。
- 2 [ポイント] ボタンの上下で、ポインタをお好みの「イメージモード」に合わせて [SELECT] ボタンで決定します。

項目



標準

「コントラスト、明るさ、色温度、ホワイトバランス（赤/緑/青）、画質、ガンマ補正」が、工場出荷時設定の標準値になります。



リアル

中間調が明るめに補正され、明るい場所での見栄えが改善されます。

※ コンピュータ入力時のみ選択できます。



シネマ

映画を見るのに適した、階調表現を重視した画質です。

※ビデオ入力またはコンポーネント入力時のみ選択できます。



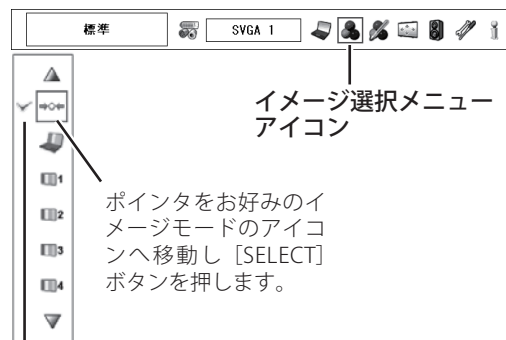
イメージ1～10

イメージ調整メニューでマニュアル調整した画質を呼び出します。

※ イメージは、コンピュータ、ビデオ、コンポーネントの各入力で別々に登録されます。

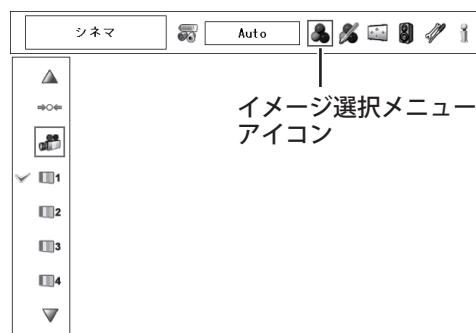
イメージ選択メニュー

(コンピュータ入力時)



選択中のイメージモード

(ビデオ入力時)



入力の選択・調整

マニュアルでイメージ調整を行なう

手順

- 1 [MENU] ボタンを押してメニューバーを出し、[ポイント] ボタンの左右でポインタを「イメージ調整」に合わせます。
- 2 [ポイント] ボタンの上下でポインタを調整したい項目に合わせ、[SELECT] ボタンで選択します。選んだ項目の調整画面が表示されます。調整は画面を見ながら [ポイント] ボタンの左右で行ないます。
- 3 調整内容を、「メモリー」で登録して保存します。また、調整をキャンセルして元の値に戻す場合には「リセット」を行ないます。

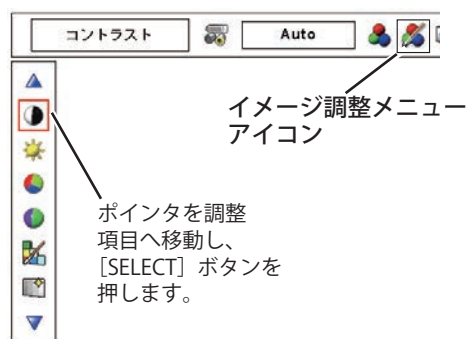


リセット

調整した内容をキャンセルして調整前の値に戻します。

- ① ポインタを「リセット」に合わせて [SELECT] ボタンを押すと、「はい、いいえ」の登録確認メニューが表示されます。
- ② 「はい」を選択して [SELECT] ボタンを押すと、調整した内容をキャンセルし、調整前の値を表示します。「いいえ」を選択して [SELECT] ボタンを押すと、リセットを中止します。
- ③ ポインタが「イメージ調整」メニューの [RESETTING] に移動します。

イメージ調整メニュー





メモリー

調整した内容を登録します。調整内容を保存する場合は、必ず「メモリー」で登録してください。

- ① ポインタを「メモリー」に合わせて [SELECT] ボタンを押すと、「イメージ調整登録」メニューが表示されます。
- ② 登録したいイメージモードにポインタを合わせ、[SELECT] ボタンを押します。「OK?」の登録確認メニューが表示されます。
- ③ 「はい」を選択し、[SELECT] ボタンを押すと登録され、「イメージ調整登録」メニューへ戻ります（ポインタは を指します）。さらに、[SELECT] ボタンを押すと「メモリー」アイコンに戻ります。

※ モードの選択をやり直したいときは、「いいえ」を選択して [SELECT] ボタンを押すと「イメージ調整登録メニュー」に戻ります。



戻る

メニューを終了します。

項目

項目の値は、[ポイント] ボタンの左右 (◀▶) で調整します。



コントラスト

◀ 薄くなる ▶ 濃くなる (0～63)



明るさ

◀ 暗くなる ▶ 明るくなる (0～63)



色の濃さ

◀ 薄くなる ▶ 濃くなる (0～63)

< ご注意 >

※ ビデオ入力またはコンポーネント入力時のみ調整できます。コンピュータ入力時には選択できません。



色合い

◀ 紫がかかる ▶ 緑がかかる (0～63)

肌色が自然に見えるように調整します。

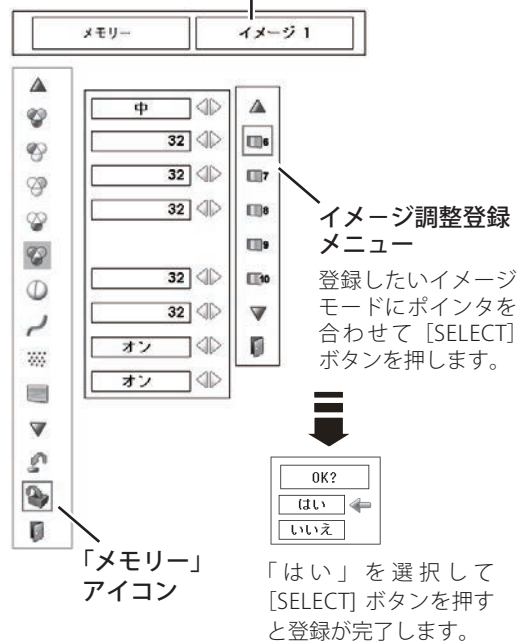
< ご注意 >

※ ビデオ入力またはコンポーネント入力時のみ調整できます。コンピュータ入力時には選択できません。

※ カラーシステムが PAL、SECAM、PAL-M、PAL-N のときは、「色合い」は選択できません。

イメージの登録（メモリー）方法

選択中のイメージモード





カラーマネージメント

投射している画像の色を、お好みの色に調整します。なお、入力信号が無い場合は選択できません。

- ① [SELECT] ボタンを押すと画像が静止して、無色のカーソルが画面中央に表示されます。
- ② [ポイント] ボタン上下左右でカーソルを調整したい色の上へ移動させて [SELECT] ボタンを押すと、カーソルに色が付き、「COLOR SELECTION」メニューが表示されます。
- ③ [ポイント] ボタンの上下左右でカーソルを「COLOR」の中を移動させ、調整後に表示させたい色を選択して [SELECT] ボタンを押します。自動的に「GAMMA」調整に移動します。
- ④ [ポイント] ボタンの上下で、調整後に表示させたい色を選択して [SELECT] ボタンを押します。自動的に「LIST」ボタンに移動します。

LIST 「COLOR MANAGEMENT LIST」が表示されます。

COLOR M. 調整を中止し、無色のカーソルの表示まで戻ります。

MENU カラーマネージメントモードから抜けます。

- ⑤ 「LIST」 ボタンを押すと「COLOR MANAGEMENT LIST」が表示され、調整した色を保存することができます。

ALL DEL 保存されているすべてのリストが削除されます。

MENU 「COLOR MANAGEMENT」から抜け、「イメージ調整」メニューまで戻ります。

COLOR M. 調整を保存し、新たに無色のカーソルが表示され、調整を続けることができます。



自動画質補正

映像の暗い部分のコントラストが強くなるように補正します。

[ポイント] ボタン右で、**オフ** → **L1** → **L2** と切り換わります。また、この順で効果が大きくなります。

※ 工場出荷時は **L1** に設定されています。



アドバンストカラー

映像に応じて、黄色成分のカラーコントロールデバイスを自動で制御します。

自動 黄色成分のカラーコントロールデバイスを自動制御します。

オフ この機能は働きません。

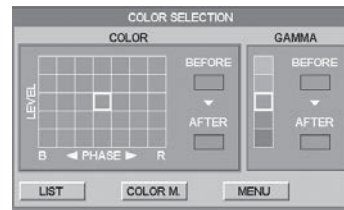
カーソル

調整したい色を選択します。



COLOR SELECTION

調整後に表示させたい色を選択します。



COLOR MANAGEMENT LIST

色の調整を PC とビデオで合計 8 件保存できます。

チェックの入っている色調整が、投映画像に反映されます。[ポイント] ボタン左で選択し、[SELECT] ボタンを押すとチェックが外れます。



[ポイント] ボタン右で選択し、[SELECT] ボタンを押すと削除できます。



色温度

◀ 超低 (赤みがかかる) ▶ 高 (青みがかかる) (超低 - 低 - 中 - 高)

※ この項目を調整すると「ホワイトバランス」の調整値も変化します。
※ 「ホワイトバランス」(赤 / 緑 / 青のどれか一つでも) を調整すると、「調整中」と表示されます。



ホワイトバランス (赤 / 緑 / 青)

◀ 薄くなる ▶ 濃くなる (各色 0 ~ 63)



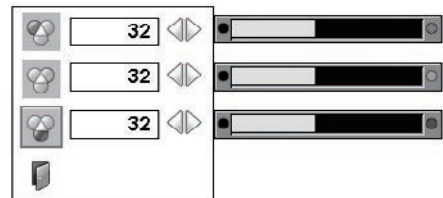
オフセット (赤 / 緑 / 青)



映像の中の暗い部分の「赤 / 緑 / 青」を調整することができます。
(各色 0 ~ 63)

[SELECT] ボタンを押すと、調整バーが表示されます。[ポイント] ボタン上下で「赤 / 緑 / 青」を選択し、[ポイント] ボタン左右で調整します。

オフセット



画質

◀ やわらかい ▶ くっきり (0 ~ 31)



ガンマ補正

白レベルから黒レベルまでのコントラストバランスを調整します。
(0 ~ 15)



ノイズリダクション

古いビデオやノイズが多い映像を見るとき、ザラつき (ノイズ) が軽減されます。

オフ・・・ノイズが無い映像を見るときには「オフ」に設定します。

オン・・・古いビデオやノイズが多い映像を見るときに「オン」に設定すると、ザラつき (ノイズ) が軽減されます。

< ご注意 >

※ コンピュータ入力では選択できません。



プログレッシブ

オフ・・・動きの多い映像でちらつきや横線が目立つときは、「オフ」に設定します。

オン・・・プログレッシブスキャンを「ON」にします。

フィルム・・・「2-3 プルダウン / 2-2 プルダウン」された映画を投映するときに、映画の質感を損なわずに再生できます。

< ご注意 >

※ ビデオ入力と以下のコンポーネント入力のときに設定できます。
・コンポーネント入力：480i、575i、1035i、1080i 入力時

画面サイズを調整する

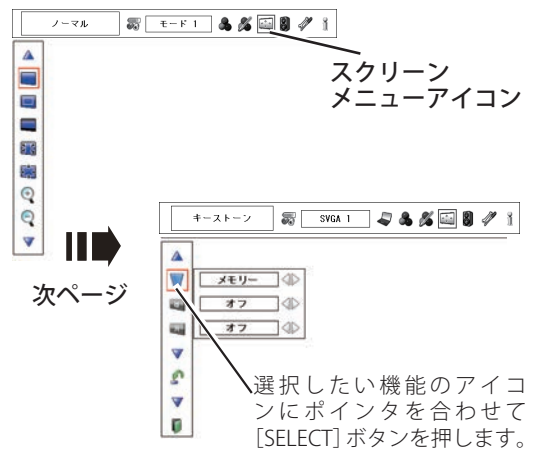
「スクリーン」メニューでは、お好みにより画像サイズを変えることができます。

- 1 [MENU] ボタンを押してメニューバーを出し、[ポイント] ボタンの左右でポインタを「スクリーン」メニューに合わせます。
- 2 [ポイント] ボタンの上下でポインタを選択したい項目に合わせて [SELECT] ボタンを押します。

<ご注意>

※ 信号の種類によっては選択できないモード（項目）があります。詳しくは各項目の説明を参照してください。

スクリーンメニュー（コンピュータ入力時）



画面サイズの選択（コンピュータ入力時）



ノーマル

画像を有効投映画面（注）の高さに合わせて、通常の映像のアスペクト比 4：3 で投映します。



リアル

画像をオリジナルサイズで投映します。

- ① 画像が有効投映画面（注）よりも小さいときは、画面の中央に投映し、画面左上に「リアル」と表示されます。
- ② 画像サイズが有効投映画面（注）と同じときは、画面の左上に「リアル」と表示されますが、その後、「ノーマル」と同じ画面サイズで投映されます。
- ③ 画像が有効投映画面（注）よりも大きいときは、画面の左上に「リアル」と表示され、画面の上下左右に△が表示されます。[ポイント] ボタンの上下左右で画像を移動させます。

<ご注意>

※ 「リアル」 選択時には、「デジタルズーム + / -」 は選択できません。



ワイド

画像を有効投映画面（注）の幅に合わせて、アスペクト比 16：9 のワイド画面で投映します。



フルスクリーン

アスペクト比 4：3 のフルスクリーンサイズで投映します。

<ご注意>

※ 「フルスクリーン」 選択時には、「デジタルズーム + / -」 は選択できません。



デジタルズーム +

「デジタルズーム+」を選択すると、メニューバーが画面から消え、「D.Zoom +」が表示されます。[SELECT] ボタンを押すごとに画像が拡大します。[ポイント] ボタンの上下左右で画像を移動させます。また、リモコンの [D.ZOOM] ボタンを押しても、「デジタルズーム+」を操作できます。 (P.38 ページ)

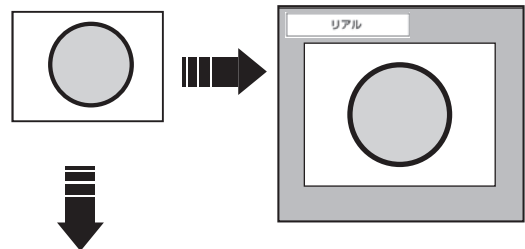
ノーマル

※ 約 4 秒間表示されます。

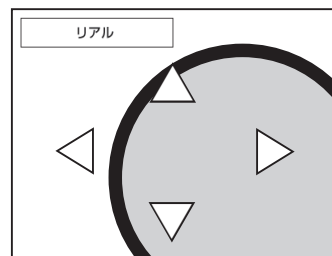
(注) 本機の有効投映画面は 1024 × 768 ドットです。

「リアル」の投映パターン

① 有効投映画面よりも小さいとき



③ 有効投映画面よりも大きいとき



※ 移動した方向の矢印は、赤色で表示されます。
 ※ 最大の移動位置で矢印の表示が消えます。



デジタルズームー

「デジタルズームー」を選択すると、メニューバーが画面から消えて「D.Zoomー」が表示されます。[SELECT] ボタンを押すごとに画像が縮小します。また、リモコンの [D.ZOOM] ボタンを2回押しても、「デジタルズームー」を操作できます。☞ 38 ページ

< 「デジタルズーム + / -」に関するご注意 >

- ※ 「デジタルズーム」モードから抜けるときは、[D.ZOOM、SELECT、ポイント] 以外のボタンを押します。
- ※ 「ノーマル」モードへ戻るときは、ポインタを「ノーマル」アイコンに合わせて [SELECT] ボタンを押します。
- ※ 「カスタム」モードに設定しているときには、「デジタルズームー」による「ノーマル」サイズ以下への画像の縮小は機能しません。
- ※ 本機は WUXGA (1920 × 1200 ドット) を超える解像度には対応しておりません。プロジェクターに接続する前に低い解像度に設定しておいてください。
- ※ 有効投映画面 (注) 以外の画像データは、初期画面で有効投映画面に合うように自動的に画像サイズが変更されます。
- ※ PC 調整メニューでマニュアル調整した「カスタムモード」をコンピュータのシステムモードに使用している場合には、「デジタルズーム+」モードでの画像移動機能が正しく働かないことがあります。
- ※ システムモード (☞ 44 ページ) で、「VGA、SVGA、SXGA、WXGA、UXGA」が選択されていて、上部への「キーストーン調整」が最大値の場合、「デジタルズームー」が正しく働かないことがあります。
- ※ 「スケール H/V」「ポジション H/V」「デジタルズーム + / -」は、入力信号によっては補正量が異なることがあります。

(注) 本機の有効投映画面は 1024 × 768 ドットです。

画面サイズの選択 (ビデオ入力時)



ノーマル

通常の映像のアスペクト比 4 : 3 で投映します。



ワイド

DVD プレーヤなどのワイドモードで出力された映像信号を、アスペクト比 16 : 9 のワイド画面で投映します。

< ご注意 >

- ※ 「インプット」メニューで「コンポーネント」を選択し、「システム」メニューで 1080i、1035i、720p の信号 (アスペクト比 16 : 9) を選択している場合には、「ワイド」は選択できません。

スクリーンメニュー (ビデオ入力時)



信号の種類別の選択できるモードの一覧

	480i/575i/480p/575p	1035i/1080i/720p	左記以外	無信号
ノーマル	○	○	○	○
ワイド	○	×	○	○
カスタム	○	○	○	○

- ※ 無信号時でも「システム」メニューで「1035i/1080i」を選択しているときは「ワイド」は選択できません。

画面サイズの選択（コンピュータ・ビデオ共通）



カスタム

水平と垂直のスケールおよび位置を調整します。「カスタム」を選択し、[SELECT] ボタンを押すと、「カスタム」の表示が現れてメニューバーが消えますので、もう一度 [MENU] ボタンを押してメニューバーを表示させ、「スクリーン」メニューから「カスタム」を選択して [SELECT] ボタンを押すと、「アスペクト調整」画面が表示されます。

※「オンスクリーン表示」(P.58 ページ)を「オフ」に設定しているときは、「カスタム」を選択して [SELECT] ボタンを押すとすぐに「アスペクト調整」画面が表示されます。

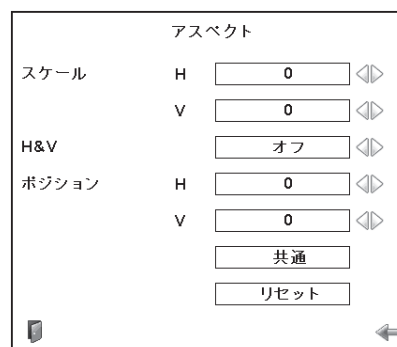
アスペクト調整画面の項目

- **スケール H/V**
垂直および水平のスケールを調整します。[ポイント] ボタンの左右で調整します。
- **H&V**
垂直および水平のスケールを調整するときに、垂直と水平のスケールを連動させ、映像のアスペクトを保持したままスケールを調整するときに「オン」を選択します。
※「スケール H」を調整すると、「スケール H」の数値の変化に合わせて「スケール V」の数値も変化します。
- **ポジション H/V**
垂直および水平の位置を調整します。[ポイント] ボタンの左右で調整します。
- **共通**
調整した内容を、全ての入力（インプット 1～3）に反映*、メモリーします。[SELECT] ボタンを押すと「はい、いいえ」の登録確認メニューが表示されます。「はい」を選択して [SELECT] ボタンを押すと登録されます。
* 例えば、コンピュータ入力で「スケール H」を「0」から「2」に変えて登録すると、ビデオ入力で「カスタム」を表示させたときに「スケール H」に「2」が登録されている、ということです。
- **リセット**
調整した内容全てをリセットします。
[SELECT] ボタンを押すと「はい、いいえ」の登録確認メニューが表示されます。「はい」を選択して [SELECT] ボタンを押すとリセットされます。

< ご注意 >

- ※ 「スケール H/V」と「ポジション H/V」は、入力信号によっては補正量が変わることがあります。
- ※ 無信号時は調整できません。無信号時は「アスペクト調整」の調整値は反映されません。
- ※ 無信号時は、「カスタム」の選択はできますが、「アスペクト調整」の画面は表示されず、調整することはできません。
- ※ 調整中に無信号になると、調整値は保持されますが、「アスペクト調整」画面は消えます。

カスタムのアスペクト調整画面



[ポイント] ボタンの上下で項目を選択して、
[ポイント] ボタンの左右で値を調整します。



キーストーン

画面の台形ひずみを補正する機能です。☞ 35 ページ
53 ページの手順「1」「2」に続いて、

- 3 [ポイント] ボタンの左右で、「リセット」または「メモリー」を選択して [SELECT] ボタンを押します。画面からメニューバーが消えて「キーストーン」表示が現われ、キーストーン調整モードに入ります。

メモリー ……電源コードを抜いても調整した状態を記憶します。

リセット ……電源コードを抜くと調整した状態がリセットされます。

- 4 表示が出ている間に [ポイント] ボタンの上下で画面の台形ひずみを補正します。

[ポイント] ボタン上 ……画面上部の幅が縮みます。

[ポイント] ボタン下 ……画面下部の幅が縮みます。

[ポイント] ボタン左 ……画面左部の高さが縮みます。

[ポイント] ボタン右 ……画面右部の高さが縮みます。

<ご注意>

- ※「キーストーン」表示が現れているあいだにリモコンの [KEYSTONE] ボタンを押すと、補正前の状態に戻ります。
- ※キーストーン調整後、「天吊り」を「オン」にすると、補正前の状態に戻ります。
- ※キーストーン調整で補正した画面は、信号をデジタル圧縮して映しますので、線や文字がオリジナルの画像と多少異なる場合があります。
- ※キーストーンの補正量および補正範囲は入力信号によって異なります。



天吊り

この機能を「オン」にすると、画像の上下左右を反転して映します。天井から逆さに吊り下げて設置するときに設定します。

- ※吊り下げ型の設置には、専用の天吊り金具を使います。詳しくは、お買い上げの販売店にお問い合わせください。



リア投映

この機能を「オン」にすると、画像の左右を反転して映します。透過型スクリーンの後ろから投映するときに設定します。



リセット

「スクリーン」メニュー内で設定したすべての内容が工場出荷時に戻ります。

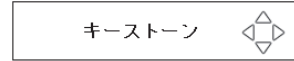
53 ページの手順「1」に続いて、

- 2 ポインタを「リセット」に合わせて [SELECT] ボタンを押すと、「はい、いいえ」の登録確認メニューが表示されます。

- 3 「はい」を選択して [SELECT] ボタンを押すと、調整した内容を破棄して調整前の値を表示します。「いいえ」を選択して [SELECT] ボタンを押すと、リセットを中止することができます。(ポインタは に移動します。)

- ※リモコンの [SCREEN] ボタンを約5秒以上押しても、リセットされません。☞ 35 ページ

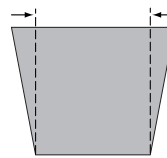
「キーストーン」表示



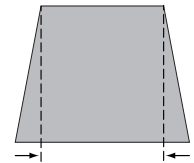
- ※約10秒間表示されます。
- ※「オンスクリーン表示」を「オフ」に設定しているときは、画面に表示されません。
- ※補正された方向の矢印は赤色で表示されます。(無補正の場合は白色で表示)
- ※最大の補正位置で矢印の表示が消えます。

ポイントボタンで縮む方向

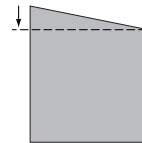
[ポイント] ボタン上



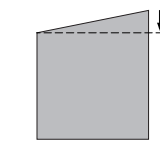
[ポイント] ボタン下



[ポイント] ボタン左

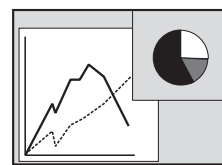


[ポイント] ボタン右

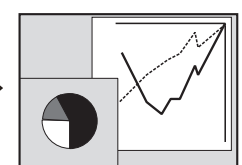


天吊り機能

オフ (通常の画像)

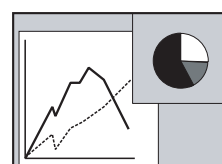


オン (天吊り設定時)

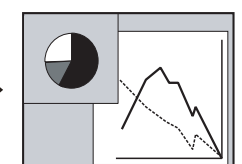


リア投映機能

オフ (通常の画像)






















オン (リア投映設定時)



各種機能の設定

「セッティング」メニューで各種機能を設定する

プロジェクターの各種機能を設定します。

-  言語.....メニューの言語を選択します。
-  メニュー.....オンスクリーンメニューの表示設定を変更します。
-  オンスクリーン表示.....画面表示を出す、出さないを選択します。
-  バックグラウンド.....無信号時の背景を選択します。
-  ロゴ.....ロゴの選択や画面キャプチャー、ロゴの暗証番号を設定します。
-  ランプコントロール.....ランプの明るさを設定します。
-  フィルター制御.....エアフィルターを巻き取ります。
-  ファン制御.....ファンの回転速度を設定します。
-  リモートコントロール.....シンプルモードおよびリモコンコードを設定します。
-  リモコン受光部.....リモコン受光部を設定します。
-  パワーマネージメント.....省エネの設定を行います。
-  オンスタート.....電源コードを接続するだけで電源が入るように設定します。
-  ポインタ.....ポインタ機能を使うときに表示されるポインタの種類を設定します。
-  セキュリティ.....操作ボタンのロックと暗証番号を設定します。
-  シャッター.....シャッターに関する設定を行いません。
-  ランプカウンター.....ランプの使用時間の確認およびリセットを行いません。
-  フィルターカウンター.....フィルターの使用時間や残り回数の確認、リセットを行いません。
-  テストパターン.....プロジェクター本体に内蔵されたテストパターンを投射します。
-  初期設定.....設定を工場出荷状態に戻します。

手順

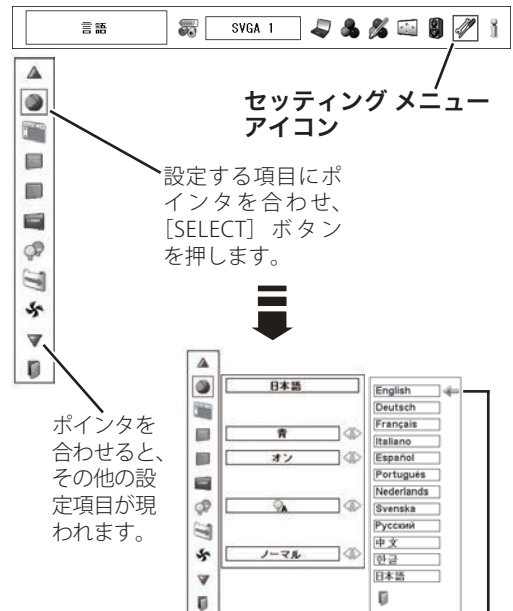
- 1 [MENU] ボタンを押してメニューバーを表示し、[ポイント] ボタン左右で、ポインタを「セッティング」メニューに合わせます。
- 2 [ポイント] ボタン上下で、ポインタを設定する項目に合わせて [SELECT] ボタンで決定します。選択した項目の設定画面が表示されます。



言語

画面表示の言語を切り換える機能です。英語、ドイツ語、フランス語、イタリア語、スペイン語、ポルトガル語、オランダ語、スウェーデン語、ロシア語、中国語、韓国語、日本語の12か国語の中から選べます。

セッティングメニュー



設定する項目にポインタを合わせ、[SELECT] ボタンを押します。

ポインタを合わせると、その他の設定項目が現われます。

[ポイント] ボタンの上下で選択し、[SELECT] ボタンを押します。



メニュー

オンスクリーンメニューの表示についての設定を変えることができます。[SELECT] ボタンを押すと、選択画面が表示されます。[ポイント] ボタンの上下で選択します。



ポジション

メニューが表示される位置を調整する機能です。[ポイント] ボタン右・下でお好みの位置に表示させることができます。



シンプルメニュー

この機能を「オン」にすると、「イメージ調整」メニュー内の下記項目の調整メニューで、調整値を示す表示だけが表示されるようになります。

調整値がすぐ反映されるようになります。投映中の画面を見ながら調整したいときに、メニュー表示で隠れる部分が少なくなり、便利です。

- ・コントラスト
- ・明るさ
- ・色の濃さ
- ・色合い
- ・ホワイトバランス (赤 / 緑 / 青)
- ・オフセット (赤 / 緑 / 青)
- ・画質
- ・ガンマ補正



オンスクリーン表示











画面表示を出す、出さないの設定を行ないます。

オン・・・すべての画面表示が表示されます。
ある程度画面が明るくなってから、画像を映したいときに選択します。

カウントダウンオフ

・・・電源オン後 30 秒のカウントダウン表示を行わず、ランプが暗いままで、入力された画面を投映します。少しでも早く画像を投映したいときに選択します。

オフ・・・以下の表示以外は画面表示を行ないません。

- ・メニューバー  41 ページ
- ・電源を切る際の「もう一度押すと電源が切れます」
- ・自動 PC 調整時の「しばらくお待ちください」
- ・P-TIMER  36 ページ
- ・パワーマネージメントのカウントダウンタイマー  64 ページ
- ・「リアル」で画面サイズが大きいときに表示される「△」  53 ページ
- ・「インフォメーション」の表示  37 ページ
- ・「ポインタ」  36 ページ
- ・「D.Zoom +」の矢印表示  53 ページ
- ・「カスタム」のアスペクト調整画面  53 ページ
- ・シンプルモードに設定したリモコンで、非対応のボタンを押した際に表示される 。  63 ページ

メニュー



<「ポジション」のご注意>

- ※ 約 10 秒間表示されます。
- ※ 最大まで移動すると矢印の色が赤に変わります。
- ※ 「P-TIMER」「パワーマネージメント」のカウントダウン表示の位置を変えることはできません。



バックグラウンド

映像の再生前や中断時といった、信号が無いときの背景画面を選択します。

- 青** …… 背景が青色になります。
- ユーザー** …… キャプチャー機能で取り込んだ画像が表示されます。
- 黒** …… 背景が黒色になります。

<「バックグラウンド」のご注意>

※ キャプチャー機能で取り込んだ画像が無いときは、「ユーザー」は選択できません。



ロゴ

ロゴ選択、画面のキャプチャー、ロゴの暗証番号をそれぞれ設定します。

<「ロゴ」のご注意>

※ 「ロゴ暗証番号ロック」(P.60 ページ) が「オン」のときは、「ロゴ選択」と「キャプチャー」は設定できません。

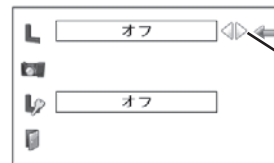


ロゴ選択

電源を入れたときのロゴ表示を選択することができます。

- ユーザー** …… キャプチャー機能で取り込んだ画像を表示します。
- 初期設定** …… 工場出荷時の設定を表示します。
- オフ** …… ロゴを画面に表示しません。

ロゴ選択



[ポイント] ボタンの左右で選択します。

<「ロゴ選択」のご注意>

※ キャプチャー機能で取り込んだ画像が無いときは、「ユーザー」は選択できません。



キャプチャー

投射している画面を静止画像として取り込むことができます。取り込んだ画像は、「ロゴ選択」でスタートアップロゴに、あるいは、「バックグラウンド」で背景画面に設定できます。

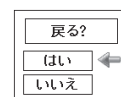
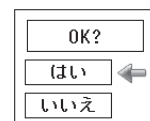
1 [ポイント] ボタンの上下でポインタを「キャプチャー」に合わせて [SELECT] ボタンを押すと、「はい」、「いいえ」の表示が現れます。

- はい** …… 画面の取り込みを始めます。
- いいえ** …… キャプチャー機能を取り消します。

2 「はい」を選択すると取り込みが始まり、取り込みの進行を示すバーが現れます。取り込みが完了するとメニュー表示が消えます。

取り込みを中止したいときは、バーの上にある「戻る？」の「はい」を選択し、[SELECT] ボタンを押します。

キャプチャー



<ご注意>

- ※ 「ユーザー」に保存できるのは1画面だけです。
- ※ 適切な画面を取り込むために、イメージモードは「標準」を選択しておいてください。
- ※ 画像を取り込むときには「キーストーン」調整および「カスタム」の設定が一時的に解除されます。
- ※ この機能が使えるのは以下の信号のときだけです。
 - ◎ コンピュータ …… XGA 以下 (ただし、「画面領域 H」を 1025 以上、「画面領域 V」を 769 以上に設定すると不可)
 - ◎ ビデオ …… コンポジット、Sビデオ、480p、575p、480i、575i、720p、1080i



取り込みを開始すると、保存していた画像は削除されます。

「1」で「はい」を選択して取り込みを開始すると、「2」の「戻る？」で「はい」を選択して取り込みを中止しても、「ユーザー」に保存していた画像は削除されます。




ロゴ暗証番号ロック

「ロゴ」の設定・変更を、暗証番号を持つ管理者以外できなくします。設定により以下のモードが選択できます。

オン・・・暗証番号を入れないと「ロゴ選択」と「キャプチャー」の設定・変更はできません。


オフ・・・暗証番号なしで「ロゴ選択」と「キャプチャー」の設定・変更ができます。

手順


- 1 [ポイント] ボタンの上下でポインタを [ロゴ暗証番号ロック] に合わせて [SELECT] ボタンを押します。暗証番号を入力する画面が表示されます。
※「オン」「オフ」どちらを選択していても、暗証番号の入力画面は表示されます。
- 2 暗証番号を入力します。入力完了したらポインタを [セット] に合わせて [SELECT] ボタン押し、暗証番号を承認します。
※ 暗証番号の入力方法については、下記の「暗証番号の入力方法」をご参照ください。
- 3 暗証番号が承認されると、「ロゴ暗証番号」の「オン・オフ」の設定と、暗証番号を変更する画面が表示されます。「オン・オフ」は、[ポイント] ボタンの左右で切り換えて選択します。
- 4 終了するときは、[ポイント] ボタン下でポインタを  に移動し、[SELECT] ボタンを押します。

暗証番号の入力方法

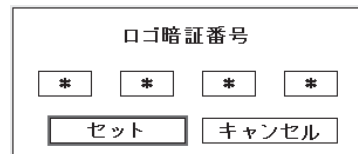
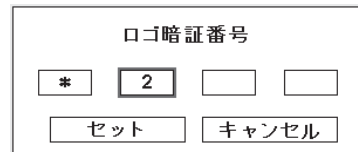
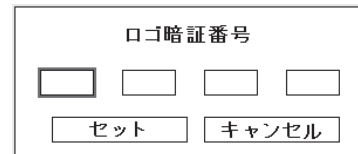
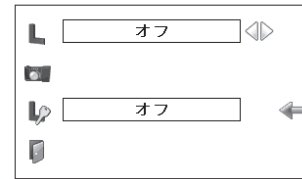
リモコンで入力する

- 1 リモコンの数字ボタンで 0～9 の数字を選択し、4けた全ての数字を入力します。(入力した数字は「*」で表示されます) 4けた全てが決定すると、ポインタが自動的に「セット」に移動します。
 下記「手順 3」へ

本体で入力する

- 1 [ポイント] ボタンの上下で 0～9 の数字を選択し、[ポイント] ボタン右でポインタを 2けた目に移動します。(1けた目の表示が「*」に変わります。) この操作を繰り返し、4けた全ての数字を入力します。
 - 2 4けた全ての数字を入力したらポインタを [ポイント] ボタン右で「セット」に移動します。
 - 3 [SELECT] ボタンを押して決定します。
 - 4 正しく入力されていると、「ロゴ暗証番号ロック」の選択メニューが表示されます。 上記「手順 3」
- ※ 工場出荷時の「ロゴ暗証番号」は「4 3 2 1」です。初めて暗証番号を設定するときには、「4 3 2 1」と入力してください。
- ※ 数字の入力をやり直したいときは、[ポイント] ボタンの左右でけたを選び、数字ボタンまたは [ポイント] ボタンの上下で数字を入力し直します。
- ※ 「キャンセル」にポインタを合わせて [SELECT] ボタンを押すと、「ロゴ暗証番号ロック」の設定画面 (右図の一番下) に移動します。

ロゴ暗証番号ロック



[ポイント] ボタンの左右で「オン」「オフ」を切り換えます。

ロゴ暗証番号の変更方法

1 [ポイント] ボタンの上下で「ロゴ暗証番号変更」を選択し、[SELECT] ボタンを押します。

リモコンで入力する

2 リモコンの数字ボタンで0～9の数字を選択し、4けた全ての数字を入力します。4けた全てが決定すると、ポインタが自動的に「セット」に移動します。

☞下記「手順4」へ

本体で入力する

2 [ポイント] ボタンの上下で0～9の数字を選択し、[ポイント] ボタン右でポインタを2けた目に移動します。この操作を繰り返し、4けた全ての数字を入力します。

3 4けた全ての数字を入力したらポインタを[ポイント] ボタン右で「セット」に移動します。

※ 入力した数字は「*」に変わりません。変更後の数字をはっきり確認していただくために、数字が見えるようになっています。

4 [SELECT] ボタンを押して決定します。

5 さらに「OK?」の表示が現れますので、[ポイント] ボタンの上下で「はい」にポインタを合わせ、[SELECT] ボタンを押します。新しい暗証番号が登録されます。

6 「ロゴ暗証番号ロック」メニューの画面に戻ります。

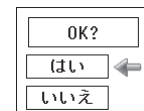
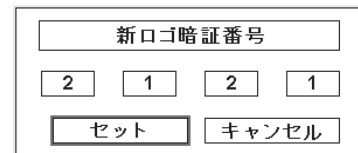
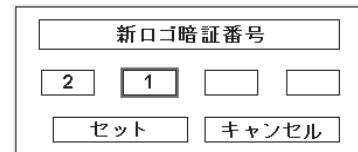
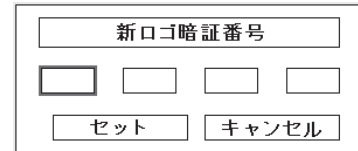
※ 入力を中断して、この機能の操作をやめるときは、[ポイント] ボタンの左右で「キャンセル」を選択して [SELECT] ボタンを押します。「ロゴ暗証番号変更」メニューの画面に戻ります。

※ 数字の入力をやり直したいときは、[ポイント] ボタンの左右でけたを選び、数字ボタンまたは [ポイント] ボタンの上下で数字を入力し直します。

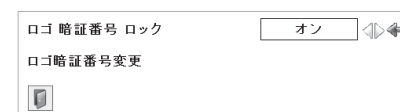
※ 以下の場合にはエラーが発生しています。入力をやり直してください。

・「新ロゴ暗証番号」の文字と入力した数字が、赤色で表示される。

ロゴ暗証番号の変更



設定画面へ



ランプコントロール

ランプの明るさを、「オートモード」、「ノーマルモード」、「エコ1モード」、「エコ2モード」の4段階で切り換え・選択することができます。ご使用環境に合ったモードを選択してご使用ください。



オートモード・・・調光回路が働いて、明るさを自動的に調整します。



ノーマルモード・・・通常の明るさです。



エコ1モード・・・通常より20%ダウンの明るさに抑えます。



エコ2モード・・・「エコ1モード」よりもファンの吸排気量が大きくなります。

※ [ポイント] ボタン右で → → → の順に表示が切り換わります。

※ 消費電力を抑えたいときには「エコ1」モードをおすすめします。

※ 長時間にわたって連続使用されるときには「エコ2」モードをおすすめします。

※ 「エコ2」モードは「エコ1」モードよりファンの音が大きくなります。





フィルター制御

エアフィルターを巻き取る機能です。「はい」を選択するとエアフィルターを1回分巻き取ります。

[ポイント] ボタンの上下で、ポインタを「フィルター制御」に合わせて [SELECT] ボタンを押すと、「はい」、「いいえ」の表示が現れます。

はい・・・エアフィルターを1回分巻き取ります。


いいえ・・・「メニュー」に戻ります。

- ※ 「はい」を選択すると、汚れていなくてもフィルターを巻き取ります。
- ※ エアフィルターの目詰まりを検知すると、自動的に1回巻き取ります。
- ※ エアフィルターの巻き戻しはできません。
- ※ 巻き取りを行なうと、フィルター使用時間 (C/F 69 ページ) が自動的に「0」に戻ります。
- ※ エアフィルターの巻き取り回数の残りが「0」のときは画面に  が表示され、巻き取りは行なわれません。
- ※ エアフィルターが巻き取られている最中に、エアフィルター巻き取りの操作を行なうと、画面に  が表示されます。
- ※ エアフィルターカートリッジの端の部分に巻き取った残りが見えることがあります。正しく巻き取られていますので、ご使用には問題ありません。
- ※ 巻き取り中に、電源が切れるなどで途中で動作が止まったときは、再び電源が入ったときに残りの部分の巻き取りを行ないます。



リモコンからでも巻き取ることができます。

リモコンの [FILTER] ボタンを約5秒以上押すと、画面中央に右図が表示され、エアフィルターを1回分巻き取ります。

 38 ページ

フィルター巻き取り中の表示



しばらくお待ち下さい



ファン制御

冷却ファンの回転速度を切り換えることができます。

ノーマル・・・工場出荷時の設定です。通常はこちらでご使用ください。

マックス・・・周辺温度が高いときなど、通常より冷却力を高めたいときに選択します。ファンの音は「ノーマル」より大きくなります。



リモートコントロール

リモコンの「シンプルモード」と「リモコンコード」の設定を行います。

シンプルモード

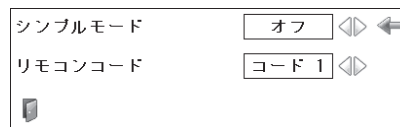
この機能を「オン」にすると、「シンプルモード」対象のリモコンボタンだけが有効になります。「シンプルモード」にポインタを合わせて、[ポイント] ボタンの左右でオン・オフを切り換えます。

- ・シンプルモード有効ボタン
ON、STAND-BY、INPUT、AUTO PC、INFO.、MENU、SCREEN、SHUTTER、SELECT、ポイント (◀▶▲▼)、VOL-、VOL+、MUTE、RESET/ON/ALL OFF

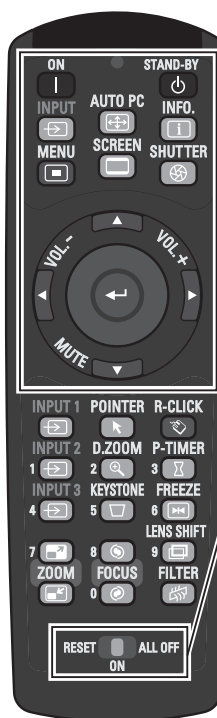
※「シンプルモード」をオンにした後に「シンプルモード」非対応ボタンを押すと、操作不可能を表すアイコン と「シンプルモード：オン」のメッセージが画面左下に表示されます。

※ 暗証番号など、番号を入力する場合には、「シンプルモード」が「オン」でもリモコンの数字ボタンで番号を入力できます。

リモートコントロール



「シンプルモード」有効ボタン



「シンプルモード」有効ボタン

※ [マウスポインタ] ボタンは「シンプルモード」では機能しません。

リモコンコード

本機は8種類のリモコンコード（「コード1」～「コード8」）の設定が可能です。本機を複数台でご使用の場合には、リモコンコードを別々に設定しておくことで誤動作を防止できます。「リモコンコード」にポインタを合わせて、[ポイント] ボタンの左右でリモコンコードを選択し、 にポインタを合わせて [SELECT] ボタンを押します。リモコンコードが変更され、セッティングメニューに戻ります。

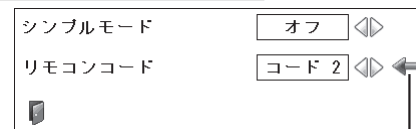
なお、リモコンのリモコンコードは、別途リモコンで設定します。 (P. 20 ページ)

※ リモコンコードの変更後、必ず でセッティングメニューに戻ってください。戻らないとリモコンコードの変更が反映されません。

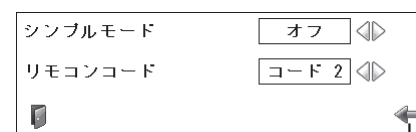
※ 工場出荷時は「コード1」に設定されています。

※ プロジェクター本体のリモコンコードと、リモコンのリモコンコードは、同じコードに合わせる必要があります。

リモコンコードの変更



[ポイント] ボタンの左右で選択します。



[戻る] にポインタを合わせて [SELECT] ボタンを押します。



リモコン受光部

プロジェクター本体のワイヤレスリモコン受信部の、有効・無効を切り換えることができます。

両方・・・本体前後にある両方の受信部を有効にします。

前・・・本体前にある受信部のみ有効にします。

後・・・本体後にある受信部のみ有効にします。

※ 天吊りなどで蛍光灯の近くに設置したときは、蛍光灯から離れている方にあるリモコン受光部を選択することをおすすめします。

☞ 20 ページ



パワーマネジメント

パワーマネジメント機能の動作設定を行いません。また、パワーマネジメント機能が作動するまでの時間を設定できます。パワーマネジメント機能の詳細については、33 ページを参照してください。

オフ・・・パワーマネジメント機能を解除します。

待機・・・タイマーで設定した時間が経過すると、いったんランプが消灯してランプの冷却動作に入ります。この間 [POWER] インジケータは消灯し、操作できないことをお知らせします。ランプの冷却が完了すると [POWER] インジケータは緑色で点滅して、パワーマネジメントモードになっていることをお知らせします。信号が入力されたり操作を行なうと、ランプが点灯してすぐに画像が投映されます。

シャットダウン・・・タイマーで設定した時間が経過すると、ランプが消灯し、電源が切れます。

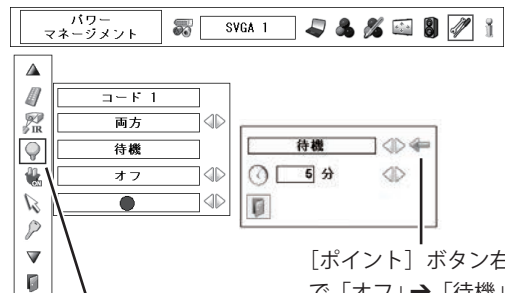


タイマー設定について

[ポイント] ボタンの左右でパワーマネジメント機能が作動するまでの時間を設定します。設定できる時間は1分から30分です。この時間、無操作・無入力か30秒続くと画面右下にカウントダウンが表示されます。

- ※ 工場出荷時は、「待機・5分」に設定されています。
- ※ 「FREEZE」(☞ 36 ページ) あるいは「SHUTTER」(☞ 38 ページ) が働いているときは、パワーマネジメントは動作しません。
- ※ パワーマネジメントが動作すると、「P-TIMER」(☞ 36 ページ) はリセットされます。

パワーマネジメント



「パワーマネジメント」にポインタを合わせて [SELECT] ボタンを押して設定画面に入ります。

[ポイント] ボタン右で「オフ」→「待機」→「シャットダウン」の順に表示が切り替わります。

タイマー表示



※ タイマーの表示中に、操作または信号の入力が行なわれると、タイマーの表示は消えます。



オンスタート

電源コードをコンセントに接続すると、リモコンの [ON] ボタンや操作パネルの [ON/STAND-BY] ボタンを押さなくても、自動的にプロジェクターの電源が入る機能です。

オン・・・電源コードを接続すると同時にプロジェクターの電源が入ります。

オフ・・・通常の電源入・切を行なう設定です。
電源コードを接続しても、リモコンの [ON] ボタンや操作パネルの [ON/STAND-BY] ボタンを押さないと、プロジェクターの電源は入りません。

※ 工場出荷時は、「オフ」に設定されています。



電源オン・オフは正しい操作で行なってください。

ランプの冷却が終わり、再点灯できる状態になるまで、リモコンの [ON] ボタンや、操作パネルの [ON/STAND-BY] ボタンを押しても電源は入りません。



ポインタ

この機能を使うときに表示させるポインタの種類を選択します。

[ポイント] ボタンの左右で種類を選択します。

ポインタの種類・・・指先・矢印・ドット (赤い点)



セキュリティ

操作ボタンのロックと、暗証番号でプロジェクターの操作をロックする設定をします。

1 [ポイント] ボタンの上下でポインタを「セキュリティ」に合わせ、[SELECT] ボタンを押すと、項目を選択する画面が現れます。

2 [ポイント] ボタンの上下で項目を選択し、[SELECT] ボタンを押すと、設定画面が現れます。設定の詳細はそれぞれの項目を参照してください。



キーロック

操作ボタンをロックして、プロジェクターが誤って操作されることを防ぎます。たとえば、リモコンをプロジェクターの鍵として使うこともできます。

・・・キーロックを解除します。

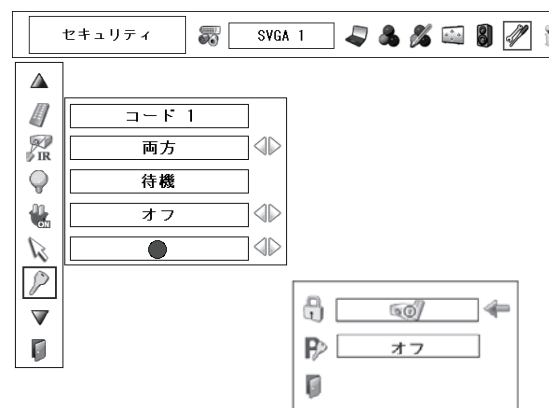
・・・リモコンでの操作をロックします。

・・・本体での操作をロックします。

※ 工場出荷時は「オフ」に設定されています。

※ 解除できなくなったときは、お買い上げの販売店へご相談ください。

セキュリティ



「キーロック」の設定手順は次ページへ

手順

前ページ「セキュリティ」の「1」に続いて、

- 2 ポインタを「キーロック」に合わせて [SELECT] ボタンを押すと、設定画面が表示されます。
- 3 ポインタをいずれかに合わせて [SELECT] ボタンを押すと、「OK？」の確認画面が表示されます。
- 4 [はい] を選択して [SELECT] ボタンを押すと登録が完了し、設定画面に戻ります。

(※) 設定する項目を選び直すときには、「いいえ」に合わせて [SELECT] ボタンを押すと選択画面に戻ります。



暗証番号ロック

暗証番号により、プロジェクターの管理者以外のプロジェクターの操作を防止します。
設定により以下のモードを選択できます。

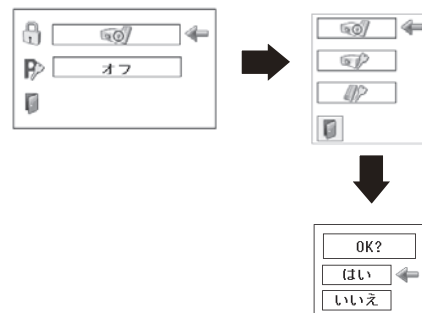
- オフ**・・・「暗証番号ロック」を解除します。
- オン1**・・・電源を入れるときに暗証番号が要求されます。
- オン2**・・・一度入力した暗証番号は、電源コードを抜くまで有効です。一度電源コードを抜くと、次に電源を入れるときに暗証番号が要求されます。リモコンの [ON] ボタンや操作パネルの [ON / STAND-BY] ボタンで電源を入・切するだけで電源コードを抜かない場合には、暗証番号を要求されずに通常の操作を行なうことができます。

手順

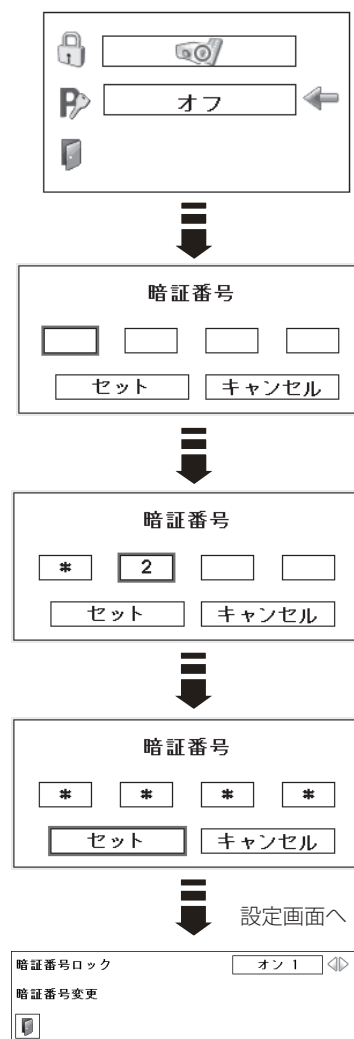
前ページ「セキュリティ」の「1」に続いて、

- 2 ポインタを「暗証番号ロック」に合わせて [SELECT] ボタンを押すと、暗証番号を入力する画面が表示されます。
- 3 暗証番号を入力します。
※ 次ページの「暗証番号の入力方法」を参照してください。
- 4 暗証番号が承認されると、「暗証番号」の「オフ・オン1・オン2」の設定と、暗証番号を変更できる画面が表示されます。「オフ・オン1・オン2」は、[ポイント] ボタンの左右で切り換えて設定します。「オン1」「オン2」を設定すると、メニューバーの右に暗証番号ロックを設定していることを示すアイコンが表示されます。
※ 暗証番号の変更は次ページをご参照ください。
- 5 終了するときは、[ポイント] ボタン下でポインタを に移動し、[SELECT] ボタンを押します。

キーロック

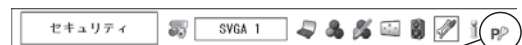


暗証番号ロック



[ポイント] ボタンの左右で「オフ」「オン1」「オン2」を切り換えます。

暗証番号ロックの表示



暗証番号ロックの「オン1」「オン2」のいずれかが設定されていることを表しています。



暗証番号の入力方法

リモコンで入力する

- 1 リモコンの数字ボタンで0～9の数字を選択し、4けた全ての数字を入力します。(入力した数字は「*」で表示されます) 4けた全てが決定すると、ポインタが自動的に「セット」に移動します。
(☞下記「手順3」へ)

本体で入力する

- 1 [ポイント] ボタンの上下で0～9の数字を選択し、[ポイント]ボタン右でポインタを2けた目に移動します。(1けた目の表示が「*」に変わります。) この操作を繰り返し、4けた全ての数字を入力します。
- 2 4けた全ての数字を入力したらポインタを[ポイント]ボタン右で「セット」に移動します。

- 3 [SELECT] ボタンを押して決定します。
- 4 正しく入力されていると、「暗証番号ロック」の設定画面が表示されます。

- ※ 工場出荷時の暗証番号は「1 2 3 4」です。初めて暗証番号を設定するときには、「1 2 3 4」と入力してください。
- ※ 数字の入力をやり直したいときは、[ポイント] ボタンの左右でけたを選び、数字ボタンまたは[ポイント] ボタンの上下で数字を入力し直します。
- ※ 「キャンセル」にポインタを合わせて[SELECT] ボタンを押すと、「暗証番号ロック」の設定画面に移動します。

暗証番号の変更方法

- 1 右図一番下の設定画面で、[ポイント] ボタンの上下で「暗証番号変更」を選択して[SELECT] ボタンを押します。

リモコンで入力する

- 2 リモコンの数字ボタンで0～9の数字を選択し、4けた全ての数字を入力します。4けた全てが決定すると、ポインタが自動的に「セット」に移動します。
(☞下記「手順4」へ)

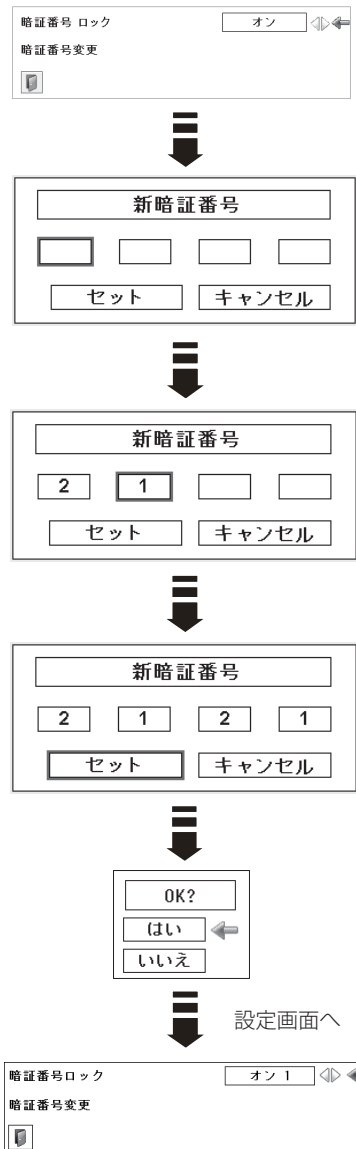
本体で入力する

- 2 [ポイント] ボタンの上下で0～9の数字を選択し、[ポイント]ボタン右でポインタを2けた目に移動します。この操作を繰り返し、4けた全ての数字を入力します。
- 3 4けた全ての数字を入力したらポインタを[ポイント]ボタン右で「セット」に移動します。

- ※ 入力した数字は「*」に変わりません。変更後の数字をはっきり確認していただくために、数字が見えるようになっています。

- 4 [SELECT] ボタンを押して決定します。
- 5 さらに「OK?」の表示が現れますので、[ポイント] ボタンの上下で「はい」にポインタを合わせ、[SELECT] ボタンを押します。新しい暗証番号が登録されます。
- 6 「暗証番号ロック」の設定画面に戻ります。

暗証番号の変更



メモ

- ※ 入力を中断して、この機能の操作をやめるときは、[ポイント] ボタンの左右で「キャンセル」を選択して[SELECT] ボタンを押します。「暗証番号変更」の画面に戻ります。
- ※ 数字の入力をやり直したいときは、[ポイント] ボタンの左右でけたを選び、数字ボタンまたは[ポイント] ボタンの上下で数字を入力し直します。
- ※ 以下の場合にはエラーが発生しています。入力をやり直してください。
 - ・「新暗証番号」の文字と入力した数字が、赤色で表示される。




シャッター

シャッターを閉じる操作を禁止できるほか、シャッターを閉じた後、自動的に電源が切れるまでの時間を設定できます。

保護

「リモートコントロール」と「プロジェクター」をそれぞれ「オン」に設定すると、リモコンの [SHUTTER] ボタン、プロジェクターの [SHUTTER] ボタンをそれぞれ無効にします。


<ご注意>

※「オン」に設定後、「SHUTTER」ボタンを押すと、操作不可能を表す  が画面に表示されます。

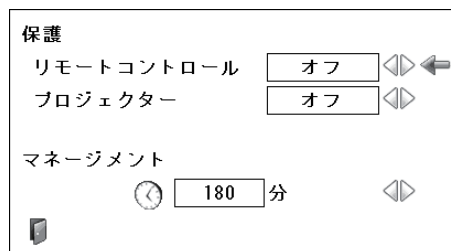
マネージメント

シャッターを閉じた状態にした後、自動的に電源が切れるまでの時間を設定します。5分から180分までの間で設定できます。

マネージメントが働くとプロジェクターはシャッターを解除して電源を切り、スタンバイ状態になります。また [LAMP/SHUTTER] インジケータが、青と暗赤で交互に点灯し、マネージメントが働いたことをお知らせします。再度電源を入れると [LAMP/SHUTTER] インジケータの点灯が消えます。

 80 ページ

シャッター



<ご注意>

※「シャッター」で投映画面が遮断されているときは、「パワーマネージメント」は動作しません。

※設定できるのは時間だけで、シャッターのマネージメント機能をオフにすることはできません。

※工場出荷時は180分に設定されています。



ランプカウンター


ランプカウンター（実使用時間）が表示され、リセットを行なうことができます。ランプ交換後は必ずランプカウンターをリセットしてください。リセットすると [LAMP REPLACE] インジケータ（橙）の点灯、および「ランプ交換」のお知らせ表示が消えます。

ランプカウンターのリセット

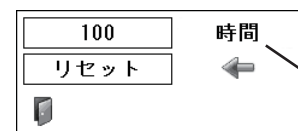


注意

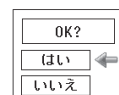
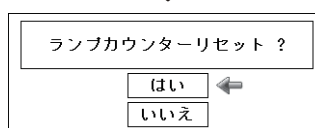
ランプを交換したとき以外はリセットしないでください。

- 1 [ポイント] ボタンの上下でポインタを「ランプカウンター」に合わせて [SELECT] ボタンを押します。
- 2 ランプの使用時間と、カウンターをリセットする項目が表示されます。[ポイント] ボタンの上下でポインタを「リセット」に合わせて [SELECT] ボタンを押します。
- 3 「ランプカウンターリセット？」の確認画面が表示されますので、[ポイント] ボタンの上下で「はい」にポインタを合わせて [SELECT] ボタンを押します。
- 4 さらに、「OK？」の確認画面が表示されますので、[ポイント] ボタンの上下で「はい」にポインタを合わせて [SELECT] ボタンを押します。カウンターがリセットされます。ポインタはランプカウンターの画面の  に戻ります。

ランプカウンター



ランプカウンター（ランプ実使用時間）が表示されます。ランプ交換推奨時間を超えると、ランプカウンターが赤で表示されます。





ランプの交換をお知らせする表示について



ランプ点灯中にランプ交換推奨時間になったとき、画面右上に表示されます。(約 10 秒間)。またその後、下記の操作をしたときにも表示されます。

- ・電源を入れたとき (約 4 秒間表示)
- ・インプットを切り換えたとき (約 4 秒間表示)

※「オンスクリーン表示・オフ」(☞ 58 ページ)に設定しているとき、また、「FREEZE」(☞ 36 ページ)が動作中のときは、表示されません。

※ [LAMP REPLACE] インジケータは、ランプ交換推奨時間になったとき点灯します。スタンバイ時も点灯したままです。
(☞ 73、78～80 ページ)

※「ランプカウンター」をリセットすると、これらの表示が消えます。



フィルターカウンター

エアフィルターについての設定や使用時間のリセット、エアフィルターの巻き取り回数のリセットを行ないます。

- 1 [ポイント] ボタンの上下でポインタを「フィルターカウンター」に合わせて [SELECT] ボタンを押します。
- 2 「使用時間」と「スクロール残回数」の項目が表示されます。[ポイント] ボタンの上下で選択・調整したい項目にポインタを合わせて [SELECT] ボタンを押します。

使用時間

エアフィルターに関して、以下の表示と設定をすることができます。

- ・実使用時間を表示
- ・巻き取り時期をお知らせする時間の設定
- ・実使用時間のリセット

タイマーの設定

ポインタをタイマーに合わせて [ポイント] ボタンの左右で切り換えます。

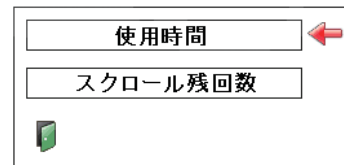
(オフ / 400 時間 / 700 時間 / 1000 時間)

リセット

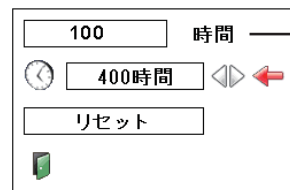
- 1 [ポイント] ボタンの上下でポインタを「リセット」に合わせて [SELECT] ボタンを押します。
- 2 「フィルターカウンターリセット？」が表示されますので、[ポイント] ボタンの上下で「はい」にポインタを合わせて [SELECT] ボタンを押します。
- 3 さらに、「OK？」が表示されますので、[ポイント] ボタンの上下で「はい」にポインタを合わせて [SELECT] ボタンを押します。使用時間がリセットされます。

- ※ 工場出荷時、タイマーは「オフ」に設定されています。
- ※ タイマー機能は設定した時間に達したことをお知らせするだけで、巻き取りは行ないません。エアフィルターを巻き取りたいときは、リモコンの [FILTER] ボタン (☞ 38 ページ) や「セッティング」メニューの「フィルター制御」(☞ 62 ページ) から手動で巻き取ります。
- ※ エアフィルターの巻き取りを行なうと、使用時間は自動的にリセットされます。なお、カートリッジを交換した場合には、使用時間は自動でリセットされません。

フィルターカウンター




使用時間：タイマーの設定

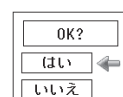
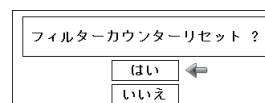
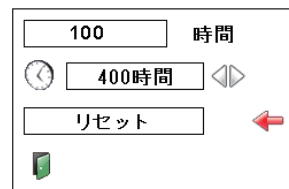


設定時間に達すると数字が赤く表示されます。



設定時間に達したとき、画面に表示されます。ただし、巻き取り回数の残りが「0」のときは  が表示されます。(☞ 75 ページ)

使用時間：リセット



スクロール残回数

エアフィルターの巻き取りに関して、以下の表示と設定をすることができます。

- ・巻き取りの残り回数を表示
- ・巻き取りの残り回数のリセット

スクロール残回数

エアフィルターの巻き取りの残り回数を表示します。残り回数が「0」のときは、数字が赤色で表示されます。

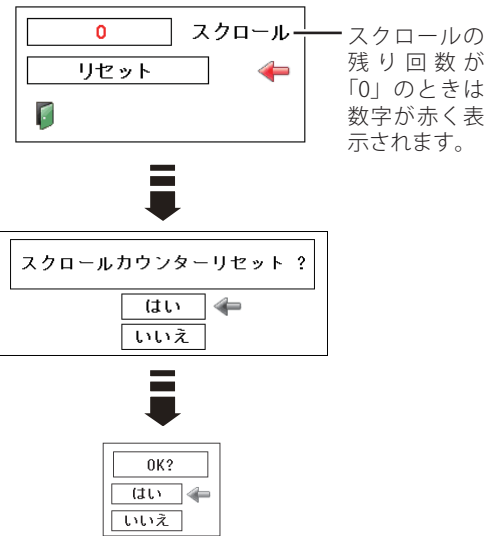
リセット



注意 エアフィルターカートリッジの交換を行なったとき以外はリセットしないでください。

- 1 [ポイント] ボタンの上下でポインタを「リセット」に合わせて [SELECT] ボタンを押します。
- 2 「スクロールカウンターリセット?」が表示されますので、[ポイント] ボタンの上下で「はい」にポインタを合わせて [SELECT] ボタンを押します。
- 3 さらに、「OK?」が表示されますので、[ポイント] ボタンの上下で「はい」にポインタを合わせて [SELECT] ボタンを押します。スクロール残回数がリセットされます。

スクロール残回数：リセット



フィルターカウンターのリセットについて

エアフィルターカートリッジ交換後は、必ず「使用時間」と「スクロール残回数」の両方のカウンターをリセットしてください。リセットすると [WARNING FILTER] インジケータ (橙) の点灯および、「フィルター警告」のお知らせ表示が消えます。☞ 75、78～80 ページ



エアフィルターカートリッジ交換をお知らせする画面表示について



エアフィルターの残り回数が0のときにエアフィルターが目詰まりしてエアフィルターの交換が必要になった場合に、画面右上に表示されます (約 10 秒間)。この表示は 15 分ごとに繰り返し表示されます。また、下記の操作をしたときにも表示されます。

- ・電源を入れたとき (約 4 秒間表示)
- ・「インプット」を切り換えたとき (約 4 秒間表示)

また、 が表示された後も、エアフィルターカートリッジの交換とフィルターカウンターのリセットを行わずにプロジェクターを使用し続けると、光学部品を保護するために電源オン後3分で自動的に電源オフになります。エアフィルターカートリッジを交換し、フィルターカウンターをリセットしてください。

※「オンスクリーン表示」 (☞ 58 ページ) を「オフ」に設定しているとき、または「FREEZE」 (☞ 36 ページ) が動作中のときは表示されません。

※「フィルターカウンター」をリセットすると表示が消えます。

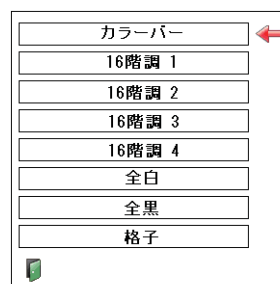


テストパターン

外部からの信号源が無くても、プロジェクター本体に内蔵されたテストパターンを投映することができます。プロジェクターを設置するときに便利です。「カラーバー、16階調1～4、全白、全黒、格子」の8種類があります。

- ・テストパターンが全画面表示されているときに、[ポイント] ボタンの上下を押すと、その前後のテストパターンに切り換わります。
- ・[MENU] ボタンまたは [SELECT] ボタンを押すとテストパターンを終了し、テストパターンのメニュー画面に戻ります。

テストパターン



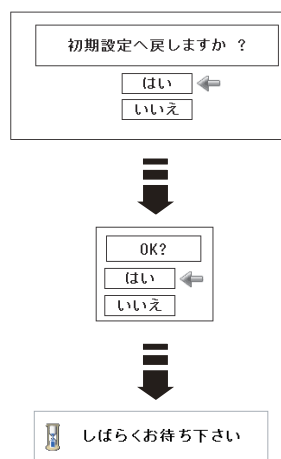
初期設定

下記の設定をのぞく全ての設定を工場出荷状態に戻します。

- ・ランプカウンター（点灯時間）
- ・フィルターカウンター（使用時間・タイマー・スクロール回数）
- ・ロゴ暗証番号ロック
- ・暗証番号ロック
- ・ユーザーロゴ
- ・ネットワーク設定

また、上記の設定は、電源コードを抜いても有効です。

初期設定



注意

「初期設定」を実行すると、お客様が設定した設定内容はすべて失われ、工場出荷状態に戻ります。

- 1 [ポイント] ボタンの上下でポインタを「初期設定」に合わせて [SELECT] ボタンを押します。
- 2 「初期設定へ戻しますか？」の確認画面が表示されますので、「はい」にポインタを合わせて「SELECT」ボタンを押します。
- 3 「OK？」の確認画面が表示されますので、「はい」にポインタを合わせて「SELECT」ボタンを押します。設定が工場出荷時に戻ります。

その他の機能

リモコンでコンピュータを操作する

付属のリモコンは、コンピュータのワイヤレスマウスとしてお使いいただけます。

準備をしてください

はじめにコンピュータにUSB端子があることを確認してください。USB以外の端子ではご利用になれません。また、コンピュータにマウスドライバがインストールされている必要があります。

- 1 市販のUSBケーブルで、コンピュータのUSB端子と本機のUSB端子を接続します。
- 2 USBケーブルを接続したら、先にプロジェクターの電源を入れてからコンピュータを立ち上げてください。先にコンピュータを立ち上げると正しく動作しない場合があります。

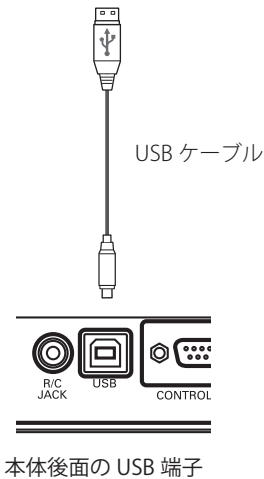


マウス機能を使うときは、以下を確認してください。

- ① 下記のコンピュータ入力を選択されていて、信号も送られている。
 - ・「コンピュータ1 (アナログ)」
 - ・「コンピュータ1 (デジタル)」の「RGB (PC digital)」
 - ・「コンピュータ1 (デジタル)」の「RGB (AV HDCP)」
 - ・「コンピュータ2」の「RGB」
- ② 電源が「オン」になっていて、ランプが点灯している。

USBケーブルの接続

コンピュータのUSB端子へ



マウスポインタの動かし方

マウスポインタの操作は、[マウスポインタ] ボタン、[左クリック] ボタン、[R-CLICK] (右クリック) ボタンで行ないます。

マウスポインタボタン

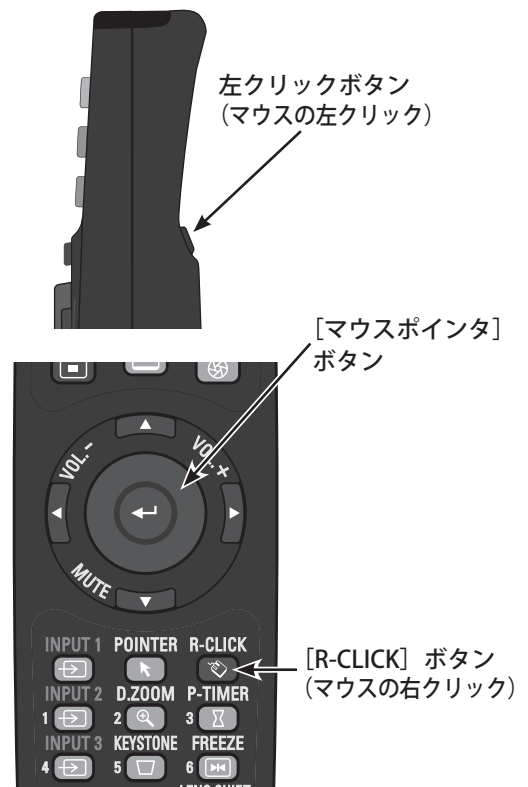
マウスポインタの移動を行ないます。上下左右方向を押すと、マウスポインタが移動します。

左クリックボタン

コンピュータマウスの左クリックの働きをします。

R-CLICK (右クリック) ボタン

コンピュータマウスの右クリックの働きをします。



お手入れと保守

お手入れについて

本機の性能を維持し、安全にご使用いただくために、注意事項をよくお読みの上、正しくお手入れください。

● 長い間ご使用にならないとき

レンズや本体にホコリが付着しないようケースなどに納めて保管してください。

● キャビネットのお手入れ

キャビネットや操作パネルの部分の汚れはネルなどの柔らかい布で軽く拭き取ってください。汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。

● キャビネットをいためないために

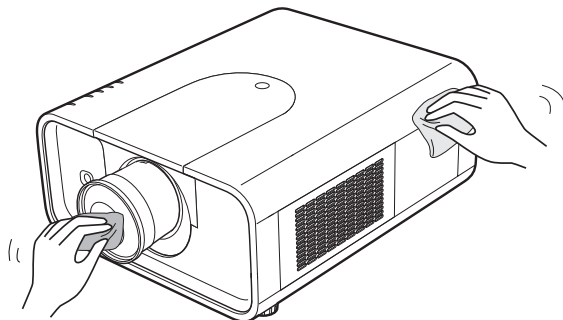
キャビネットにはプラスチックが多く使われています。キャビネットに殺虫剤など揮発性のものをかけたり、ゴムや粘着テープ、ビニール製品を長期間接触させないでください。変質したり塗料がはげるなどの原因となります。

● ベンジン・シンナーは使わないで

ベンジンやシンナーなどで拭くと、変質したり塗料がはげることがあります。また、化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きにしたがってください。

● レンズのお手入れ

レンズ表面の掃除は、カメラ用に市販されているブローブラシやレンズクリーナー（カメラやメガネの掃除用に市販されているクロスやペーパー）で行なってください。レンズの表面は傷がつきやすいので、固いものでこすったり、たたいたりしないでください。



ランプの交換

LAMP REPLACE インジケータと「ランプ交換」表示について

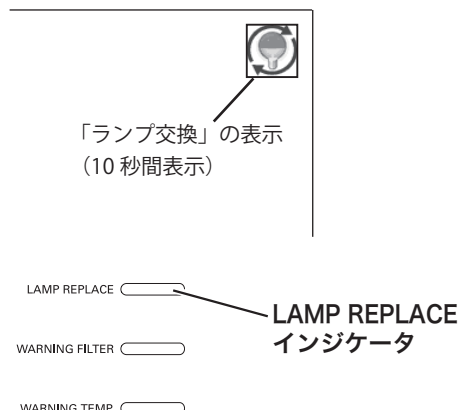
[LAMP REPLACE] インジケータ（橙）の点灯は、ランプ交換時期の目安です。[LAMP REPLACE] インジケータが点灯したときは、ランプをすみやかに交換してください。ランプカウンターをリセットするまで電源「ON（入）」のときに点灯します。なお、点灯する前に寿命が尽きる場合もあります。また、画面右上に現れる「ランプ交換」表示でもランプ交換時期をお知らせします。下図の「ランプ交換」が表示されたら、すみやかにランプを交換してください。☞ 68、69 ページ



ランプ点灯中にランプ交換推奨時間に達した場合、画面右上に10秒間に表示されます。またその後、下記の操作をしたときにも表示されます。

- ・電源を入れたとき
- ・「インプットモード」を切り換えたとき

※ 上記のアイコンは、「オンスクリーン表示」を「オフ」（☞ 58 ページ）に設定している場合や「FREEZE」（☞ 38 ページ）の動作中は表示されません。



ランプの交換方法

ランプの交換はランプハウスごとに行ないます。必ず指定のランプハウスを取り付けてください。交換ランプはお買い上げの販売店にご相談ください。またご注文の際には、以下のことをお知らせください。

- ・交換ランプの品番：POA-LMP124（サービス部品コード：610 341 1941）
- ・プロジェクターの品番：LP-XP200L



注意

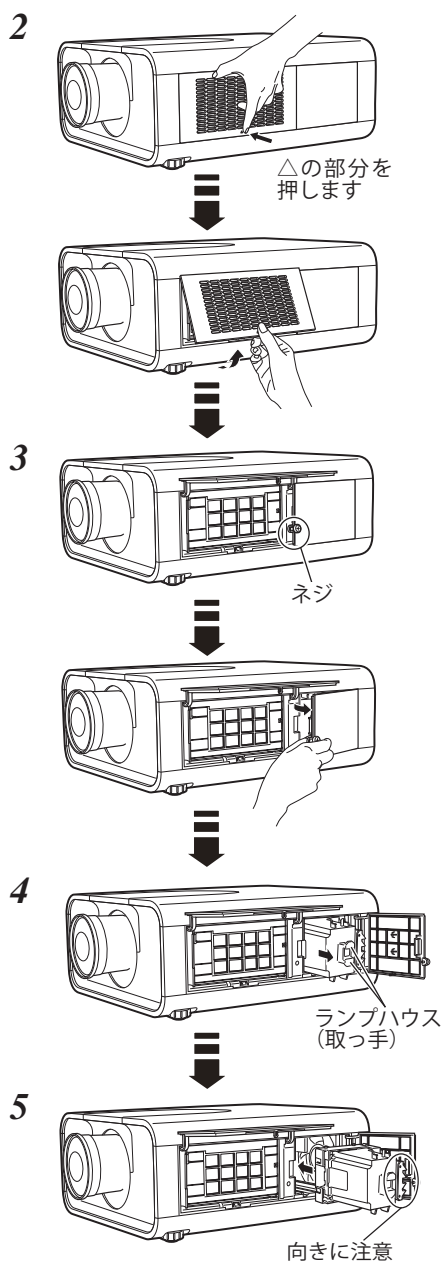
動作中、ランプは大変高温になります。ランプを交換するときは、本機の電源を切り、ファン停止後に電源コードを抜き、45分以上放置してから行なってください。動作停止後すぐに手で触ると、やけどをするおそれがあります。

手順

- 1 プロジェクターの電源を切り、冷却ファンの回転が止まったことを確認し、電源プラグをACコンセントから抜きます。交換は、必ず電源を切ってから行ってください。
- 2 エアフィルターカバーを開けます。カバーの「△」の部分で指で押し、「カチッ」と音がしてストッパーが外れます。止まるまで開ききります。
※ 天吊りでご使用の際には、カバーを開くときに力をかけすぎないようにご注意ください。破損するおそれがあります。
- 3 ランプカバーのネジをゆるめてランプカバーを開きます。
- 4 取っ手を持ってランプハウスごと引き出します。
- 5 ランプの向きに注意しながら、交換用のランプハウスを本体の奥までしっかり押し込みます。ランプのガラス面を手で触って汚さないようご注意ください。
- 6 ランプカバーを閉じてネジを締めます。エアフィルターカバーを閉じます。

ランプカウンターをリセットします

ランプ交換後は必ずランプカウンターをリセットしてください。リセットすると [LAMP REPLACE] インジケータ (橙) の点灯、および「ランプ交換」表示が消えます。ランプカウンターのリセット方法は、「セッティング」メニュー内の「ランプカウンター」を参照ください。☞ 68 ページ



ガラス面を手で触って汚さないようにしてください。

エアフィルターカートリッジの交換

WARNIG FILTER インジケータと「フィルター警告」表示について

本製品には自動交換フィルターが搭載されています。プロジェクターがフィルターの汚れを常に監視し、汚れによる目詰まりを検知すると、自動的に新しいフィルターに交換（巻き取り）します。1個のエアフィルターカートリッジで9回交換できます。（合計10回分）

[WARNING FILTER] インジケータ（橙）の点灯・点滅は、エアフィルターの交換（巻き取り）やエアフィルターカートリッジの交換時期の目安です。また、「フィルター警告」アイコン表示でもエアフィルターの状況や、エアフィルターカートリッジの交換時期をお知らせします。



表示の種類

アイコン

 または	「セッティング」メニューの「フィルターカウンター」で設定した時間に達したことをお知らせします。ただし、巻き取り回数の残りが「0」のときは が表示されます。	<ul style="list-style-type: none"> 電源を入れたとき インプットを切り換えたとき ※ 最初の表示の後、15分ごとに繰り返し表示されます。 	「オンスクリーン表示」が「オフ」、あるいは、「FREEZE」中は表示されません。
 または	エアフィルターカートリッジの交換をお知らせします。巻き取り回数の残りが「0」で、汚れによる目詰まりが発生しています。	<ul style="list-style-type: none"> 電源を入れたとき インプットを切り換えたとき ※ 最初の表示の後、15分ごとに繰り返し表示されます。 	「オンスクリーン表示」が「オフ」、あるいは「FREEZE」中は表示されません。
 または	エアフィルターの巻き取り回数の残りが「0」になったことをお知らせします。	<ul style="list-style-type: none"> 電源を入れたとき インプットを切り換えたとき 	「オンスクリーン表示」が「オフ」、または「FREEZE」中は表示されません。
	メニューまたはリモコンから、強制巻き取りを行なっていることをお知らせします。	<ul style="list-style-type: none"> 巻き取り実行中に表示されます。 	「オンスクリーン表示」が「オフ」の場合は表示されません。

※ 汚れによる目詰まりを検知して自動的に交換（巻き取り）する際に、エアフィルターの巻き取り回数の残りがあるときはアイコンは画面に表示されません。

インジケータ

 (点灯)	<ul style="list-style-type: none"> エアフィルターの巻き取り回数の残りが「0」になりました。 エアフィルターカートリッジの交換推奨時間になりました。 ※ スタンバイ時も点灯したままです。
 (点滅・ゆっくり)	<ul style="list-style-type: none"> エアフィルターの巻き取り中です。
 (点滅・速い)	<ul style="list-style-type: none"> エアフィルターの巻き取り中に異常が発生しました。 エアフィルターカートリッジが本体にセットされていません。

エアフィルターカートリッジの交換方法

エアフィルターは、内部のレンズやミラーをホコリや汚れから守っています。エアフィルターや吸気口にホコリがたまると冷却効果が悪くなり、内部の温度上昇をまねいて故障の原因になります。エアフィルター周辺の吸気口は、こまめに掃除してください。

エアフィルターカートリッジのサービス部品コード：610 334 3747

手順


- 1 プロジェクターの電源を切り、冷却ファンの回転が止まったことを確認し、電源プラグをACコンセントから抜きます。交換は、必ず電源を切ってから行なってください。
- 2 エアフィルターカバーを開けます。カバーの「△」の部分で指を押し、「カチッ」と音がしてストッパーが外れます。止まるまで開ききります。
※ 天井りでご使用の場合は、カバーを開くときに力をかけすぎないようにご注意ください。破損するおそれがあります。
- 3 エアフィルターカートリッジのツメに指をかけて押し上げるようにして本体から外します。
- 4 新しいエアフィルターカートリッジのリール部分を下にして本体にはめ込みます。
- 5 エアフィルターカバーをおろして、閉じます。カバーの「△」の部分で指を押し、「カチッ」と音がすれば完了です。

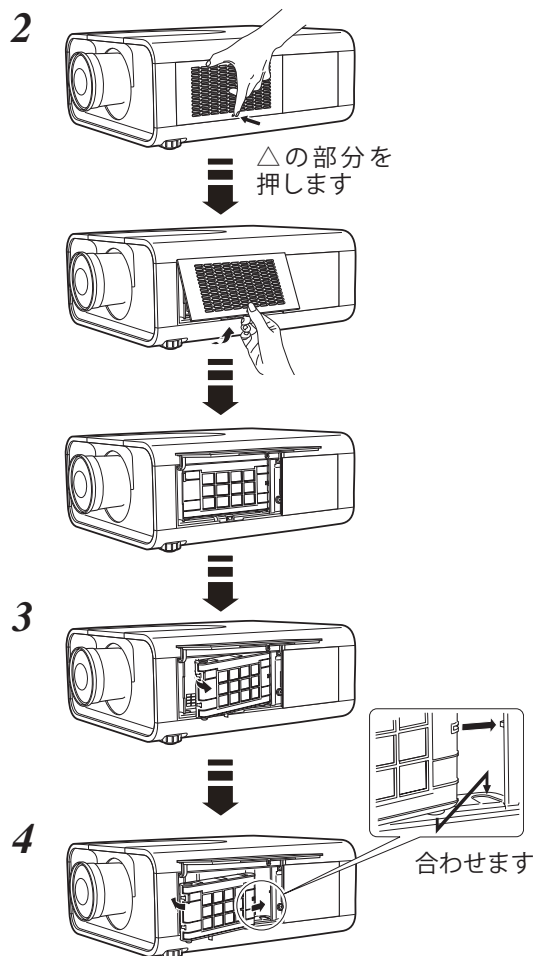
フィルターカウンターをリセットします

エアフィルターカートリッジ交換後は、必ず「使用時間」および「スクロール残回数」をリセットしてください。リセットすると [WARNING FILTER] インジケータ (橙) の点灯、および「フィルター警告」表示が消えます。リセットのしかたは、「セッティング」メニュー内の「フィルターカウンター」を参照してください。 (P. 69～70 ページ)



エアフィルターについてのご注意

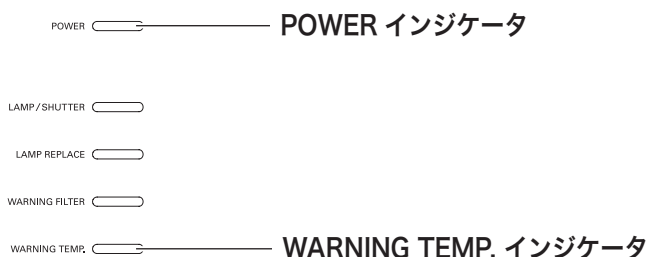
- **エアフィルターカートリッジは再利用できません。**
エアフィルターを掃除するなどして再利用しないでください。使い終わりましたら、すみやかに新しいものと交換してください。
- **エアフィルターは水洗いできません。**
エアフィルターカートリッジが水などで濡れないようにご注意ください。故障の原因となります。
- **エアフィルターを使い切ってからカートリッジを交換してください。**
途中で交換したり、他のプロジェクターとの使い回しなどをすると、エアフィルターの残回数を正しく確認できなくなり、故障の原因となります。
- **エアフィルターカートリッジの交換は、電源を切ってから行ってください。**
電源が入った状態でカートリッジを外すと、安全のため自動で電源が切れます。
- **エアフィルターカートリッジ交換後は、必ず「使用時間」と「スクロール残回数」の両方をリセットしてください。**
リセットを行わないと、エアフィルターの残回数や使用時間を正しく認識できなくなり、故障の原因となります。
- **エアフィルターカートリッジは、ていねいに扱ってください。**
エアフィルター部分に穴があいたり、破れたりするとフィルターの効果が損なわれます。
- **エアフィルターカバーの穴から内部へ、ものを差し込まないでください。**
内部には高電圧の部分や回転する部分があり、ふれると感電やけがの恐れがあります。また、冷却ファンの故障にもつながります。
- **エアフィルターカートリッジの交換表示にご注意ください。**
 が表示された後も、エアフィルターカートリッジの交換とフィルターカウンターのリセットを行わずに使用を続けると、光学部品を保護するために、電源オンから3分経過すると自動的に電源オフになります。



内部温度の上昇について

[WARNING TEMP.] インジケータが点滅しているとき

本機内部の温度が高くなると [WARNING TEMP.] インジケータ (赤) が低速で点滅しはじめます。さらに温度が高くなると、保護のため自動的に電源が切れて [POWER] インジケータ (緑) が消え、[WARNING TEMP.] インジケータは高速の点滅に変わります。([LAMP] インジケータ (赤) は点灯、[WARNING TEMP.] インジケータは高速点滅) 温度が下がると [POWER] インジケータが点灯し、リモコンの [ON] ボタン、または本体の [ON/STAND-BY] ボタンで電源を入れることができます。電源を入れると [WARNING TEMP.] インジケータの点滅が消えます。



[WARNING TEMP.] インジケータの点滅が消えないときは、以下を確認してください。

- ・ エアフィルター付近にホコリがたまっていませんか。エアフィルター付近を掃除してください。
- ・ 排気口や吸気口がふさがれていませんか。通気を妨げるような設置をしないでください。
- ・ 使用温度範囲を超えた温度の場所で使用していませんか。(使用温度範囲：5℃～40℃)
- ・ 上記のいずれでもない場合は、冷却ファンまたは内部回路の故障が考えられます。お買い上げの販売店または修理相談窓口にご相談ください。

電源を入れるときは、[POWER] インジケータが点灯していることを確認してください。内部の温度が下がっていない場合は、再び [WARNING TEMP.] インジケータが点滅して電源が切れます。

プロジェクターの電源が切れて全てのインジケータが点灯・点滅しているとき

プロジェクター内部で異常が検出されると、プロジェクターの電源が切れ、[LAMP] インジケータが点灯し、その他のインジケータが点滅を始めます。このとき、リモコンの [ON] ボタンおよび本体の [ON/STAND-BY] ボタンでの「電源入・切」はできなくなります。

このような時は、電源コードを一旦コンセントから抜いて電源を入れなおし、プロジェクターの動作を確認してください。再び電源が切れて [LAMP] インジケータが点灯し、その他のインジケータが点滅する場合は、プロジェクターの点検をお買い上げの販売店、または修理相談窓口にご依頼ください。電源コンセントを接続したまま放置しないでください。火災や事故の原因となります。

※ エアフィルターカートリッジが本体にセットされていないとき、エアフィルターの巻き取り中に異常が起こったときにも全てのインジケータが点灯または点滅します。☞ 79 ページ

インジケータ表示とプロジェクターの状態

プロジェクターの各インジケータはプロジェクターの動作状態を表示しています。ご使用中うまく動作しないなど、動作が不明なときは下表にしたがい各インジケータでプロジェクターの動作を確認してください。

また、インジケータはメンテナンスをお知らせします。プロジェクターをよりよい性能で長期間ご使用いただくために、これらのインジケータの指示にしたがって、適切なメンテナンスを行なってください。

インジケータの名称と点灯状態					プロジェクターの状態
POWER 緑	LAMP/ SHUTTER 赤/青	WARNING TEMP. 赤	WARNING FILTER 橙	LAMP REPLACE 橙	
					電源コードがコンセントから抜けています。
			※	※	プロジェクターは正常に動作しています。
	 (青点灯)	※	※	※	プロジェクターは正常に動作しています。 (シャッターを閉じている状態)
		※	※	※	ランプの冷却中です。スタンバイ状態になり、[POWER] インジケータが再度点灯するまで、[ON] または [ON/STAND-BY] ボタンを押して始動することはできません。
		※	※	※	プロジェクターはスタンバイ状態です。 [ON] または、[ON/STAND-BY] ボタンを押すと動作します。
		※	※	※	パワーマネジメントが働いて、ランプを冷却しています。 ランプの冷却が完了するまでプロジェクターを始動することはできません。
		※	※	※	パワーマネジメントが働いて、スタンバイ状態になりました。プロジェクターを操作するとランプが点灯し、プロジェクターが動作をはじめます。
			※	※	プロジェクター内部の温度が高くなっています。 [WARNING TEMP.] インジケータがゆっくりとした点滅を始めます。エアフィルターの点検などを行なってください。
			※	※	プロジェクター内部の温度がさらに高くなったため、自動的に電源が切れてランプを冷却しています。 [WARNING TEMP.] インジケータが高速の点滅に変わり、[POWER] インジケータが消えます。[ON] または、[ON/STAND-BY] ボタンを押しても電源は入りません。
			※	※	冷却が完了し、正常の温度に戻りました。[ON] または、[ON/STAND-BY] ボタンを押すと、[WARNING TEMP.] インジケータの点滅が消え、プロジェクターが動作します。 エアフィルターの点検などを行なってください。

インジケータの名称と点灯状態					プロジェクターの状態
POWER 緑	LAMP/ SHUTTER 赤/青	WARNING TEMP. 赤	WARNING FILTER 橙	LAMP REPLACE 橙	
					<p>プロジェクターの内部に異常が検出されました。[ON] または [ON/STAND-BY] ボタンを押しても電源は入りません。一度電源コードをコンセントから抜き、電源を入れなおしてください。再び電源が切れ、インジケータが点灯するときは、電源コードをコンセントから抜き、点検と修理をお客さまご相談窓口へご依頼ください。点灯したままで放置しないでください。火災や感電の原因となります。</p> <p>エアフィルターカートリッジが本体にセットされていないか、エアフィルターの巻き取りに異常が発生しました。エアフィルターカートリッジが本体にきちんとセットされているか確認してください。</p>
	※	※		※	<p>画面右上に の表示があるときは、「セッティング」メニューの「フィルターカウンター」で設定した時間に達したことをお知らせしています。なお の表示の場合は、設定時間に達したことに加えて、巻き取り回数の残りが「0」であることをお知らせしています。エアフィルターカートリッジを交換してください。</p> <p>画面右上に の表示があるときは、エアフィルターに目詰まりが発生し、かつ巻き取り回数の残りが「0」であることをお知らせしています。エアフィルターカートリッジを交換してください。</p> <p>※「FREEZE」(36 ページ) が動作中のときは、画面表示はありません。</p>
	※	※		※	エアフィルターを巻き取っています。

インジケータの状態

..... 点灯
 暗点灯
 消灯
 点滅 (約 1 秒間隔)
 ゆっくりとした点滅 (約 2 秒間隔)
 速い点滅 (約 0.5 秒間隔)

<ご注意>

- ・ [LAMP/SHUTTER] インジケータは、ランプに関するお知らせは赤色で、シャッターに関するお知らせは青色で点灯・点滅します。表中、色の指定が無い場合には、赤色の点灯・点滅です。
- ・ 「※」で表されているインジケータは、点灯・点滅・消灯いずれの場合もあります。
- ・ [WARNING FILTER] インジケータと [LAMP REPLACE] インジケータは、点灯または点滅する条件になったときには、他のインジケータの状態に関係なく点灯または点滅します。

インジケータの名称と点灯状態					プロジェクターの状態
POWER 緑	LAMP/ SHUTTER 赤 / 青	WARNING TEMP. 赤	WARNING FILTER 橙	LAMP REPLACE 橙	
●	○	※	※	○ ☼	ランプが点灯しなかったため [LAMP REPLACE] インジケータが点滅し、ランプを冷却しています。ランプの冷却が完了してスタンバイ状態になるまでお待ちください。
○	○	※	※	○ ☼	ランプが点灯しなかったためランプを冷却していましたが、冷却が完了してスタンバイ状態になりました。[ON] または [ON/STAND-BY] ボタンを押すと、[LAMP REPLACE] インジケータの点滅が消え、プロジェクターが動作します。
※	※	※	※	○	ランプ交換推奨時間がすでに経過し、ランプの寿命です。また、画面右上にも  を表示して交換をお知らせします。速やかにランプを交換した後、ランプカウンターをリセットしてください。ランプカウンターをリセットすると、[LAMP REPLACE] インジケータが消えます。
●	○ ☼ (青と暗赤が交互に点灯)	●	※	※	シャッターマネージメントで設定した時間が経過し、プロジェクターの電源が自動的にオフになりました。ランプを冷却しています。[POWER] インジケータが再度点灯してから、[ON] または [ON/STAND-BY] ボタンを押してください。
○	○ ☼ (青と暗赤が交互に点灯)	●	※	※	シャッターマネージメントによる自動電源オフの後、ランプの冷却が完了しました。[ON] または [ON/STAND-BY] ボタンを押すと、[LAMP/SHUTTER] インジケータの点滅が消え、プロジェクターが動作します。
●	○ ☼ (青と暗赤が交互に点灯)	●	※	※	シャッターに異常が発生し、プロジェクターの保護のために電源が自動的にオフになりました。ランプを冷却しています。[POWER] インジケータが再度点灯してから、[ON] または [ON/STAND-BY] ボタンを押してください。
○	○ ☼ (青と暗赤が交互に点灯)	●	※	※	シャッター異常による自動電源オフの後、ランプの冷却が完了し、スタンバイ状態になりました。[ON] または [ON/STAND-BY] ボタンを押すと、[LAMP/SHUTTER] インジケータの点滅が消え、プロジェクターが動作します。
※	○ ☼ (青と暗赤が交互に点灯)	※	※	※	シャッターに異常が発生し、シャッターを開閉できません。自動的に電源をオフにしてランプを冷却します。ランプの冷却が完了して [POWER] インジケータが再度点灯した後、[ON] または [ON/STAND-BY] ボタンを押してもプロジェクターが動作しない場合には、再度ランプを冷却します。プロジェクターが動作しない場合には、点検と修理をお客さまご相談窓口へご依頼ください。

インジケータの状態



- ・・・点灯 ●・・・暗点灯 ●・・・消灯 ○☼・・・点滅 (約1秒間隔)
 ○☼・・・ゆっくりとした点滅 (約2秒間隔) ☼☼・・・速い点滅 (約0.5秒間隔)

故障かなと思ったら

アフターサービスを依頼される前に、次のことをお確かめください。また、「インフォメーション」メニューで、信号の状況やセッティングの状況をお確かめください。

	こんなときは	ここを確認してください	参照ページ
電源・初期設定	電源が入らない	<input type="checkbox"/> 電源コードは接続されていますか。	29
		<input type="checkbox"/> 電源は入っていますか。[ON] または [ON/STAND-BY] ボタンを押してみてください。	31
		<input type="checkbox"/> [POWER] インジケータが消えているときは、[ON] または [ON/STAND-BY] ボタンを押しても電源が入りません。	31
		<input type="checkbox"/> [WARNING TEMP.] インジケータが赤く点滅しているときは、内部の温度が過度に高くなっており、[ON] または [ON/STAND-BY] ボタンを押しても保護のため電源は入りません。温度が下がるまでお待ちください。	77
		<input type="checkbox"/> 「キーロック」が働いていませんか。[ON] または [ON/STAND-BY] ボタンを押してみてください。	65 ~ 66
	<input type="checkbox"/> エアフィルターカートリッジが本体にセットされていますか。本体を確認してみてください。	75 ~ 76	
	電源を入れたら、暗証番号を要求された	<input type="checkbox"/> 「暗証番号ロック」が設定されています。登録した（または工場出荷時の）暗証番号を入力してください。解除または設定の変更は「セッティング」の「暗証番号ロック」を確認してください。	66 ~ 67
オープニング	オープニング画面が表示されない	<input type="checkbox"/> 「オンスクリーン表示」が「オフ」または「カウントダウンオフ」になっていませんか。「セッティング」を確認してください。	58
	オープニング画面が初期設定の画像と違う	<input type="checkbox"/> 「ロゴ選択」が「ユーザー」または「オフ」になっていませんか。「セッティング」メニューの「ロゴ」を確認してください。	59
	インプットモードとランプコントロール以外の表示が現れた	<input type="checkbox"/> ランプまたはエアフィルターの状態をお知らせしています。ランプまたはエアフィルターを確認してください。	73 ~ 74 75 ~ 76
画像・画質	画像が映らない	<input type="checkbox"/> ビデオ機器やコンピュータは正しく接続されていますか。接続を確認してください。	26 ~ 27
		<input type="checkbox"/> 電源を入れたあとの約 30 秒間はオープニング画面が表示され、画像は映せません。（「オンスクリーン表示」が「カウントダウンオフ」または「オフ」のときをのぞく）	58
		<input type="checkbox"/> 入力信号の種類、カラーシステムや走査方式、またはコンピュータのシステムモードは合っていますか。	44 ~ 48
		<input type="checkbox"/> 使用温度範囲（5℃～40℃）から外れていませんか。	10
		<input type="checkbox"/> シャッターが閉じていませんか。[LAMP/SHUTTER] インジケータが青く点灯していないか確認し、操作パネルまたはリモコンの [SHUTTER] ボタンを押してみてください。	17、19
		<input type="checkbox"/> コンピュータが外部出力に切り換わっていますか。出力の切り換えはコンピュータの取扱説明書を確認してください。	26
		<input type="checkbox"/> コンピュータを再起動してください。	—
	画像が不鮮明	<input type="checkbox"/> フォーカスは合っていますか。フォーカスを合わせてください。	34
		<input type="checkbox"/> スクリーンとの距離がフォーカスの合う範囲から外れていませんか。	—
		<input type="checkbox"/> スクリーンに対して過度に斜めに投射しているときは、画面に台形ひずみ（あおり）ができ、部分的にフォーカスが合わなくなることがあります。	24
<input type="checkbox"/> 温度の低い所から急に暖かい所へ持ち込んだとき、空気中の水分がレンズやミラーに結露し、画像がぼやけることがあります。しばらくすると通常の画像に戻ります。		10	
<input type="checkbox"/> レンズが汚れたり、くもってはいませんか。レンズのお手入れをしてください。		73	

	こんなときは	ここを確認してください	参照ページ
画像・画質 (つぎ)	画像が暗い	<input type="checkbox"/> 「コントラスト」や「明るさ」が、正しく調整されていますか。「コントラスト」や「明るさ」を、正しく調整してみてください。	50
		<input type="checkbox"/> 「イメージモード」が、正しく選択されていますか。「イメージ選択」メニューを確認してみてください。	49
		<input type="checkbox"/> ランプコントロールで「エコ1(または2)モード」になっていませんか。「エコ1(または2)モード」は、他のモードよりも暗くなります。	61
		<input type="checkbox"/> ランプの交換時期が来ていませんか。ランプの輝度は寿命が近づくとつれてだんだん暗くなる性質があります。「ランプ交換」のお知らせ表示が出たら、新しいランプに交換してください。	73～74
		<input type="checkbox"/> レンズシフト機能で画面位置を変えたときは、多少画面が暗くなることがあります。	34
画像の色がおかしい	<input type="checkbox"/> 入力信号の種類、カラーシステムや走査方式、またはコンピュータのシステムモードは合っていますか。また、「イメージ調整」を確認してください。	44～52	
映像が左右(上下)逆さまに映っている	<input type="checkbox"/> 「天吊り」または「リア投映」になっていませんか。「セッティング」を確認してください。	56	
画像がゆがんだり、切れたりしている	<input type="checkbox"/> 「PC調整」や「スクリーン」メニューを確認・調整してください。	46～48	
画像の端がゆがんで見える	<input type="checkbox"/> 「レンズシフト」を最大まで動かしていませんか。「レンズシフト」を確認してください。	34	
リモコン	リモコンで操作できない	<input type="checkbox"/> 電池は正しく入っていますか。＋を正しく入れてください。	19～20
		<input type="checkbox"/> 電池がなくなっていないですか。新しい電池と交換してください。	19～20
		<input type="checkbox"/> 本体のリモコン受信部とリモコンの間に障害物はないですか？リモコンはリモコン受信部に向けて操作してください。また、間に障害物があれば移動させてください。	20
		<input type="checkbox"/> リモコンの「ALL OFF」スイッチが「ON」側になっているか確認してください。	20
		<input type="checkbox"/> リモコンの受信範囲から外れていませんか。受信範囲で操作してください。	20
		<input type="checkbox"/> リモコンコードを切り換えていませんか。リモコンコードを確認してください。	20
		<input type="checkbox"/> リモコンケーブルが本体またはリモコンに接続されていませんか。ケーブルが接続されているとワイヤレスリモコンとしては働きません。	20
		<input type="checkbox"/> 「キーロック」でリモコンからの操作をロックしていませんか。操作パネルから「セッティング」メニューの「セキュリティ」を確認してください。	65～66
	<input type="checkbox"/> 「リモコン受光部」を前面または後面のいずれか単独にセットしていませんか。	64	
	コンピュータのワイヤレスマウスとして動作しない	<input type="checkbox"/> USBケーブルは正しく接続されていますか。	72
<input type="checkbox"/> 接続するコンピュータにマウスドライバがインストールされていますか。ワイヤレスマウスとして使うにはコンピュータにマウスドライバがインストールされている必要があります。		72	
<input type="checkbox"/> コンピュータ入力を選択されていますか。ワイヤレスマウスとして使えるのは、「インプット1」の「RGB(PCアナログ)」、「RGB(PCデジタル)」、「RGB(AV HDCP)」あるいは「インプット2」の「RGB」のいずれかが選択されているときです。		72	
<input type="checkbox"/> 一旦電源を切り、プロジェクターの電源を先に入れてから、コンピュータを立ち上げてみてください。		72	

	こんなときは	ここを確認してください	参照ページ
音声	音声出力されない	<input type="checkbox"/> コンピュータやビデオ機器の音声は正しく接続されていますか。接続を確認してください。	28
		<input type="checkbox"/> 音量が最小になっていませんか。[VOLUME +] ボタンを押してみてください。	39
		<input type="checkbox"/> 消音状態になっていませんか。[MUTE] ボタンを押すか、[VOLUME +] ボタンを押してみてください。	39
		<input type="checkbox"/> 「インプット」で選択した信号の映像が投映されていますか。接続していても映像が投映されていなければ音は出ません。接続を確認してください。	26～27 42～43
		<input type="checkbox"/> 「インプットパターン」で設定したインプットと音声入力のリミットに間違いはありませんか。「インプットパターン」の設定を確認してください。	39
設定・操作・調整	「自動 PC 調整」が働かない	<input type="checkbox"/> システムメニューで 480p、575p、720p、480i、575i、1035i、1080i が選択されているときは「自動 PC 調整」は働きません。入力信号を確認してください。	46
		<input type="checkbox"/> 入力信号がデジタルのときは「PC 調整」メニューは選択できません。	46
	表示されない機能がある	<input type="checkbox"/> 「オンスクリーン表示」が「オフ」になっていませんか。「セッティング」を確認してください。	58
	電源を切る前の設定が残っていない	<input type="checkbox"/> 項目の調整後「メモリー」で登録を実行しましたか。調整後の項目は「メモリー」で登録しないと保存されません。	47、50、56
	「パワーマネージメント」が働かない	<input type="checkbox"/> 「FREEZE」が動作中のとき、あるいはシャッターを閉じて投映画面を遮断しているときは「パワーマネージメント」は動作しません。	36、64、68
	「キャプチャー」が働かない	<input type="checkbox"/> 無信号状態ではないですか。接続および信号を確認してください。	59
		<input type="checkbox"/> 「キャプチャー」を使用できる入力信号は限られています。入力信号の種類を確認してください。	59
	自動的に電源が切れる	<input type="checkbox"/> 工場出荷時の初期設定で、「パワーマネージメント」機能が設定されています。「セッティング」を確認してください。	64
<input type="checkbox"/>  が表示された後、エアフィルターカートリッジの交換とフィルターカウンターのリセットを行わずに使用を続けた場合には、光学部品を保護するために電源オンから3分経過すると自動的に電源オフになります。エアフィルターカートリッジの交換とフィルターカウンターのリセットを行ってください。		75～76	
選択できないメニューがある	<input type="checkbox"/> コンピュータ入力画面とビデオ入力画面では、選択できるメニューにそれぞれ制限があります。制限されているメニューは灰色で表示され選択できません。	—	
操作パネルで操作できない	<input type="checkbox"/> 「キーロック」で操作パネルからの操作をロックしていませんか。リモコンから「セッティング」を確認してください。	65	
その他	インジケータが点滅・点灯している	<input type="checkbox"/> 「インジケータ表示とプロジェクターの状態」で、プロジェクターの動作を確認してください。	78～80
	キーロックの解除ができない ロゴ暗証番号、暗証番号を忘れた	<input type="checkbox"/> お手数ですが、お買い上げの販売店または修理相談窓口へご相談ください。	—
	ボタンを押したのに  が表示された	<input type="checkbox"/> プロジェクターがその操作を受け付けられないことをお知らせする表示です。接続や入力信号を確認してみてください。また、リモコンをシンプルモードに設定している場合に、シンプルモード非対応のボタンを押したときにも表示されます。	63

付録

コンピュータシステムモード一覧

コンピュータの信号がアナログの場合

プロジェクターにはあらかじめ以下のシステムモードが用意されています。「カスタムモード1～10」は含みません。
接続されたコンピュータの信号を判別して、プロジェクターが以下のシステムモードを自動で選択します。

システムモード	解像度	水平周波数 (Khz)	垂直周波数 (Hz)
VGA 1	640 x 480	31.470	59.880
VGA 2	720 x 400	31.470	70.090
VGA 3	640 x 400	31.470	70.090
VGA 4	640 x 480	37.860	74.380
VGA 5	640 x 480	37.860	72.810
VGA 6	640 x 480	37.500	75.000
VGA 7	640 x 480	43.269	85.000
MAC LC13	640 x 480	34.970	66.600
MAC 13	640 x 480	35.000	66.670
480p	-----	31.470	59.880
575p	-----	31.250	50.000
575i	-----	15.625	50.000 (インターレース)
480i	-----	15.734	60.000 (インターレース)
SVGA 1	800 x 600	35.156	56.250
SVGA 2	800 x 600	37.880	60.320
SVGA 3	800 x 600	46.875	75.000
SVGA 4	800 x 600	53.674	85.060
SVGA 5	800 x 600	48.080	72.190
SVGA 6	800 x 600	37.900	61.030
SVGA 7	800 x 600	34.500	55.380
SVGA 8	800 x 600	38.000	60.510
SVGA 9	800 x 600	38.600	60.310
SVGA 10	800 x 600	32.700	51.090
SVGA 11	800 x 600	38.000	60.510
MAC 16	832 x 624	49.720	74.550
XGA 1	1024 x 768	48.360	60.000
XGA 2	1024 x 768	68.677	84.997
XGA 3	1024 x 768	60.023	75.030
XGA 4	1024 x 768	56.476	70.070
XGA 5	1024 x 768	60.310	74.920
XGA 6	1024 x 768	48.500	60.020
XGA 7	1024 x 768	44.000	54.580
XGA 8	1024 x 768	63.480	79.350
XGA 9	1024 x 768	36.000	87.170 (インターレース)
XGA 10	1024 x 768	62.040	77.070
XGA 11	1024 x 768	61.000	75.700
XGA 12	1024 x 768	35.522	86.960 (インターレース)
XGA 13	1024 x 768	46.900	58.200
XGA 14	1024 x 768	47.000	58.300
XGA 15	1024 x 768	58.030	72.000
MAC 19	1024 x 768	60.240	75.080
SXGA 1	1152 x 864	64.200	70.400
SXGA 2	1280 x 1024	62.500	58.600
SXGA 3	1280 x 1024	63.900	60.000
SXGA 4	1280 x 1024	63.340	59.980

システムモード	解像度	水平周波数 (Khz)	垂直周波数 (Hz)
SXGA 5	1280 x 1024	63.740	60.010
SXGA 6	1280 x 1024	71.690	67.190
SXGA 7	1280 x 1024	81.130	76.107
SXGA 8	1280 x 1024	63.980	60.020
SXGA 9	1280 x 1024	79.976	75.025
SXGA 10	1280 x 960	60.000	60.000
SXGA 11	1152 x 900	61.200	65.200
SXGA 12	1152 x 900	71.400	75.600
SXGA 13	1280 x 1024	50.000	86.000 (インターレース)
SXGA 14	1280 x 1024	50.000	94.000 (インターレース)
SXGA 15	1280 x 1024	63.370	60.010
SXGA 16	1280 x 1024	76.970	72.000
SXGA 17	1152 x 900	61.850	66.000
SXGA 18	1280 x 1024	46.430	94.000 (インターレース)
SXGA 19	1280 x 1024	63.790	60.180
SXGA 20	1280 x 1024	91.146	85.024
SXGA+ 1	1400 x 1050	63.970	60.190
SXGA+ 2	1400 x 1050	65.350	60.120
SXGA+ 3	1400 x 1050	65.120	59.900
SXGA+ 4	1400 x 1050	64.030	60.010
SXGA+ 5	1400 x 1050	62.500	58.600
MAC 21	1152 x 870	68.680	75.060
MAC	1280 x 960	75.000	75.080
MAC	1280 x 1024	80.000	75.080
WXGA 1	1366 x 768	48.360	60.000
WXGA 2	1360 x 768	47.700	60.000
WXGA 3	1376 x 768	48.360	60.000
WXGA 4	1360 x 768	56.160	72.000
WXGA 6	1280 x 768	47.776	59.870
WXGA 7	1280 x 768	60.289	74.893
WXGA 8	1280 x 768	68.633	84.837
WXGA 9	1280 x 800	49.600	60.050
WXGA 10	1280 x 800	41.200	50.000
WXGA 11	1280 x 800	49.702	59.810
WUXGA 1	1920 x 1200	74.556	59.885
WSXGA+ 1	1680 x 1050	65.290	59.954
WXGA+ 1	1440 x 900	55.935	59.887
UXGA 1	1600 x 1200	75.000	60.000
UXGA 2	1600 x 1200	81.250	65.000
UXGA 3	1600 x 1200	87.500	70.000
UXGA 4	1600 x 1200	93.750	75.000
720p	-----	45.000	60.000
720p	-----	37.500	50.000
1035i	-----	33.750	60.00 (インターレース)
1080i	-----	33.750	60.00 (インターレース)
1080i	-----	28.125	50.00 (インターレース)

*1/*2

*1/*2

*1/*2

*1/*2

*1/*2

*1/*2

*1/*2

コンピュータの信号がデジタルの場合

DVI 入力端子からデジタル信号を入力する場合、以下のシステムモードに対応しています。

システムモード	解像度	水平周波数 (Khz)	垂直周波数 (Hz)	システムモード	解像度	水平周波数 (Khz)	垂直周波数 (Hz)
D-VGA	640 x 480	31.470	59.940	D-WXGA 10	1280 x 800	41.200	50.000
D-480p	720 x 480	31.470	59.880	D-WXGA 11	1280 x 800	49.702	59.810
D-575p	720 x 575	31.250	50.000	D-SXGA 2	1280 x 1024	60.276	58.069
D-SVGA	800 x 600	37.879	60.320	D-SXGA 3	1280 x 1024	31.650	29.800
D-XGA	1024 x 768	43.363	60.000	D-WXGA+ 1	1440 x 900	55.935	59.887
D-WXGA 1	1366 x 768	48.360	60.000	D-720p	-----	45.000	60.000
D-WXGA 2	1360 x 768	47.700	60.000	D-720p	-----	37.500	50.000
D-WXGA 3	1376 x 768	48.360	60.000	D-1035i	-----	33.750	60.00 (インターレース)
D-WXGA 4	1360 x 768	56.160	72.000	D-1080i	-----	33.750	60.00 (インターレース)
D-WXGA 5	1366 x 768	46.500	50.000	D-1080i	-----	28.125	50.00 (インターレース)
D-WXGA 6	1280 x 768	47.776	59.870	D-1080psf/30	-----	33.750	60.000
D-WXGA 7	1280 x 768	60.289	74.893	D-1080psf/25	-----	28.125	50.000
D-WXGA 9	1280 x 800	49.600	60.050	D-1080psf/24	-----	27.000	48.000

※ 仕様は改善のため予告なしに変更する場合があります。

※ ドットクロックが 180MHz 以上のコンピュータの信号には対応しておりません。

※ ご使用のコンピュータによっては、D-WXGA 1 ~ D-WXGA+ 1 の画像は正しく映らない場合があります。

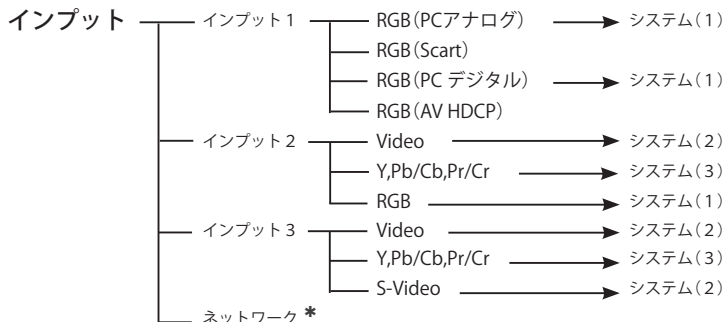
※ SXGA を越える解像度の信号 (SXGA、WXGA、UXGA、MAC21、MAC、720p、1035i、1080i) を投映するときは、線や文字がオリジナルの画像と異なることがあります。

*1: 「PC 調整」メニュー内で調整できないメニューが生じる場合があります。

*2: 「画面サイズ：リアル」には対応していません。

メニュー内容一覧

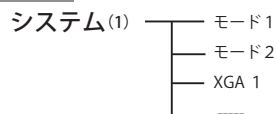
インプット：コンピュータ / ビデオ



* PJ-Net Organizer 接続時に表示されます。

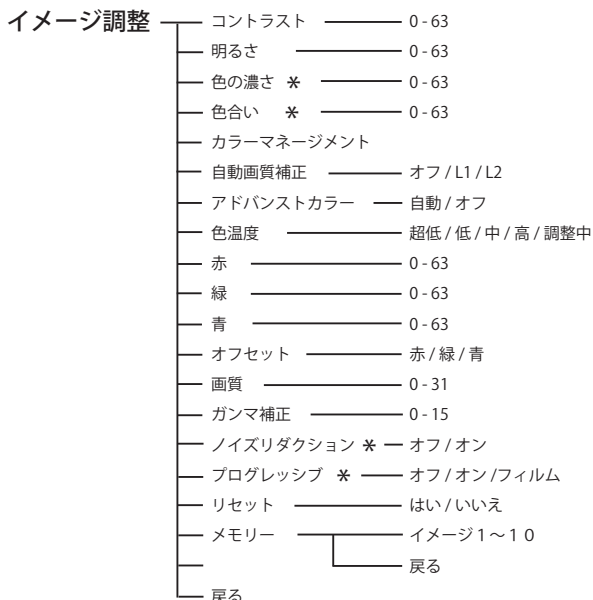
コンピュータ入力

SVGA 1



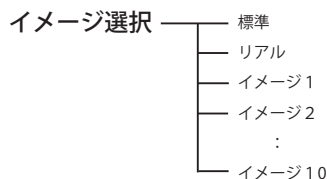
※ 表示される内容は、入力された信号によって異なります。

イメージ調整

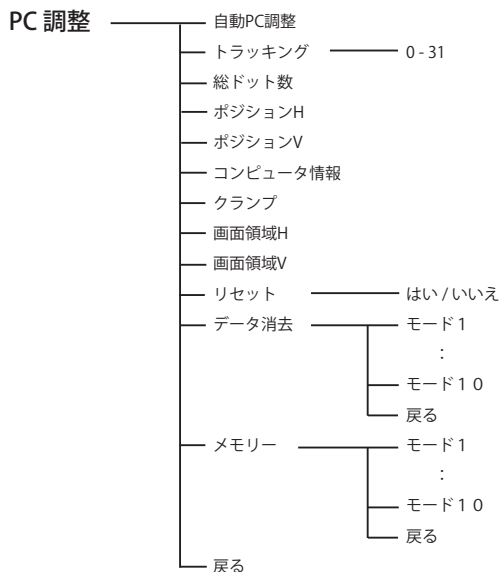


* ビデオ入力時のみ選択可。

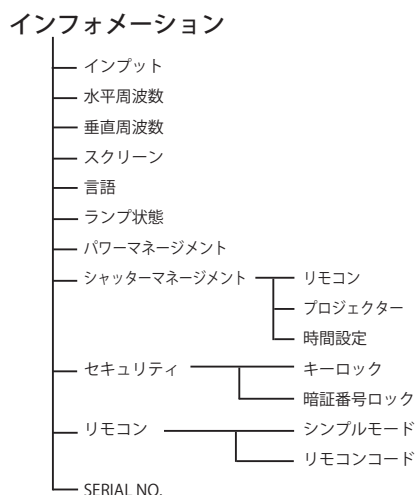
イメージ選択(コンピュータ入力)



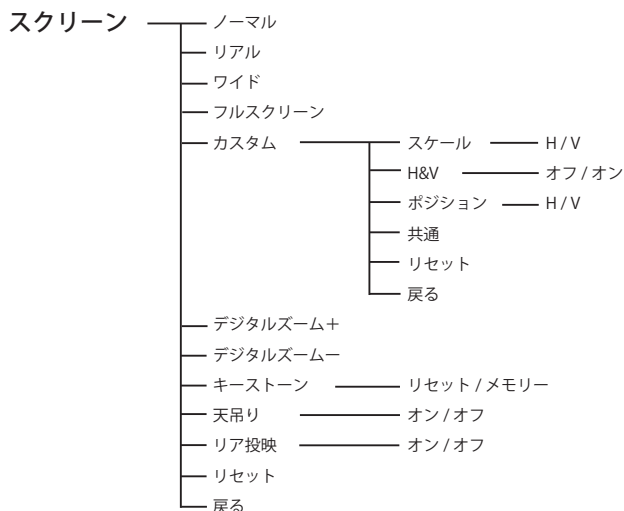
PC 調整 (コンピュータ入力)



インフォメーション

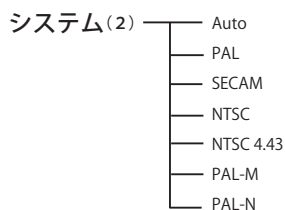


スクリーン (コンピュータ入力)

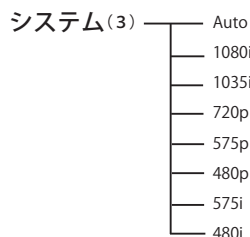


ビデオ入力

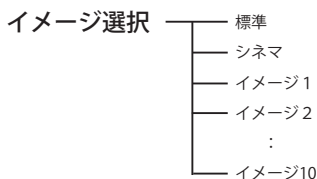
Auto



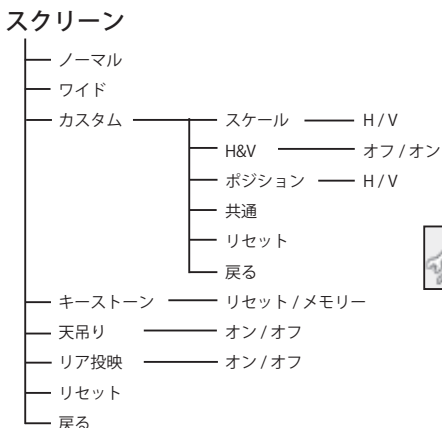
Auto



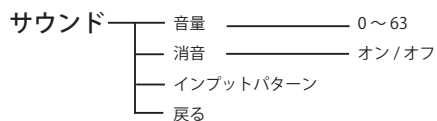
イメージ選択 (ビデオ入力)



スクリーン (ビデオ入力)



サウンド

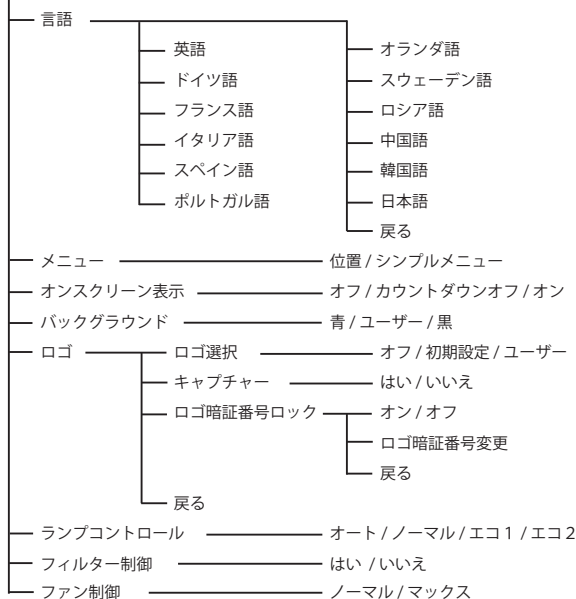


※ インプットがネットワークのときは選択不可。

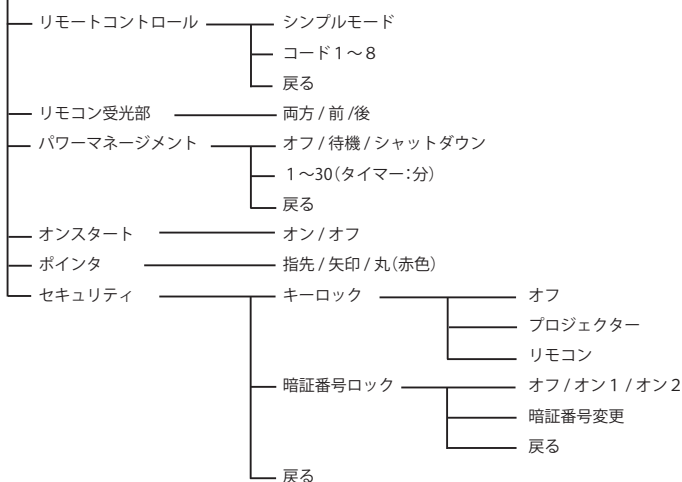
セッティング



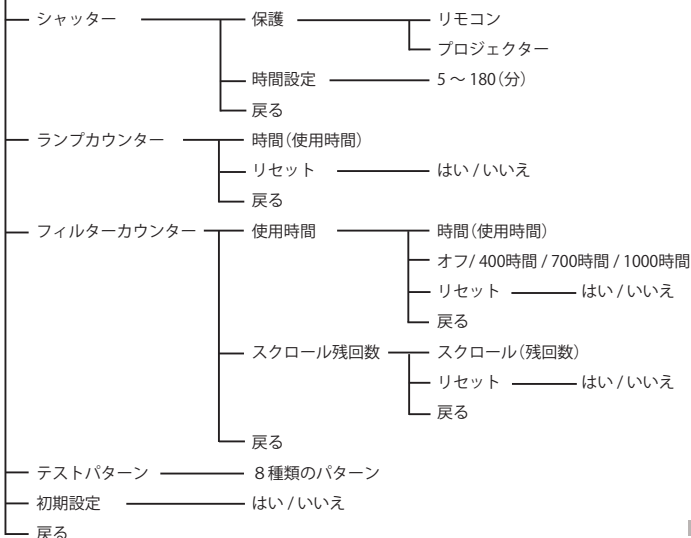
セッティング (第1画面)



セッティング (第2画面)



セッティング (第3画面)



仕様

プロジェクター本体

型名	LP-XP200L
種類	液晶プロジェクター
表示方式	液晶パネル 3枚 3原色光シャッター方式
液晶パネル	サイズ：1.3型（×3枚） アスペクト比：4：3 駆動方式：ポリシリコン TFT アクティブマトリクス方式 画素配列：ストライプ、画素数：786,432画素（1,024×768）×3枚 総画素数：2,359,296画素（786,432×3）
光源	330W NSHA ランプ
ズーム/フォーカス調整	電動（電動式レンズの場合）
画面サイズ（投映距離）	最小 31 型～最大 400 型（投映距離はレンズにより異なります）
INPUT 1	DVI 入力（1 系統）：DVI-D コネクター（24 ピン）、HDCP 対応 デジタル：TMDS（Transition Minimized Differential Signaling） アナログ RGB 入力（2 系統）：ミニ D-sub 15 ピン、BNC × 5 ピン アナログ RGB 信号：0.7Vp-p、正極性、インピーダンス 75 Ω 水平・垂直同期：TTL レベル、負または正極性 （G 信号中のコンポジット同期：0.3Vp-p、負極性、インピーダンス 75 Ω）
INPUT 2	コンポーネント：セパレート Y Cb/Pb Cr/Pr 信号、BNC × 5 ピン Y；1Vp-p、同期負、インピーダンス 75 Ω Cb/Pb；0.7Vp-p、インピーダンス 75 Ω Cr/Pr；0.7Vp-p、インピーダンス 75 Ω
INPUT 3	映像：ピンジャック、1Vp-p、同期負、インピーダンス 75 Ω S 映像：セパレート YC 信号、ミニ DIN 4 ピン Y；1Vp-p、同期負、インピーダンス 75 Ω C；0.286Vp-p（バースト信号）、インピーダンス 75 Ω
MONITOR OUT	アナログ RGB 出力（1 系統）：ミニ D-sub 15 ピン
音声入出力 ・AUDIO IN ・AUDIO OUT	音声入力（2 系統）：ミニジャック（ステレオ）、400mVrms、インピーダンス 47K Ω 以上 音声出力（2 系統兼用）：ミニジャック（ステレオ）、可変出力、インピーダンス 1K Ω 以下
制御入出力、他	コントロールポート：ミニ D-sub 9 ピン USB 端子：USB コネクター（1 系統：シリーズ B） ワイヤードリモコン端子：ミニジャック PJ-Net Organizer コネクター
走査周波数	水平 15kHz～100kHz、垂直 48～100Hz、ドットクロック 180MHz 以下
カラーシステム	6 システム（NTSC / PAL / SECAM / NTSC4.43 / PAL-M / PAL-N）
電源	AC100V 50 / 60Hz
消費電力	491W / 19.3W（待機中消費電力）
本体寸法	幅 370.0 × 高さ 187.0 × 奥行 439.9 mm（調整脚を含む）
質量	11.4Kg（レンズを含まず）

※ 高調波電流規格 JIS C 61000-3-2:2005 適合品

※ 液晶パネルの有効画素数は 99.99 % 以上です。投映中、0.01% 以下の点灯したままの点や、消灯したままの点が見られる場合があります。これは液晶パネルの特性で生じるもので故障ではありません。

※ HDCP とは、High-bandwidth Digital Contents Protection の略称で、DVI を経由して送られるデジタル映像の不正コピーを防止することを目的とした著作権保護システムのことで、HDCP の規格は、Digital Content Protection, LLC という団体によって、策定・管理されています。本機の DVI-D 入力端子は、HDCP 技術を用いてコピープロテクトされたデジタル映像を再生、投映することができます。HDCP の規格変更等が行なわれた場合、これら HDCP 技術でコピープロテクトされたデジタル映像の DVI-D 端子での再生はできなくなる場合があります。

各プロジェクターによって色味が異なります

各プロジェクターはそれぞれ異なる特性を持っています。複数台のプロジェクターを用いて同じスクリーン上、または隣り合わせで投映される場合、プロジェクターのホワイトバランスや色味の違いが感じられます。これは各プロジェクター固有の特性によるものでプロジェクターの故障ではありません

リモコン

電 源	DC3.0V 単四形アルカリ乾電池 2本使用
到達距離	約 5 m (受信部正面)
本体寸法	幅 45.0mm × 高さ 25.0mm × 奥行 145.0mm
質 量	99g (電池を含む)

付属品

- リモコン (CXZH) 1 個
- リモコン用 アルカリ乾電池 2 本
- 電源コード 1 本
- 電源プラグアダプタ 1 個
- USB ケーブル 1 本
- コンピュータケーブル (D-sub 用) 1 本
- PIN code lock シール 1 枚
- レンズ取付金具 1 個
- 遮光プレート 2 枚
- スペーサー 3 枚
- 取扱説明書 1 冊
- お客さまご相談窓口一覧 1 枚
- 保証書
- 保証登録票

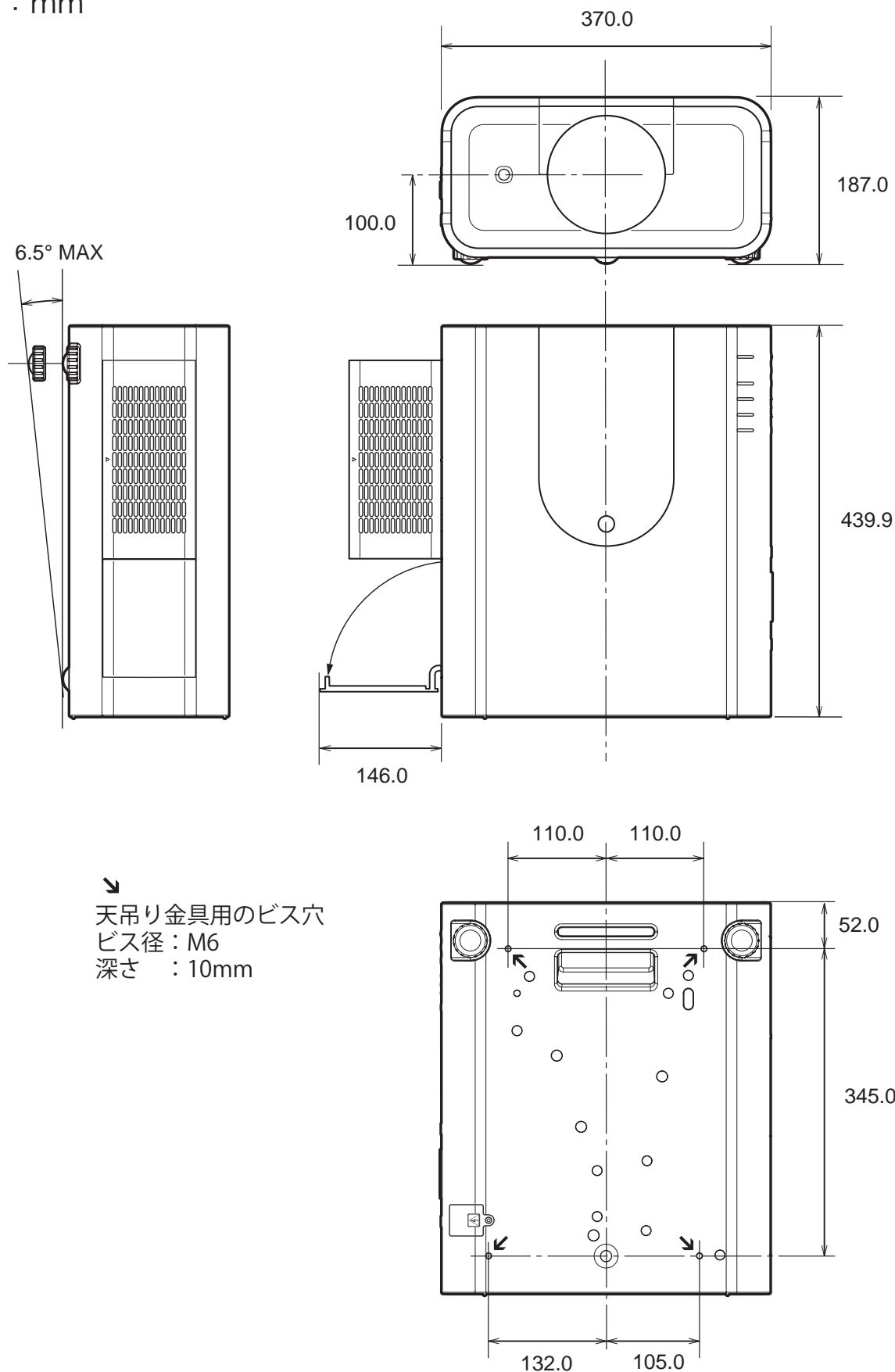
別売品

- D-sub/ コンポーネント ケーブル 品番 : POA-CA-COMPVGA
- ワイヤードリモコン ケーブル (30m) 品番 : POA-CA-RC30
- 天吊金具用ベース金具 品番 : POA-CHB-XP100
- 高天井用天吊金具 品番 : POA-CHL-PL01
- 低天井用天吊金具 品番 : POA-CHS-PS01
- 標準レンズ 品番 : LNS-S31
- 長焦点ズームレンズ 品番 : LNS-T31A
- 超長焦点ズームレンズ 品番 : LNS-T32
- 短焦点ズームレンズ 品番 : LNS-W31A
- 固定・短焦点ズームレンズ 品番 : LNS-W32
- PJ-Net Organizer plus II 品番 : POA-PN03

※ このプロジェクターは日本国内用に設計されております。電源電圧が異なる外国ではお使いいただけません。
 ※ 仕様および外観は改善のため予告なく変更する場合があります。
 ※ 説明書に記載のメーカー名および商品名は、各社の登録商標です。

寸法図

単位：mm

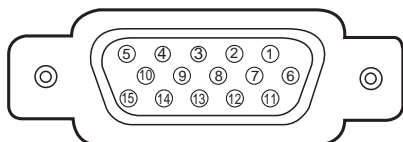


端子の仕様

ANALOG IN / ANALOG OUT (コンピュータ アナログ入力 / アナログ出力端子)

コンピュータからのアナログ RGB 出力を接続したり、コンピュータへアナログ RGB を出力する端子です。接続にはコンピュータケーブル (D-sub 用) を使用します。

ミニ D-sub 15 ピン



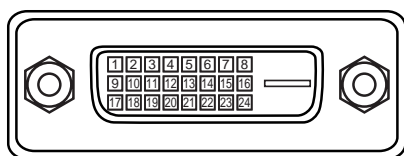
1	R 入出力
2	G 入出力
3	B 入出力
4	未接続
5	接地 (水平同期)
6	接地 (R)
7	接地 (G)
8	接地 (B)

9	+ 5V パワー / 未接続
10	接地 (垂直同期)
11	接地 / 未接続
12	DDC データ / 未接続
13	水平同期 入出力 (コボジット: 水平垂直同期)
14	垂直同期 入出力
15	DDC クロック / 未接続

DIGITAL DVI-D (コンピュータ DVI-D 入力端子)

コンピュータからのデジタル (TMDS) 出力を接続する端子です。接続には DVI-D 用コンピュータケーブルを使用します。

DVI 24 ピン



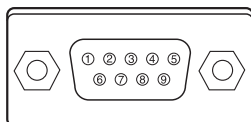
1	T.M.D.S. データ 2 -
2	T.M.D.S. データ 2 +
3	T.M.D.S. データ 2 シールド
4	未接続
5	未接続
6	DDC クロック
7	DDC データ
8	未接続
9	T.M.D.S. データ 1 -
10	T.M.D.S. データ 1 +
11	T.M.D.S. データ 1 シールド
12	未接続

13	未接続
14	+ 5V パワー
15	接地 (+ 5V)
16	ホットプラグ検知
17	T.M.D.S. データ 0 -
18	T.M.D.S. データ 0 +
19	T.M.D.S. データ 0 シールド
20	未接続
21	未接続
22	T.M.D.S. クロック シールド
23	T.M.D.S. クロック +
24	T.M.D.S. クロック -

CONTROL PORT (コントロールポート端子)

シリアルでコンピュータ機器からプロジェクターを操作するときに、コンピュータ機器との接続に使用する端子です。

D-sub 9 ピン



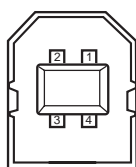
1	未接続
2	RXD
3	TXD
4	未接続
5	SG

6	未接続
7	RTS
8	CTS
9	未接続

USB (ユニバーサルシリアルバス用端子)

USB 規格対応 (シリーズ B) の端子を持つコンピュータ機器との接続に使用する端子です。

USB コネクター (シリーズ B)



1	VCC (5V)
2	- DATA
3	+ DATA
4	接地

シリアルコマンド一覧

RS-232C により、プロジェクターをパソコンから遠隔操作するための制御コマンドです。

接続の手順

- 1 RS-232C シリアルコントロールケーブルで、コンピュータのシリアルポートとプロジェクターの [CONTROL PORT] をつなぎます。
- 2 通信仕様を確認してください

項目	仕様
同期方式	調歩同期
通信速度	9600 / 19200
データ長	8ビット
パリティ	なし
ストップビット	1
フロー制御	なし

※ 通信速度の初期状態は「19200」です。
※ 通信エラーが発生するときはシリアルポートと通信速度を変えてみてください。

- 3 プロジェクターを制御するためのコマンドを入力し、[return (エンター)] キーを押してください。

<例>入力を「インプット 2」に変えたいとき
“C” → “0” → “6” → [return]

※ コマンドを入力する英字はすべて大文字 (A～Z) です。小文字は使用できません。

フォーマット (状態取得の場合)

- 1 パソコンなどからプロジェクターへ以下のコマンドを送ります。
“CR” [コマンド] [CR]
[コマンド]: 1文字 (一覧を参照してください)
- 2 プロジェクターは受信コマンドを解析し、解析結果を返します。
※ 受信したデータが解読不能な場合は、“?” [CR] を返します。

状態取得コマンド一覧表

コマンド	情報内容	戻り値	プロジェクターの状態
CR0	動作状況	00	パワーオン状態
		80	スタンバイ状態
		40	カウントダウン中
		20	クーリングダウン中
		10	電源異常状態
		28	温度異常でクーリングダウン中
		24	パワーセーブ・クーリングダウン中
		04	パワーセーブ状態
		21	ランプ不灯で OFF した場合のクーリングダウン中
		81	ランプ不灯でクーリングダウン後のスタンバイ状態
		88	温度異常が発生し、その後回復した状態
		2C	シャッターマネージメントで OFF した場合のクーリングダウン中
		8C	シャッターマネージメントでクーリングダウン後のスタンバイ状態
CR6	温度状況	S1、 S2、 S3	S1 = センサー 1 の温度 (°C)、S2 = センサー 2 の温度 (°C)、S3 = センサー 3 の温度 (°C) (例) S1 = 12.3°C, S2 = 23.4°C, S3 = 34.5°C のとき --> 表示は “ □ 12.3 _ □ 23.4 _ □ 34.5 ” 各センサーの温度が □ XX.X と表示され、各数値間は 1 スペース () 空きます。温度がプラスの時、□ はスペースになり、温度がマイナスの時、□ は (-) になります。
		?	受信不能のとき

※ 上記および右ページのテーブルはプロジェクターの制御、状態取得のための一般的なコマンドリストです。
詳細なリストが必要なおきはお買い上げの販売店にご相談ください。

フォーマット（機能実行の場合）

1 パソコンなどからプロジェクターへ以下のコマンドを送ります。

“C” [コマンド] [CR]

[コマンド]：2文字（一覧を参照してください）

2 プロジェクターは受信コマンドを解析し、受信できる状態になると以下の結果を返します。

[ACK] [CR]

※ 受信したデータが解読不能な場合は、“?” [CR] を返します。

機能実行コマンド一覧表

コマンド	制御内容	コマンド	制御内容
C00	POWER ON	C3A	POINTER RIGHT
C01	POWER OFF (即 Power OFF)	C3B	POINTER LEFT
C02	POWER OFF	C3C	POINTER UP
C05	INPUT 1	C3D	POINTER DOWN
C06	INPUT 2	C3F	ENTER
C07	INPUT 3	C46	ZOOM -
C08	NETWORK	C47	ZOOM +
C09	VOLUME +	C4A	FOCUS -
C0A	VOLUME -	C4B	FOCUS +
C0B	SOUND MUTE ON	C50	INPUT 1 Analog RGB
C0C	SOUND MUTE OFF	C51	INPUT 1 SCART
C0D	VIDEO MUTE ON	C52	INPUT 1 DVI (PC Digital)
C0E	VIDEO MUTE OFF	C53	INPUT 1 DVI (AV HDCP)
C0F	SCREEN NORMAL SIZE (4:3)	C5D	Lens Shift Up
C10	SCREEN WIDE SIZE (16:9)	C5E	Lens Shift Down
C1C	MENU ON	C5F	Lens Shift Left
C1D	MENU OFF	C60	Lens Shift Right
C20	BRIGHTNESS +	C89	Auto PC ADJ.
C21	BRIGHTNESS -	C8E	KEystone ↑
C23	INPUT 2 Video	C8F	KEystone ↓
C24	INPUT 2 Y, Pb/Cb,Pr/Cr	C90	KEystone →
C25	INPUT 2 RGB	C91	KEystone ←
C28	ON START Enable		
C29	ON START Disable		
C33	INPUT 3 Video		
C34	INPUT 3 S-video		
C35	INPUT 3 Y, Pb/Cb,Pr/Cr		

暗証番号について

暗証番号を忘れると、プロジェクターの操作ができなくなります

暗証番号を忘れるとプロジェクターの操作ができなくなります。以下の記入欄に登録した暗証番号を書き留めておくことをおすすめします。ただし、第三者に見られたり、持ち出されたりしないように、取扱説明書は大切に保管してください。暗証番号がわからなくなってしまったときは、お買い上げの販売店へご相談ください。

暗証番号ロック の暗証番号

--	--	--	--

工場出荷時の暗証番号：1234

ロゴ暗証番号ロック の暗証番号

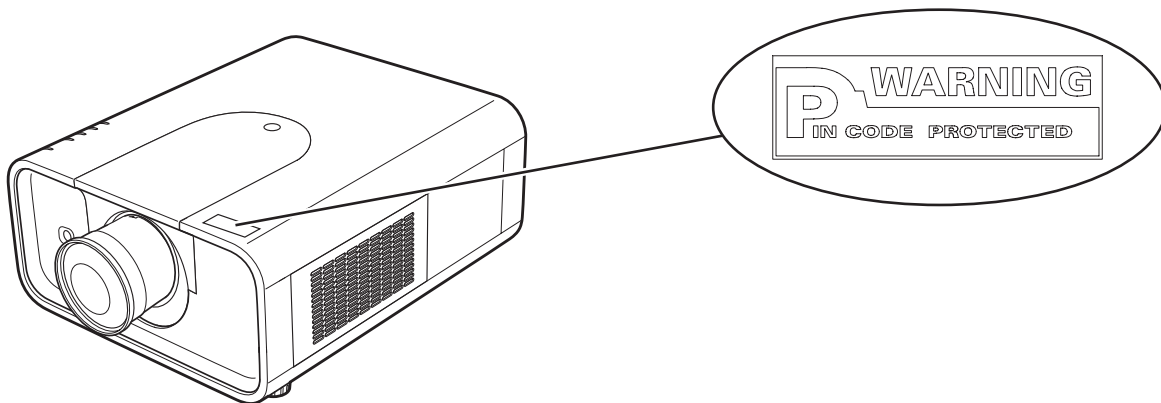
--	--	--	--

工場出荷時の暗証番号：4321

※ 暗証番号を変更された場合は、工場出荷時の暗証番号は無効になります。

暗証番号が登録されていることをシールでわかるようにしましょう

暗証番号を登録して暗証番号を有効にしているとき、暗証番号が登録されていることが一目でわかるように付属のシールを本体の目立つところに貼り付けます。



PJ Link について

このプロジェクターは JBMIA (Japan Business Machine and Information System Industries Association：社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会) の PJLink 標準定義の Class1 に準拠しています。このプロジェクターは、PJLink Class1 によって定義されたすべてのコマンドをサポートして、PJLink 標準定義 Class1 との適合を検証しています。

プロジェクターの入力名		PJ Link	
		入力名	パラメータ
INPUT 1	RGB (PC Analog)	RGB 1	11
	RGB (Scart)	RGB 2	12
	RGB (PC Digital)	DIGITAL 1	31
	RGB (AV HDCP)	DIGITAL 2	32
INPUT 2	Video	VIDEO 1	21
	Y,Pb/Cb,Pr/Cr	VIDEO 2	22
	RGB	RGB 3	13
INPUT 3	Video	VIDEO 3	23
	Y,Pb/Cb,Pr/Cr	VIDEO 4	24
	S-video	VIDEO 5	25
INPUT 4	NETWORK	NETWORK 1	51

PJ Link とは

2003年9月、データプロジェクター部会の中に、PJLink 分科会が設立されました。この PJLink 分科会の第1期の活動において、プロジェクターの新たなインターフェイス仕様として PJLink が規定されました。

PJLink はプロジェクターを操作・管理するための統一規格です。

メーカーを問わずに、プロジェクターの集中管理やコントローラからの操作を実現します。

今後主流となるネットワーク経由のプロジェクター監視・制御において、早期の体系化を JBMIA による推進で実現し、ユーザーの利便性をあげ、プロジェクターの普及促進を図ることを目的としています。

Class 1：プロジェクターの基本機能の制御・監視仕様を標準化

基本的なプロジェクター制御：電源制御、入力切り換えなど

プロジェクターの各種情報・状態を取得：電源状態、入力切り換え状態、エラー状態、ランプ使用時間など

JBMIA：社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会。

1960年に発足した日本事務機械工業会が、2002年4月1日より改称した団体です。

PJLink サイト URL

<http://pjlink.jbmia.or.jp>



PJLink は JBMIA の登録商標です。

保証とアフターサービス

■ この商品には保証書がついています

保証書は、お買い上げ販売店でお渡しします。お買い上げ日、販売店名などの記入をお確かめの上、内容をよくお読みになり大切に保管してください。

■ 保証期間

保証期間はお買い上げ日から、
本体・・・3年間またはご使用時間 5,000 時間のどちらか早い方。
光源ランプ・・・ランプ使用時間 1,000 時間。

■ 保証期間中の修理

保証書の記載内容にしたがってお買い上げ販売店が修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

■ 保証期間の過ぎたあとの修理

お買い上げの販売店にご相談ください。お客様のご要望により有料修理いたします。

■ 修理を依頼される前に

「故障かなと思ったら」にそって故障かどうか確かめください。それでもなおらない場合は、ただちに電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げ販売店に修理をご依頼ください。


■ 修理を依頼される際にご連絡いただきたいこと

- お客さまのお名前
- ご住所、お電話番号
- 商品の品番
- 故障の内容（できるだけ詳しく）

■ 補修用性能部品について

この商品の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を製造打ち切り後8年保有しています。

ご転居やご贈答の際、そのほかアフターサービスについてご不明の点がございましたら、お買い上げ販売店または最寄りのお客さまご相談窓口にお問い合わせください。

愛情点検	●長年ご使用の液晶プロジェクターの点検をぜひ！	熱、湿気、ホコリなどの影響や使用の度合いにより部品が劣化し、故障したり、時には、安全性を損なって事故につながることもあります。		
	<p>このような症状はありませんか</p> <ul style="list-style-type: none">● 電源スイッチを入れても映像や音が出ない。● 映像が時々消えることがある。● 変なにおいがしたり、煙が出たりする。● 電源スイッチを切っても、映像や音が消えない。● 内部に水や異物が入った。● その他異常や故障がある。	<p>➡</p> <table border="1"><tr><td>ご使用中止</td><td>故障や事故防止のため、スイッチを切り、コンセントから電源プラグを外して、必ず販売店にご相談ください。</td></tr></table>	ご使用中止	故障や事故防止のため、スイッチを切り、コンセントから電源プラグを外して、必ず販売店にご相談ください。
ご使用中止	故障や事故防止のため、スイッチを切り、コンセントから電源プラグを外して、必ず販売店にご相談ください。			

お客さまメモ	
品番	LP-XP200L
お買い上げ年月日	年 月 日
お買い上げ店名	☎
最寄りのお客さまご相談窓口	☎

三洋電機株式会社

デジタルシステムカンパニー
プロジェクター事業部
商品部 商品二課
〒 574-8534 大阪府大東市三洋町 1-1